

マイナビ 2025年卒 学生就職モニター調査 2月の活動状況



2024年3月

- 内容 : 就職活動状況の定点調査
- 実施期間 : 2024年2月25日～2024年2月29日
- 調査対象 : 2025年卒業予定の全国大学3年生及び院1年生
- 調査方法 : Web上のアンケートフォームより入力
- モニター属性データ

カテゴリー	有効回答数
文系男子	341
理系男子	503
文系女子	1,009
理系女子	575
総計	2,428

カテゴリー	有効回答数
関東地区	977
東海地区	305
関西地区	519
上記以外のエリア	627

カテゴリー	有効回答数	
学部	理系: 機電系	62
	理系: 情報系	108
	理系: 土木・建築系	49
	理系: 化学系	38
	理系: 薬学系	127
	理系: その他理系	146
	院	理系: 機電系
理系: 情報系		99
理系: 土木・建築系		41
理系: 化学系		113
理系: 薬学系		21
理系: その他理系		141

【2月のTOPICS】

就職活動が厳しくなると思う学生が2年ぶりに増加し3割超に 理由は「採用選考が早期化しているから」が最多

2月までの活動状況を聞いたところ、前年と比較してキャリア形成・選考応募に関わる活動が全体的に減少した。売り手市場によりものと考えられるが、先輩と比較して今年の就職活動は「厳しくなる」と回答した学生は31.6%（前年比2.4pt増）となり、2年ぶりに増加に転じた。厳しくなると思う理由では「採用選考が早期化しているから（76.6%、前年比16.6pt増）」が最多で、かつ、前年より大幅に増加した。売り手市場でありながらも、採用選考の早期化に対する焦りを感じている学生は多いようだ。また、就活疲れを感じたことがあるか聞くと、約8割が「感じた」と回答した。一方で、約6割の学生がオープン・カンパニーへ参加し、約9割の学生がインターンシップ・仕事体験に参加するなど、多くの学生がキャリア形成活動にも取り組んでいる様子がうかがえた。

- (P. 5) 2月までの学生の活動状況はキャリア形成・選考応募に関わる活動が減少し、採用選考に関わる活動が増加
- (P. 8) 就職活動が厳しくなると思う学生が2年ぶりに増加。理由は「採用選考が早期化しているから」が最多
- (P. 13) 約8割の学生が「就活疲れ」を実感していると回答
- (P. 44) インターンシップの定義改正があった25年卒学生のオープン・カンパニー（タイプ1）の参加経験者は62.1%

■集計方法

全体の数値を算出するにあたり、文理男女別の構成比を2025年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は令和4年度学校基本調査(2022年12月公表)の大学3年生・院1年生在籍数を参照し、文理男女比を算出している。
※ウエイトバック集計とはアンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせて重み付けして集計すること。

■□各種調査はWEB上でも順次公開中！□■

経営と人材をつなげるビジネスメディア「HUMAN CAPITAL サポネット」<https://saponet.mynavi.jp/>

マイナビキャリアリサーチLab | 働くの明日を考える <https://career-research.mynavi.jp/>

就職指導ご担当者のための総合情報サイト マイナビキャリアサポート <http://mcs.mynavi.jp/>

■□本資料について□■

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

INDEX

【定点調査】

■1:2月までの活動状況

- (1) 2月までの活動状況【複数回答】
- (2) 合同企業説明会、個別企業セミナーの参加社数、エントリーシート取り寄せ社数(平均)
- (3) 3月以降に開催される個別企業セミナー・会社説明会をこれまでに予約したか【複数回答】
- (4) 2月までにインターンシップ・仕事体験参加および就活準備にかかった費用
- (5) 2月までのWEB上での活動状況【複数回答】
- (6) WEBセミナー参加社数、面接を受けた社数、うちWEB面接だった社数(平均)
- (7) 2月までに受けた面接が、WEB面接だった社数、WEBでない面接だった社数(平均)、WEBが占める割合

■2:就職活動の感触・就職観

- (1) 先輩と比較して今年の就職活動は
- (2) 楽になると思う理由【複数回答】
- (3) 厳しくなると思う理由【複数回答】
- (4) 現時点で就職活動に対して不安がある割合
- (5) 就職活動で不安に思う要因【複数回答】

■3:企業選択のポイント

- (1) 企業を選ぶときに、あなたが特に注目するポイント
- (2) 企業を選ぶときに、あなたが特に注目するポイント ベスト3まで選択・前年同月比

■4:内々定保有者の活動状況

- (1) 内々定先の業種(複数内々定を得ている方は最も志望度が高い企業)
- (2) 内々定先の主な発見ツール(複数内々定を得ている方は最も志望度が高い企業)
- (3) 内々定先の規模
- (4) 内々定を得た時期
- (5) 入社を意思を固めた時期

■5:就活疲れ

- (1) 就活疲れを感じたことはあるか(就活準備を含む)
- (2) 文理男女別・就活疲れを感じたことはあるか(就活準備を含む)
- (3) 2月までの活動状況・就活疲れを感じた活動
- (4) 就活疲れの理由としてあてはまるもの(就活準備を含む)※上位3つまで

■6:【理系】2月の活動状況

- (1) 2月の理系学生の活動状況【複数回答】
- (2) 企業への応募方法(25卒推移/各年2月の年次推移)
- (3) 大学に志望企業調査票を提出した
- (4) 企業の研究所・工場などを見学した
- (5) WEBを使った研究所見学・工場見学に参加した
- (6) 就職に関して教授に相談した
- (7) ジョブマッチングを受けた
- (8) 研究概要書・研究概要レポートを提出した
- (9) 企業の採用選考を受けた
- (10) 企業から推薦状を求められた
- (11) 大学から推薦状を発行された
- (12) 大学院への進学を目指すことに決めた

INDEX

【追加調査】

■7: 自己分析・業界研究・企業研究に用いたもの

- (1) 自己分析に用いたもの【複数回答】
- (2) 業界研究に用いたもの【複数回答】
- (3) 企業研究に用いたもの【複数回答】
- (4) 「業界研究」で役立ったと思うインターンシップ・仕事体験情報・就職情報サイトのコンテンツ【3つまで選択】
- (5) 「企業研究」で役立ったと思うインターンシップ・仕事体験情報・就職情報サイトのコンテンツ【3つまで選択】
- (6) 「自己分析」で役立ったと思うインターンシップ・仕事体験情報・就職情報サイトのコンテンツ【3つまで選択】

■8: インターンシップ・仕事体験について

- (1) 理系の学生がインターンシップ・仕事体験に参加しやすい曜日と研究室に行く曜日【複数回答】
- (2) インターンシップ・仕事体験に参加しやすい曜日(文理男女/学部生系統別/院生系統別)【複数回答】
- (3) これまでにインターンシップ・仕事体験参加のための選考を受けたことがある割合
- (4) インターンシップ・仕事体験に応募する際の基準【3つ以内で選択】
- (5) インターンシップ・仕事体験参加のための選考を通過したことがあるか
- (6) インターンシップ・仕事体験参加のための選考を受けた数と通過した数平均
- (7) インターンシップ・仕事体験参加のための選考を通過しなかった企業の採用選考について
- (8) インターンシップ・仕事体験参加のための選考を通過しなかった企業の採用選考を受けようと思った理由【3つまで選択】
- (9) インターンシップ・仕事体験参加のための選考を通過しなかった企業の採用選考を受けるのをやめようと思った理由【3つまで選択】
- (10) これまでにインターンシップ・仕事体験に参加したか
- (11) インターンシップ・仕事体験に参加した時期すべて【複数回答】
- (12) 最初にインターンシップ・仕事体験に参加した時期
- (13) インターンシップ・仕事体験参加経験者が、その時期までにインターンシップ・仕事体験に参加していた割合
- (14) インターンシップ・仕事体験参加社数平均・うち採用選考を受けたい社数平均
- (15) インターンシップ・仕事体験参加社数(分布)
- (16) 時期別インターンシップ・仕事体験参加社数
- (17) インターンシップ・仕事体験に参加したことのある企業のメイン業種すべて【複数回答】
- (18) インターンシップ・仕事体験参加業種数・平均と分布
- (19) インターンシップ・仕事体験にオンラインで(WEB上で)参加したことがある割合
- (20) オンラインで参加した社数・平均
- (21) オンラインでインターンシップ・仕事体験に参加して思ったこと【複数回答】

※参加したインターンシップ・仕事体験について1人当たり3社まで回答したものを、社数ベースで再集計

- (22) インターンシップ・仕事体験参加企業の規模
- (23) インターンシップ・仕事体験参加企業の業種
- (24) インターンシップ・仕事体験の主な発見ツール
- (25) 対面で参加か、オンライン(WEB)で参加か
- (26) その企業のインターンシップ・仕事体験に2回以上参加したか
- (27) 全部で何日間参加したか(平均)
- (28) 全部で何日間参加したか・参加回数ごとの分布
- (29) プログラムの内容【複数回答】
- (30) 参加して感じたこと【複数回答】
- (31) 参加したインターンシップ・仕事体験にあてはまるもの【複数回答】
- (32) インターンシップ・仕事体験の満足度・5段階評価
- (33) 参加することで志望度に影響はあったか
- (34) 参加した企業の採用選考を受ける予定か

INDEX

【追加調査】

■8: インターンシップ・仕事体験について・つづき

※参加したインターンシップ・仕事体験について1人当たり3社まで回答したものを、社数ベースで再集計
以下、学生が回答したインターンシップ・仕事体験の様々な属性と、満足度、参加回数、志望度の変化、合計参加日数
および採用選考を受ける予定との関係

- (35) 従業員規模×満足度
- (36) 従業員規模×参加回数
- (37) 従業員規模×志望度の変化
- (38) 従業員規模×合計参加日数
- (39) 従業員規模×採用選考を受ける予定か
- (40) 対面・オンライン × 満足度
- (41) 対面・オンライン × 参加回数
- (42) 対面・オンライン × 志望度の変化
- (43) 対面・オンライン × 合計参加日数
- (44) 対面・オンライン × 採用選考を受ける予定か
- (45) 合計参加日数 × 満足度
- (46) 合計参加回数 × 満足度
- (47) 合計参加日数 × 志望度の変化
- (48) 合計参加回数 × 志望度の変化
- (49) 合計参加日数 × 採用選考を受ける予定か
- (50) 合計参加回数 × 採用選考を受ける予定か
- (51) あてはまるもの×志望度の変化
- (52) あてはまるもの×採用選考を受ける予定か
- (53) 内容×志望度の変化
- (54) 内容×採用選考を受ける予定か
- (55) 参加して感じたこと×志望度の変化
- (56) 参加して感じたこと×採用選考を受ける予定か
- (57) 満足度 × 参加して感じたこと
- (58) 志望度の変化 × 参加して感じたこと

-
- (59) インターンシップ・仕事体験に参加したことで、その企業の志望度が上がった理由【複数回答】
 - (60) インターンシップ・仕事体験に参加したことで、その企業の志望度が下がった理由【複数回答】
 - (61) インターンシップ・仕事体験に参加したことで、その企業の採用選考を受けようと思った最大の理由
 - (62) インターンシップ・仕事体験に参加して「自分に合っている」と思ったのはどういった点か【複数回答】
 - (63) インターンシップ・仕事体験に参加して「自分に合っていない」と思ったのはどういった点か【複数回答】
 - (64) インターンシップ・仕事体験に参加した企業からその後受けたフォロー／希望するフォロー【複数回答】
 - (65) 受けたフォローのうち志望度が上がったもの【複数回答】
 - (66) 参加したインターンシップ・仕事体験で下記に挙げる要素について見たり感じたりした際のその企業に対する志望度の変化
・若手社員のレベル ・一緒に参加した学生のレベル ・参加学生の出身大学名
 - (67) 時給や日給等の給金が支払われたインターンシップ・仕事体験に参加したことがある割合
 - (68) 時給や日給等の給金が支払われた企業の数平均
 - (69) 時給や日給等の給金が支払われたインターンシップ・仕事体験の情報はどこで知ったか【複数回答】

■9: オープンカンパニーについて

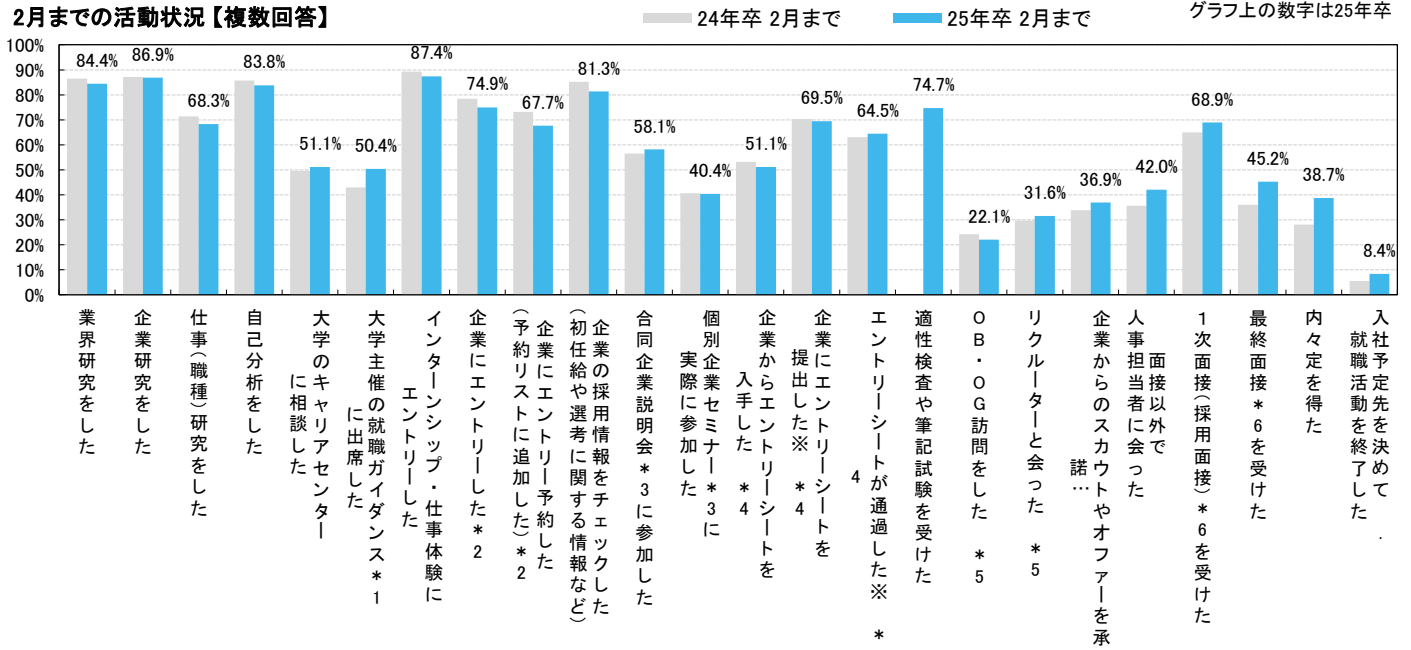
- (1) オープン・カンパニー(タイプ1)の参加経験
- (2) インターンシップ・仕事体験とオープン・カンパニー(タイプ1)の参加経験比較
- (3) 時期別参加社数
- (4) 参加による志望度への影響
- (5) 参加目的
- (6) オープン・カンパニー(タイプ1)への参加で望ましい形式
- (7) オープン・カンパニー(タイプ1)で参加したいと思うプログラム

※調査結果は、小数点第2位を四捨五入しております。そのため、グラフ及び表の和が100.0%にならないものがございます。予めご了承ください。

■1:2月までの活動状況

2月までの活動状況を聞いたところ、大学関係の「大学のキャリアセンターに相談した（51.1%、対前年1.5pt増）」「大学主催の就職ガイダンスに出席した（50.4%、対前年7.4pt増）」を除き、キャリア形成～選考応募までの活動の多くが微減となった。一方採用選考に関する活動の多くが昨年より増加し、特に「内々定を得た（38.7%、対前年10.6pt増）」「最終面接を受けた（45.2%、対前年9.2pt増）」の増加率が大きい。売り手市場によりキャリア形成～選考応募までの活動量は減少したものの、参加時期の前倒しの結果、採用選考の活動量が増えたものと考えられる。しかしながら「入社予定先を決めて就職活動を終了した（8.4%、対前年2.8pt増）」は微増にとどまり、内々定を保有したまま就職活動を継続する学生が大半だと言えるだろう。

2月までの活動状況【複数回答】



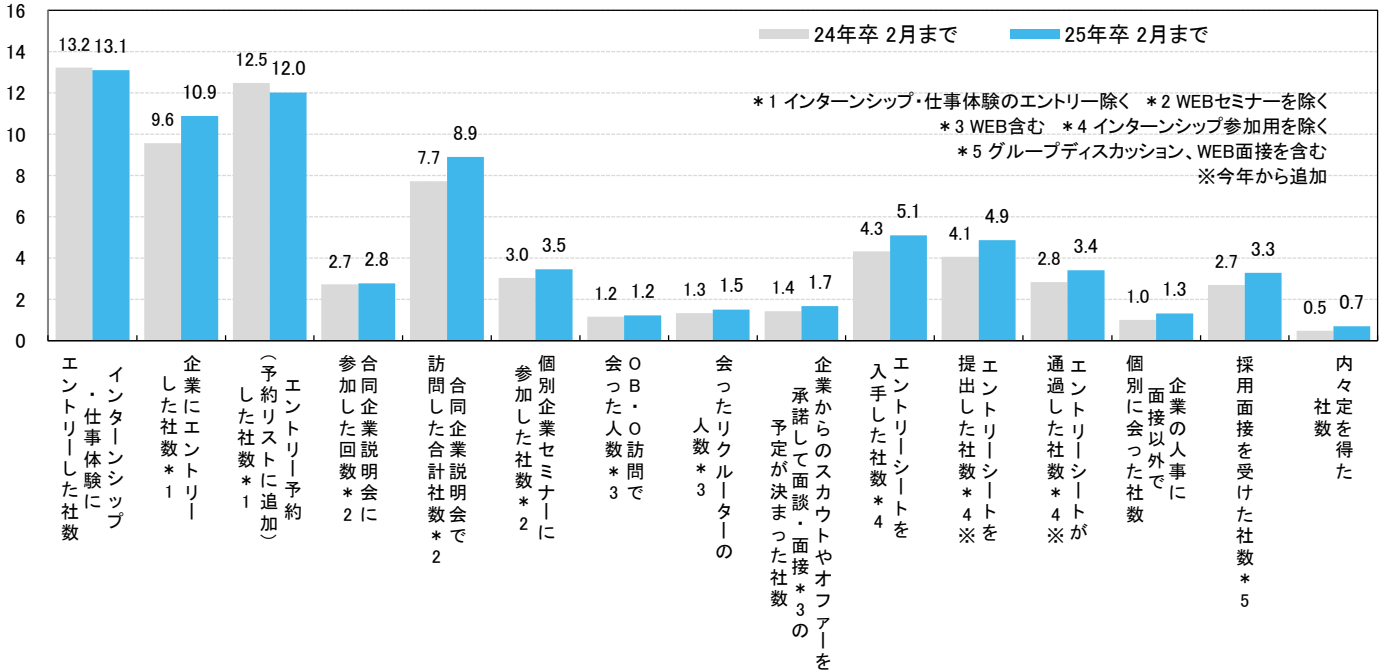
*1 オンライン形式を除く *2 インターンシップ・仕事体験エントリーを除く *3 WEBセミナーを除く
*4 インターンシップ・仕事体験参加用を除く *5 WEB含む *6 WEB面接を含む

※今年から追加

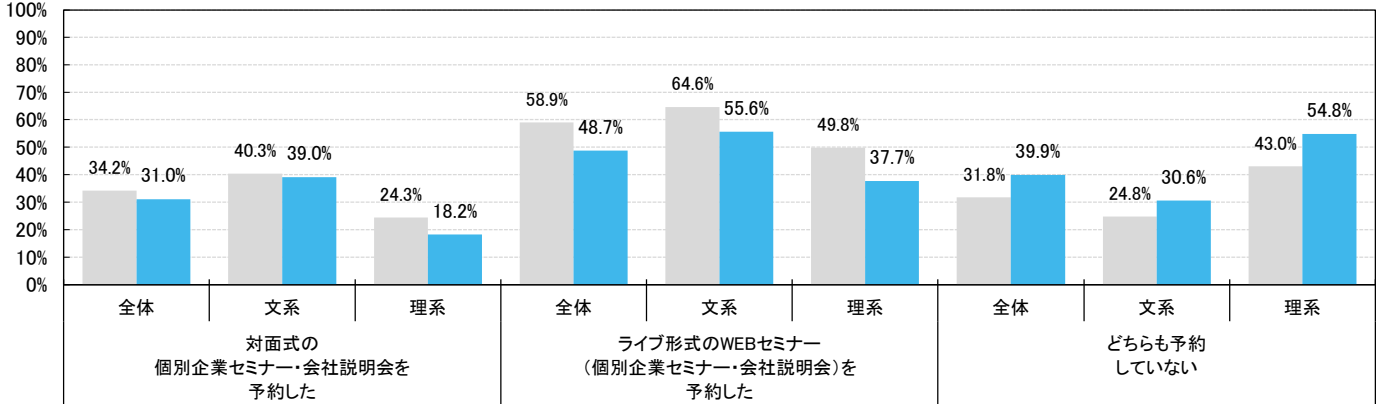
	25年卒	24年卒	23年卒	22年卒	25年卒			
	2月まで	2月まで	2月まで	2月まで	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,428	2,304	2,435	2,727	341	503	1,009	575
業界研究をした	84.4%	86.4%	84.7%	86.7%	84.8%	89.5%	80.8%	82.8%
企業研究をした	86.9%	87.1%	86.8%	88.3%	85.6%	89.7%	84.5%	89.9%
仕事(職種)研究をした	68.3%	71.3%	67.8%	69.5%	68.0%	72.4%	63.0%	73.4%
自己分析をした	83.8%	85.8%	86.5%	87.5%	81.8%	80.1%	87.1%	87.5%
大学のキャリアセンターに相談した	51.1%	49.6%	46.0%	42.9%	51.0%	37.0%	61.6%	53.4%
大学主催の就職ガイダンス*1に出席した	50.4%	43.0%	32.9%	29.6%	54.0%	44.1%	53.6%	46.8%
インターンシップ・仕事体験にエントリーした	87.4%	89.3%	85.2%	89.0%	85.6%	83.9%	90.6%	90.8%
企業にエントリーした*2	74.9%	78.5%	73.5%	74.4%	71.3%	73.8%	78.2%	78.1%
企業にエントリー予約した(予約リストに追加した)*2	67.7%	73.1%	72.9%	75.1%	71.0%	57.7%	75.2%	61.9%
企業の採用情報(初任給や選考に関する情報など)をチェックした	81.3%	85.2%	81.6%	84.4%	78.3%	76.7%	86.4%	84.9%
合同企業説明会*3に参加した	58.1%	56.5%	50.3%	47.9%	63.0%	45.7%	64.7%	54.8%
個別企業セミナー*3に実際に参加した	40.4%	40.6%	33.5%	33.5%	44.3%	33.4%	43.1%	38.4%
企業からエントリーシート*4を入手した(企業HP・サイトからダウンロードや郵送で入手した)	51.1%	53.2%	28.9%	31.4%	49.6%	45.3%	53.8%	59.0%
企業にエントリーシート*4を提出した※(入手したシートに記入し返送したり、WEBから直接書き込んだりした)	69.5%	70.3%	-	-	67.4%	68.0%	70.2%	75.1%
エントリーシート*4が通過した※(シートを提出後、次の選考の案内が来た)	64.5%	63.0%	-	-	62.8%	64.8%	63.5%	70.1%
適性検査や筆記試験を受けた	74.7%	-	-	-	73.3%	76.5%	72.6%	78.8%
OB・OG訪問をした*5	22.1%	24.3%	22.1%	22.1%	19.4%	27.8%	19.1%	24.5%
リクレーターと会った*5	31.6%	29.7%	24.7%	20.1%	32.8%	34.6%	25.8%	36.2%
企業からのスカウトやオファーを承諾して面談・面接*5の予定が決まった	36.9%	33.9%	33.5%	-	39.6%	38.8%	33.7%	34.8%
面接以外で人事担当者に会った	42.0%	35.6%	25.4%	28.6%	45.7%	42.1%	38.6%	41.4%
1次面接(採用面接)*6を受けた	68.9%	65.0%	59.4%	58.4%	68.0%	70.4%	66.5%	73.7%
最終面接*6を受けた	45.2%	36.0%	28.8%	22.7%	42.2%	52.3%	39.8%	51.0%
内々定を得た	38.7%	28.1%	22.2%	15.6%	36.4%	44.3%	33.4%	45.4%
入社予定先を決めて就職活動を終了した	8.4%	5.6%	3.4%	1.8%	5.0%	14.5%	5.4%	11.8%

2月までの活動量では、採用選考に関わる多くの活動（社数）が増加したが、3月以降に開催される個別企業セミナー・会社説明会を予約した割合は対面・WEBともに減少し、予約していない割合が増加した。内定率が大幅に増加したことから、3月以降は活動先がより絞られることが予想される。
2月までの活動にかかった費用を聞いたところ、全体平均で4万868円だった。交通費・宿泊費が前年よりも増加している。

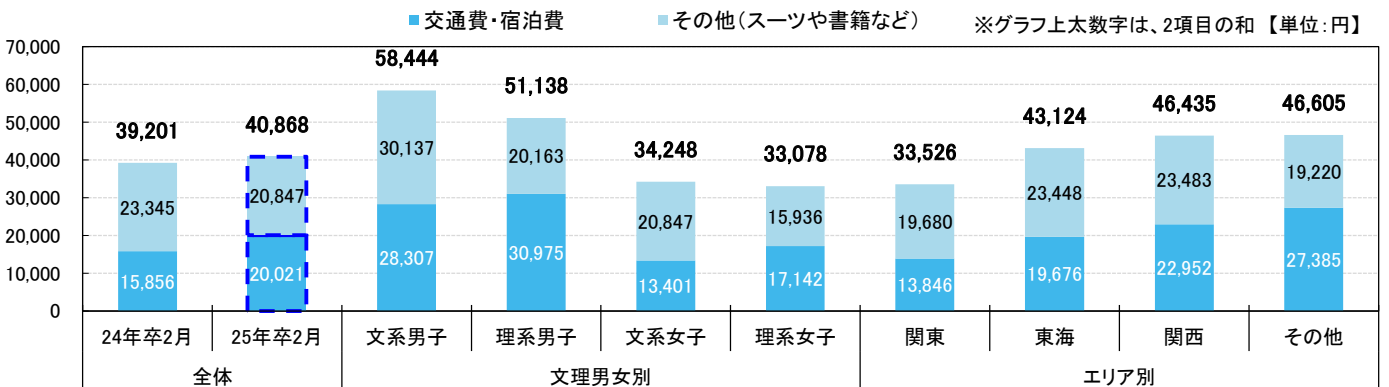
合同企業説明会、個別企業セミナーの参加社数、エントリーシート取り寄せ社数（平均）



3月以降に開催される個別企業セミナー・会社説明会をこれまでに予約したか【複数回答】

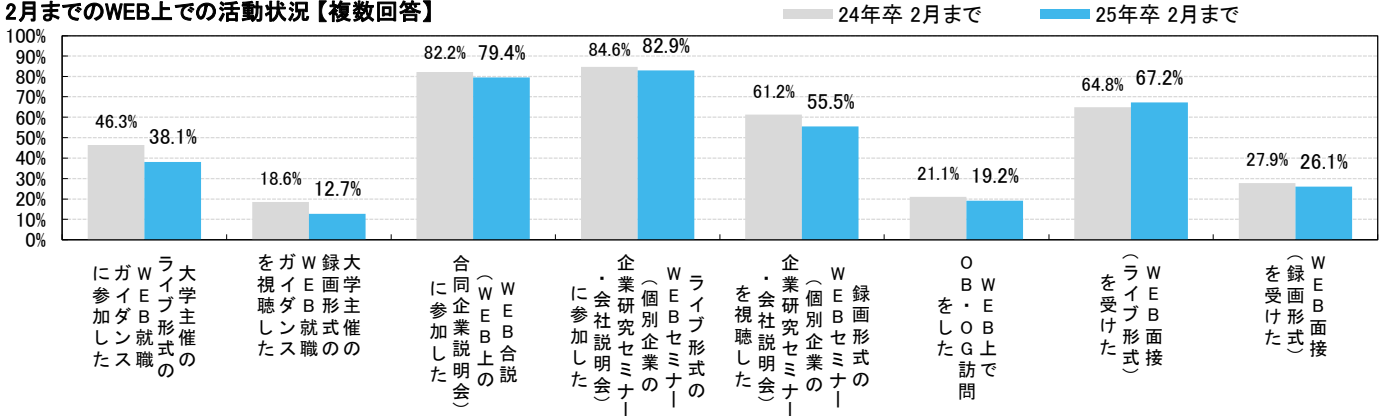


2月までにインターンシップ・仕事体験参加および就活準備にかかった費用



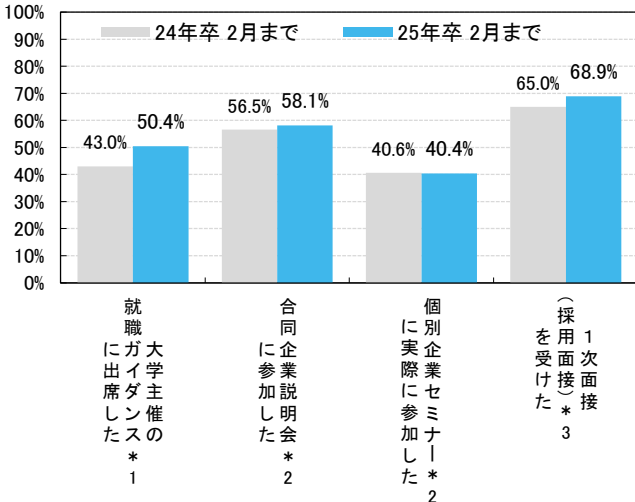
2月までのWEBでの活動状況を聞いたところ、2月までの活動状況と同様に、就活準備に関わる活動の多くが前年より微減となった。前述の通り大学関係の対面での活動については増加していたが、WEBの活動については、「大学主催のライブ形式のWEB就職ガイダンスに参加した（38.1%、対前年8.2pt減）」「大学主催の録画形式のWEB就職ガイダンスを視聴した（12.7%、対前年5.9pt減）」が減少している。大学関係の活動がWEBから対面に移行が進んだ結果であると考えられる。採用選考に関わる活動については、「WEB面接（ライブ形式）を受けた（67.2%、対前年2.4pt増）」が微増となったが、「WEB面接（録画形式）を受けた（26.1%、対前年1.8pt減）」と微減した。

2月までのWEB上での活動状況【複数回答】

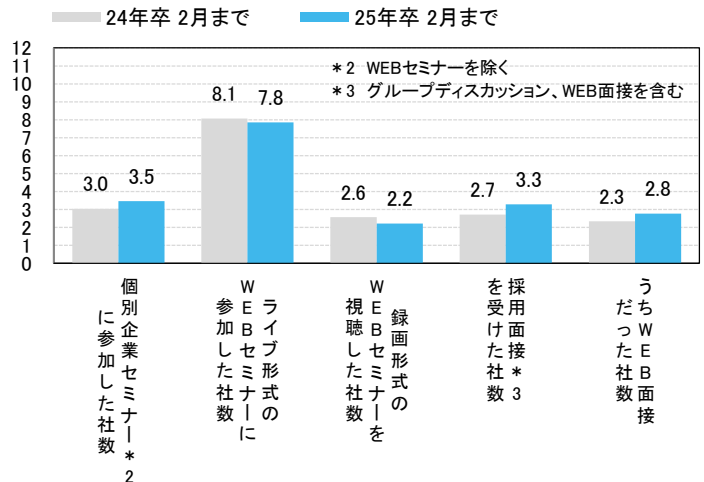


参考：2月までの活動状況

*1 オンライン形式を除く *2 WEBセミナーを除く *3 WEB面接を含む

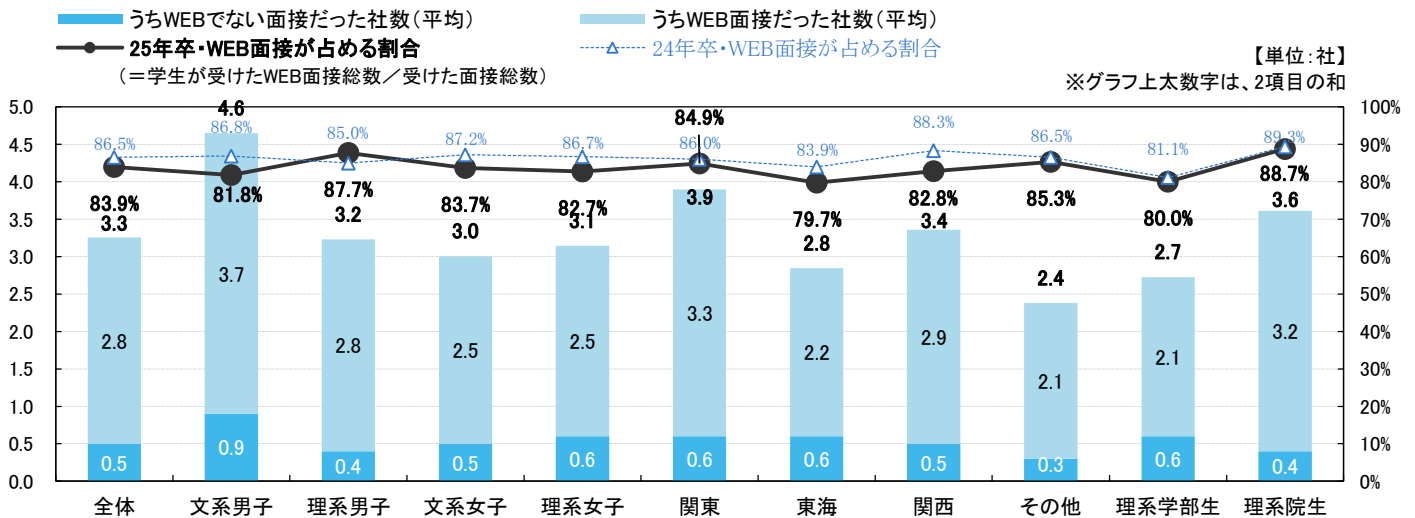


WEBセミナー参加社数、面接を受けた社数うちWEB面接だった社数(平均)【単位：社】



2月までに受けた面接が、WEB面接だった社数、WEBでない面接だった社数(平均)、WEBが占める割合*

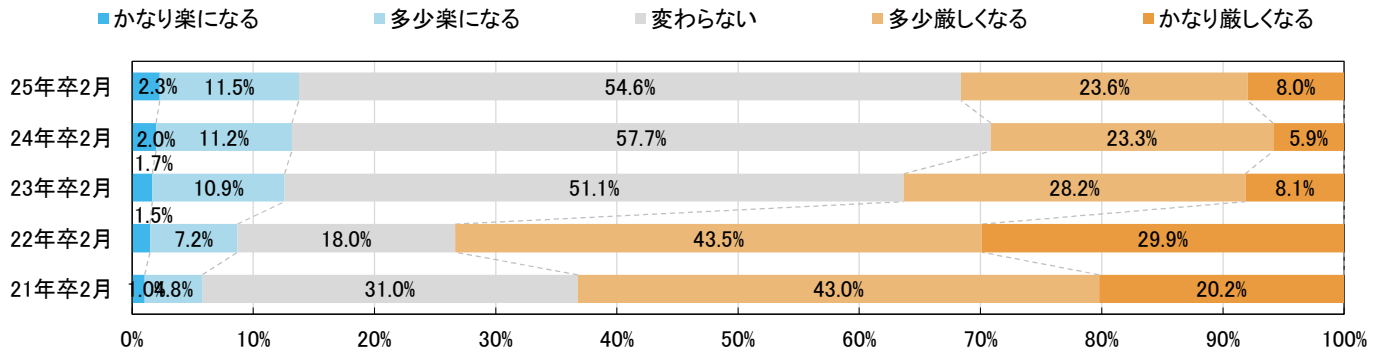
* その期間に受けた面接のうちWEB面接だったものの割合



■2: 就職活動の感触・就職観

先輩と比較して今年の就職活動は「(かなり+多少)楽になる」と回答した学生の割合は13.8% (対前年0.6pt増) と前年並みであるが、「(かなり+多少)厳しくなる」と回答したのは31.6% (対前年2.4pt増) で微増した。楽になると思う理由では「売り手市場(学生が有利) だと思うから(50.0%、対前年22.0pt増)」が、厳しくなると思う理由では「採用選考が早期化しているから(76.6%、対前年16.6pt増)」が、それぞれ最も回答率が高く、かつ大幅に増加している。売り手市場であるという実感はありながらも、採用選考の早期化についてはポジティブに受け取る学生ばかりではないようだ。また楽になると思う理由では「新型コロナウイルス感染症の影響が前年より少ないから(38.6%、対前年19.2pt)」「企業がコロナ禍での採用活動に対応してきているから(29.8%、対前年16.6pt)」が大幅に減少し、新型コロナウイルス感染症による就職活動への影響度合いは落ち着きを見せているようだ。

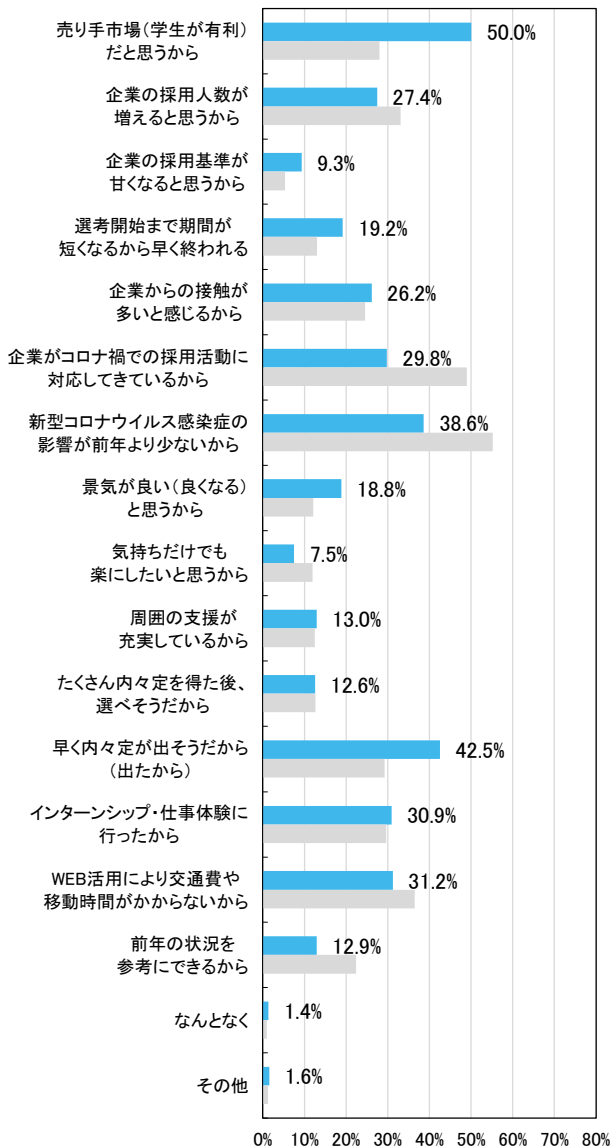
先輩と比較して今年の就職活動は



楽になると思う理由【複数回答】

25年卒 n=302

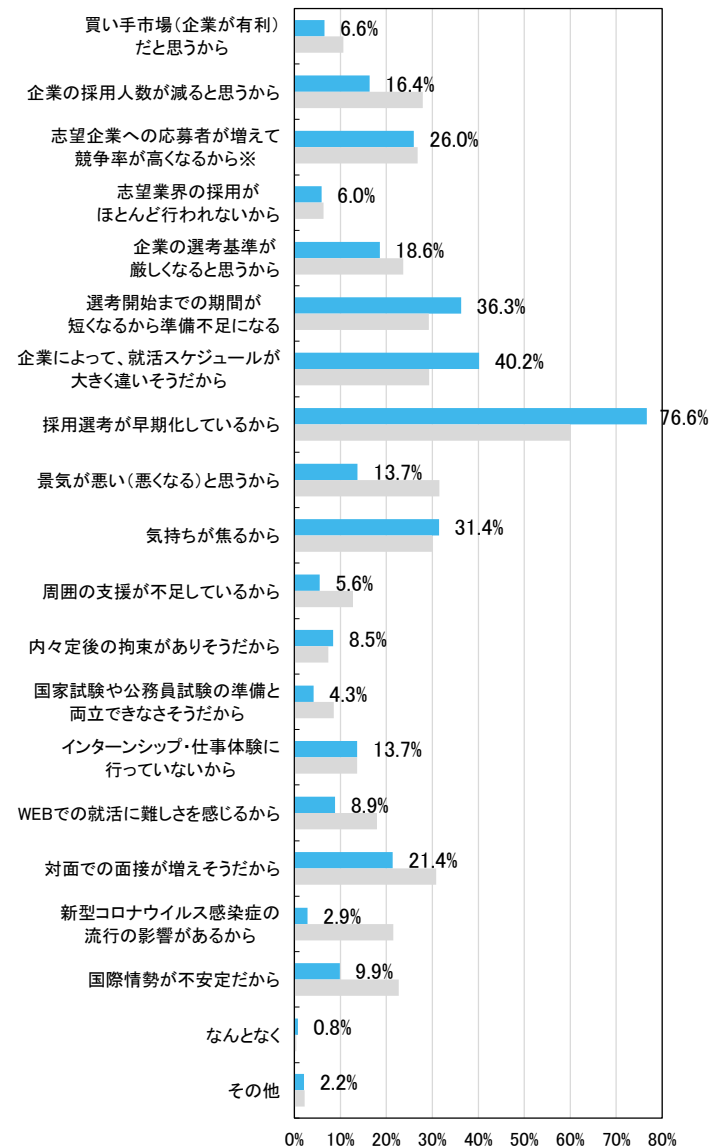
■ 25年卒 ■ 24年卒



厳しくなると思う理由【複数回答】

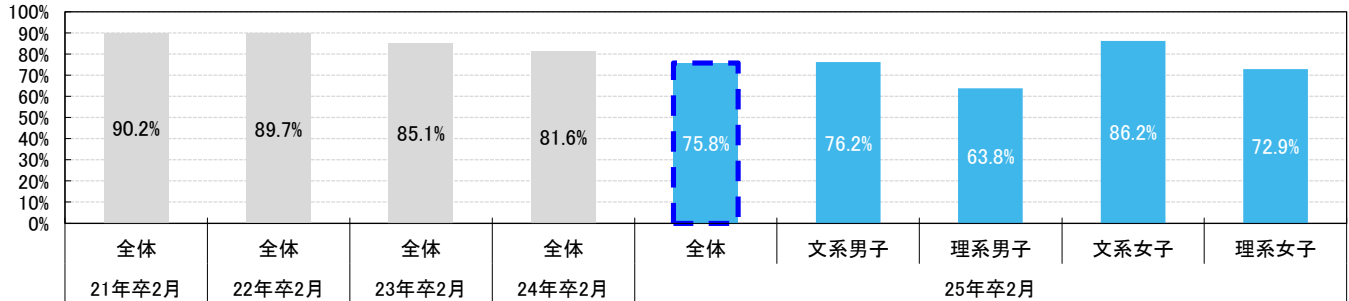
25年卒 n=786

■ 25年卒 ■ 24年卒

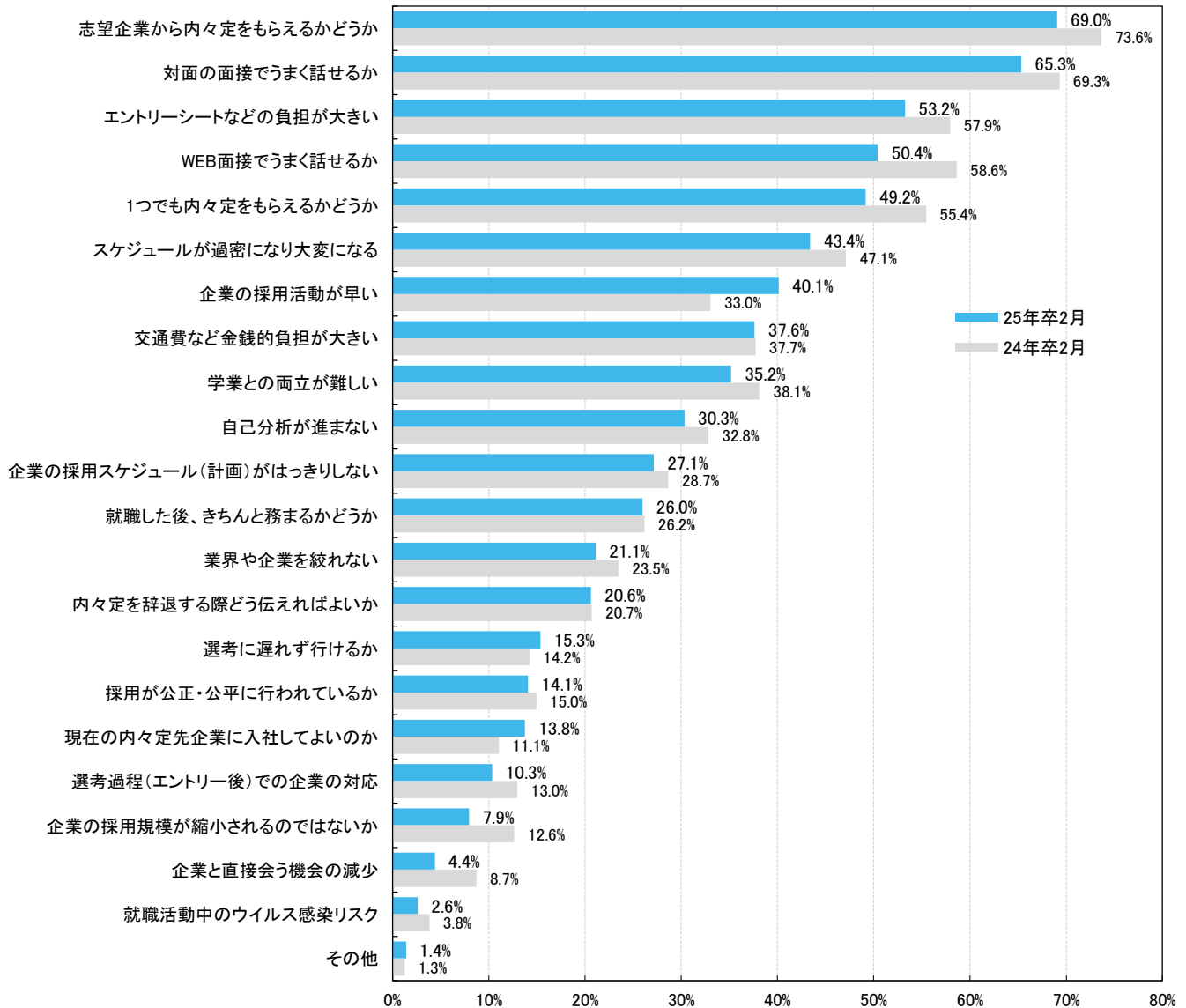


現時点で就職活動に対し不安がある割合は75.8%（対前年5.8pt減）で4年連続で減少している。不安に思う要因として「志望企業から内々定をもらえるかどうか（69.0%）」「対面の面接でうまく話せるか（65.3%）」などが上位に入るのは例年通りの傾向である。昨年より回答率が大きいものとしては、「WEB面接でうまく話せるか（50.4%、対前年8.2pt減）」「企業の採用規模が縮小されるのではないかと（7.9%、対前年4.7pt減）」「企業と直接会う機会の減少（4.4%、対前年4.3pt減）」などがあり、新型コロナウイルス感染症による影響収束や売り手市場化が背景にあると考えられる。

現時点で就職活動に対して不安がある割合



就職活動で不安に思う要因【複数回答】 n=1,859



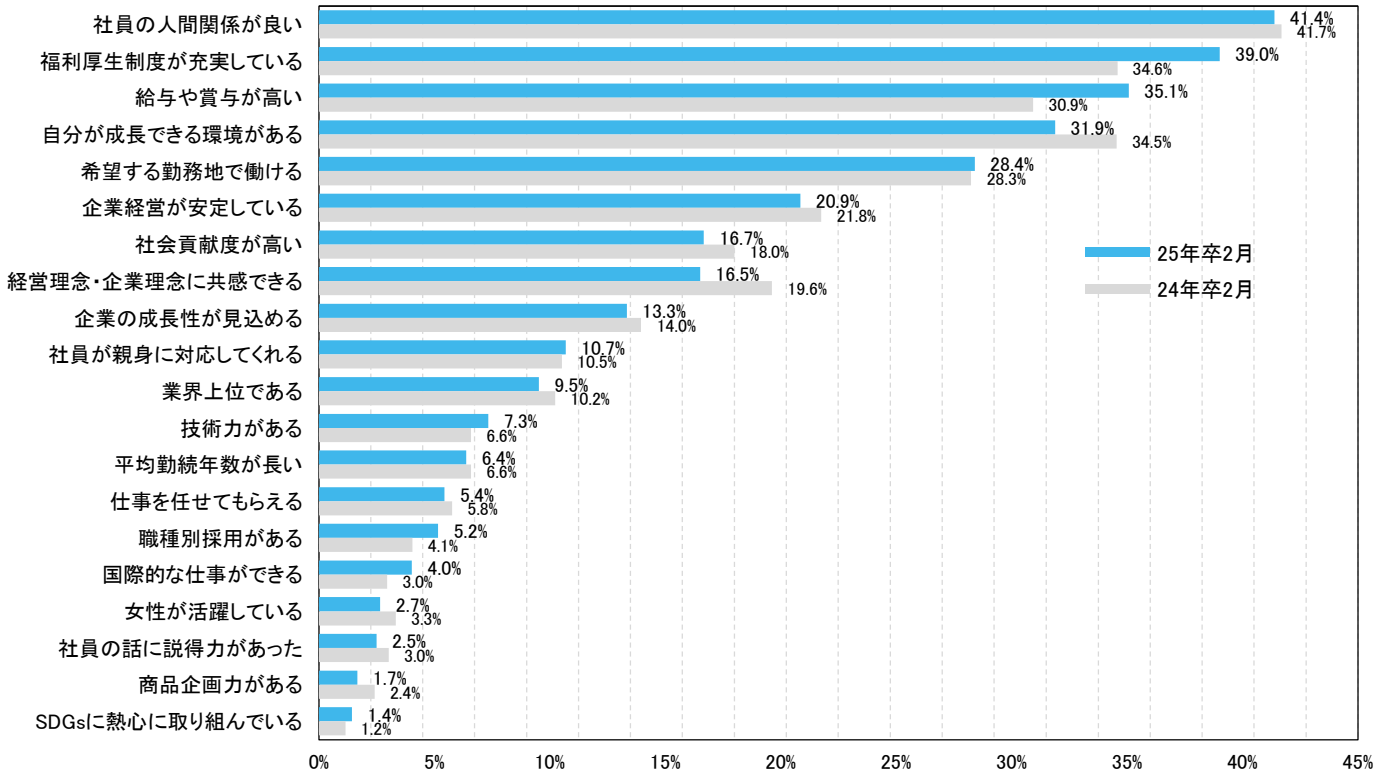
■3: 企業選択のポイント

企業を選ぶときに特に注目するポイントでは「社員の人間関係が良い（41.4%、対前年0.3pt減）」が昨年に引き続き回答率が最も高く、また今年は最も注目するポイントとしても1位になった。2位の「福利厚生制度が充実している（39.0%、対前年4.4pt増」、3位の「給与や賞与が高い（35.1%、対前年4.2pt増）」は昨年よりも回答割合が増え、順位も上昇した。

企業を選ぶときに、あなたが特に注目するポイント

	ベスト3まで選択					最も注目するポイント				
	順位	前年順位	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	順位	前年順位	全体
			2,428	341	503	1,009	575			2,428
社員の人間関係が良い	1	1	41.4%	38.4%	33.4%	50.0%	43.3%	1	2	16.5%
福利厚生制度が充実している	2	2	39.0%	38.4%	34.8%	42.4%	40.3%	3	4	11.6%
給与や賞与が高い	3	4	35.1%	35.5%	45.1%	27.8%	32.3%	5	6	9.5%
自分が成長できる環境がある	4	3	31.9%	31.4%	34.6%	29.9%	32.5%	2	1	12.9%
希望する勤務地で働ける	5	5	28.4%	21.7%	24.1%	36.3%	33.7%	4	3	10.7%
企業経営が安定している	6	6	20.9%	22.9%	17.1%	22.1%	20.3%	7	7	6.8%
社会貢献度が高い	7	8	16.7%	19.9%	17.3%	13.7%	15.0%	6	8	7.9%
経営理念・企業理念に共感できる	8	7	16.5%	23.8%	9.9%	15.8%	13.9%	8	5	5.4%
企業の成長性が見込める	9	9	13.3%	15.2%	16.1%	9.4%	12.9%	9	9	3.7%
社員が親身に対応してくれる	10	10	10.7%	11.4%	6.6%	13.5%	10.3%	11	10	2.6%
業界上位である	11	11	9.5%	8.8%	16.5%	5.6%	7.5%	10	11	2.8%
技術力がある	12	13	7.3%	2.9%	19.3%	1.0%	9.7%	12	12	2.3%
平均勤続年数が長い	13	12	6.4%	9.4%	4.8%	5.8%	3.8%	14	13	1.4%
仕事を任せてもらえる	14	14	5.4%	5.6%	6.8%	5.1%	3.7%	16	15	1.0%
職種別採用がある	15	15	5.2%	3.5%	6.4%	5.4%	6.3%	13	14	2.0%
国際的な仕事ができる	16	18	4.0%	3.8%	2.4%	6.0%	3.0%	15	16	1.2%
女性が活躍している	17	16	2.7%	0.6%	0.4%	5.3%	5.6%	18	19	0.4%
社員の話に説得力があった	18	17	2.5%	2.3%	2.2%	2.9%	2.6%	17	17	0.5%
商品企画力がある	19	19	1.7%	2.3%	1.2%	1.5%	1.4%	19	18	0.4%
SDGsに熱心に取り組んでいる	20	20	1.4%	2.1%	1.2%	0.8%	1.9%	20	20	0.2%

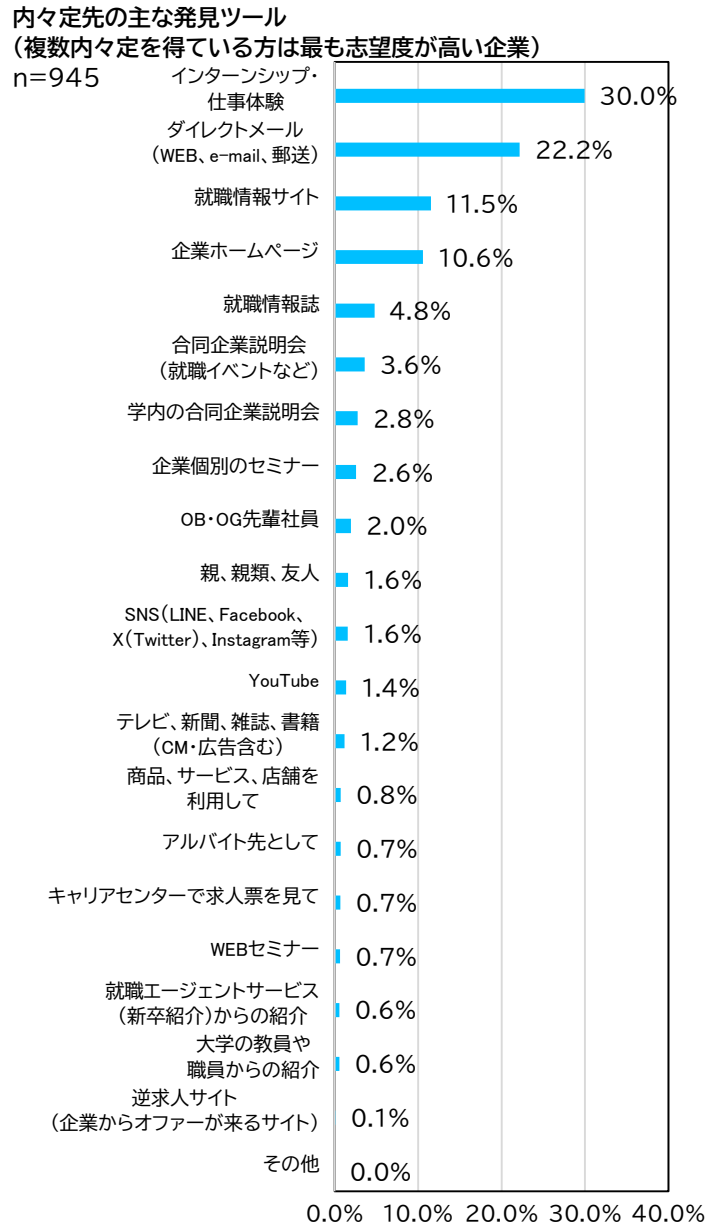
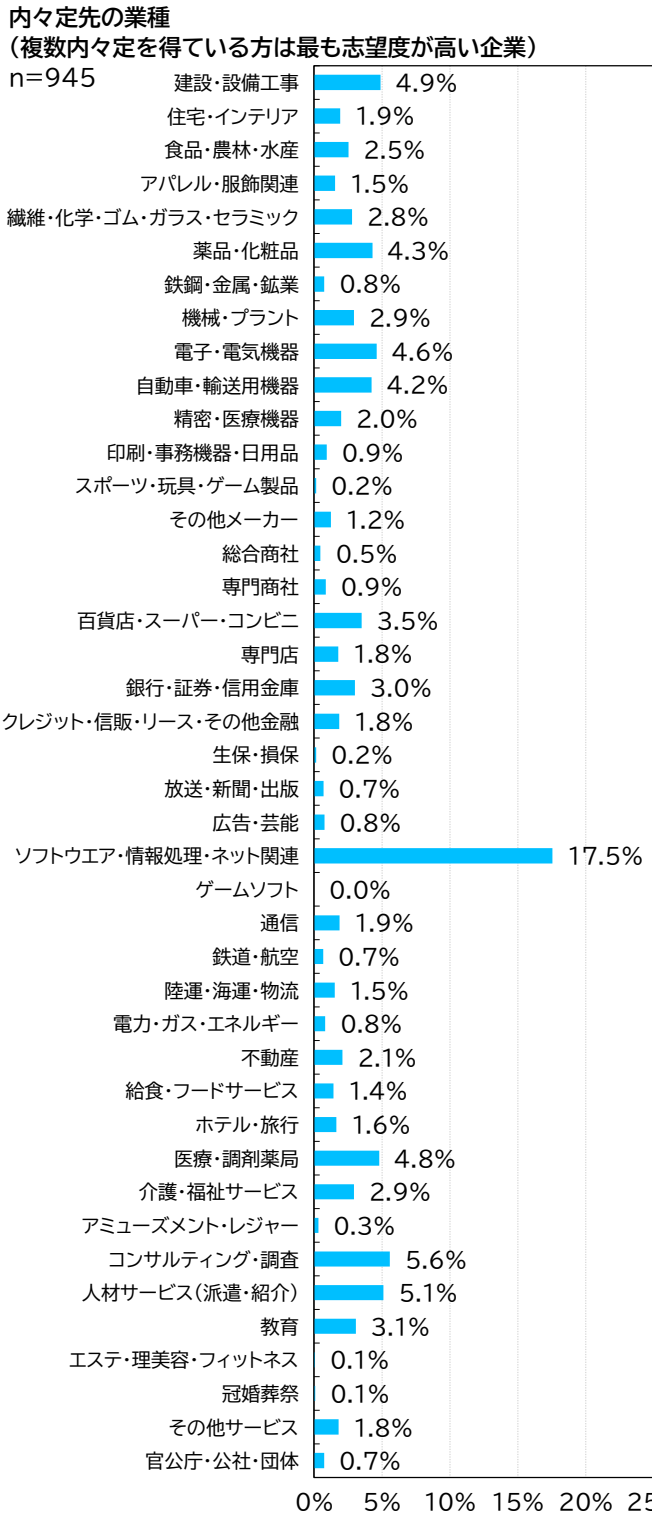
企業を選ぶときに、あなたが特に注目するポイント ベスト3まで選択・前年同月比



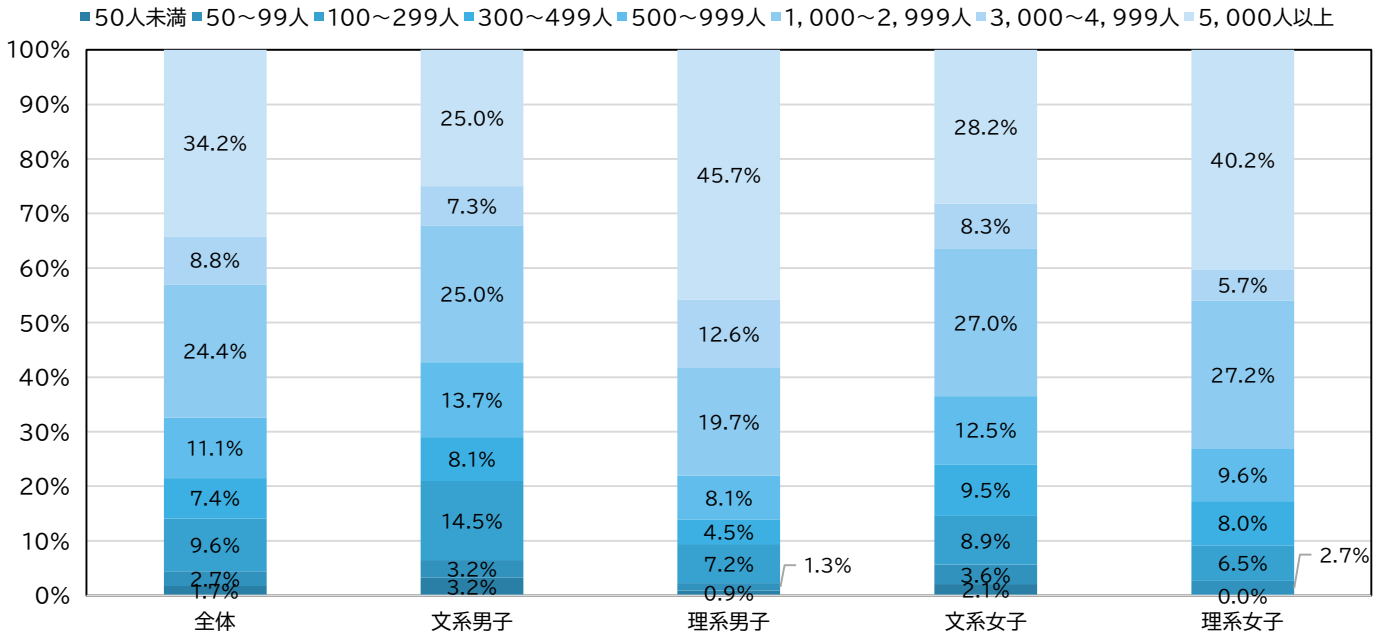
■4: 内々定保有者の活動状況

2月の活動状況で「内々定を得た(38.7%)」と回答した学生に、入社予定先に決めている内々定先または最も志望度が高い内々定先1社について聞いた。内々定先の業種は「ソフトウェア・情報処理・ネット関連(17.5%)」が突出していた。内々定先の主な発見ツールとしては「インターンシップ・仕事体験(30.0%)」の割合が最も多かった。内々定を得た時期は前年10月頃から徐々に増え始めるが、前年12月以降が84.5%と大半を占める。

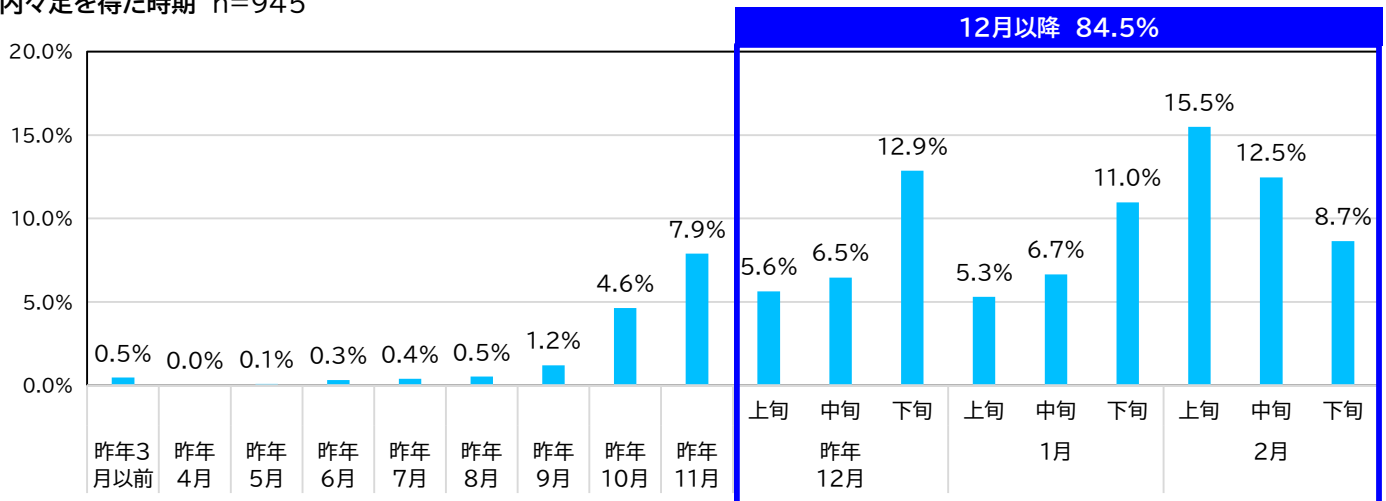
このように採用選考の早期化が見て取れるが、2月の活動状況について「入社予定先を決めて就職活動を終了した」と回答した割合は8.4%であった。残りの30.3%は、内々定を保有したまま就職活動を継続することとなり、25年卒においても、就職活動が本格化するの3月以降であると考えられる。



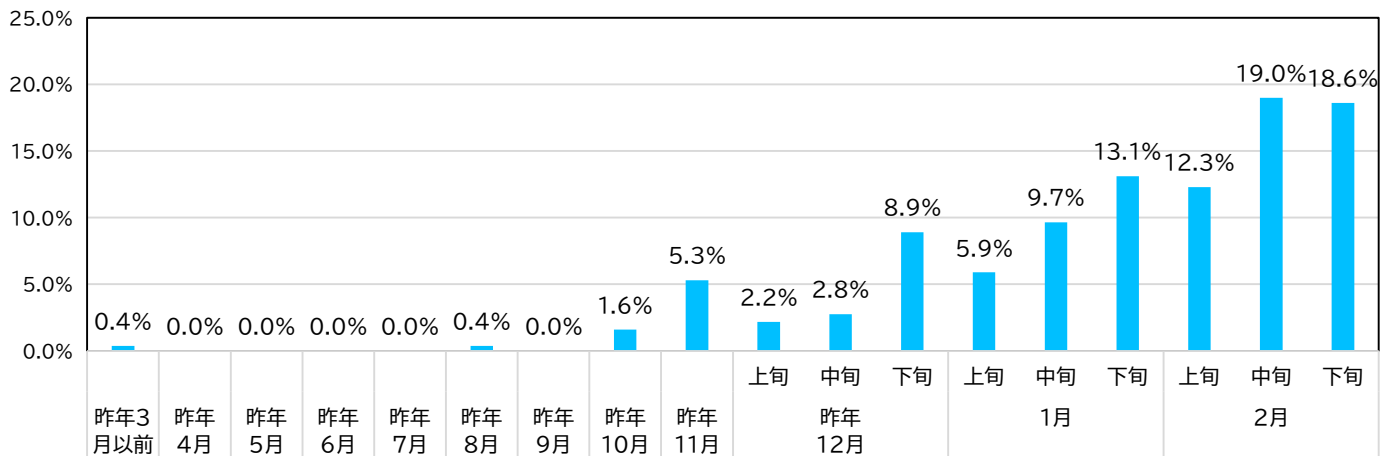
内々定先の規模 n=945



内々定を得た時期 n=945



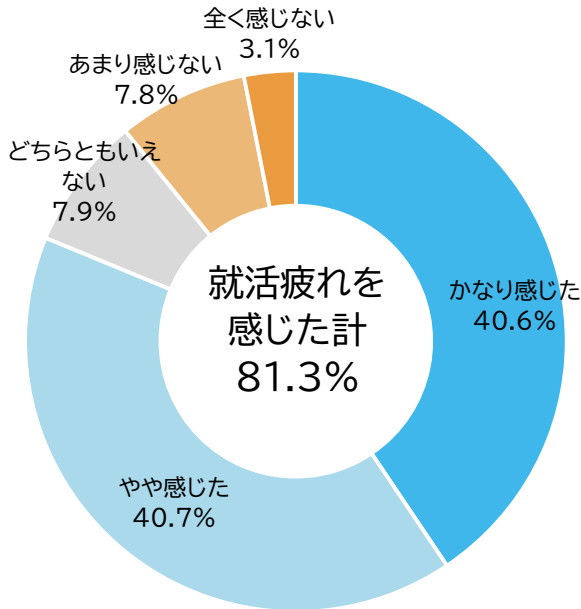
入社を固めた時期 n=212



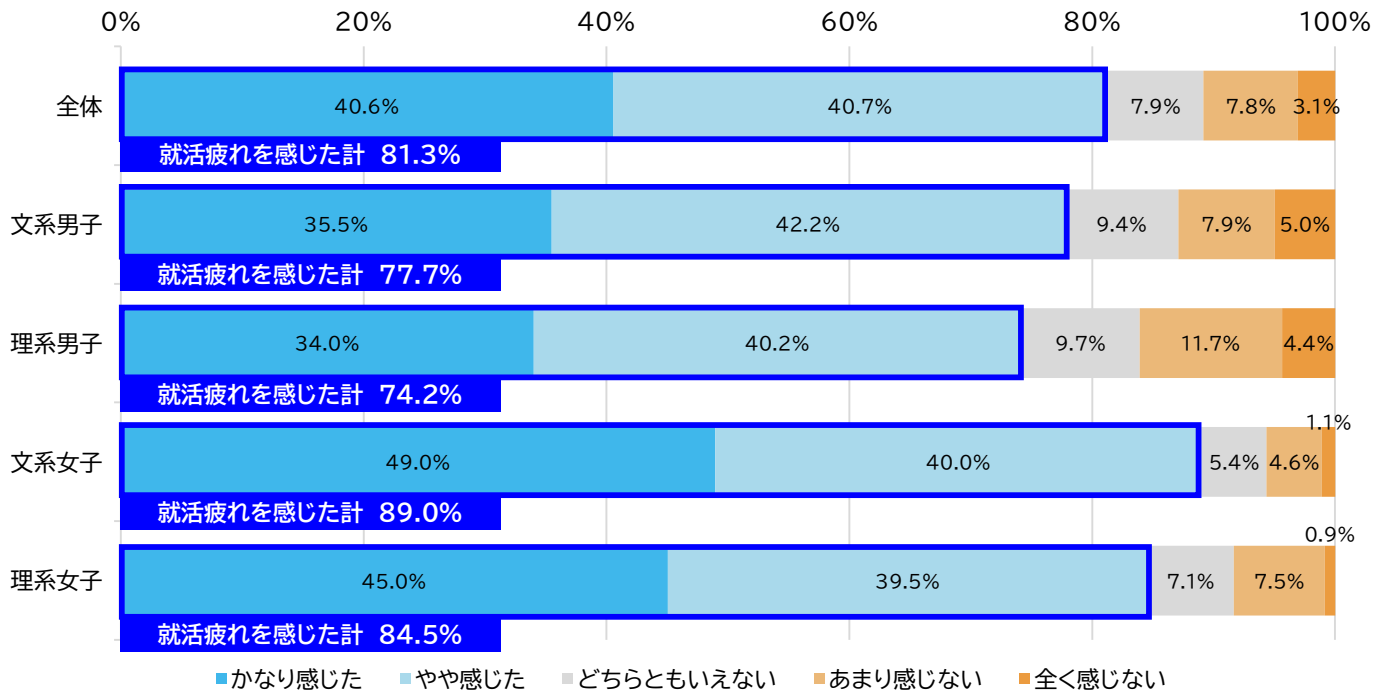
■5: 就活疲れ

就活疲れを感じたことはあるか（就活準備を含む）を聞いたところ、「(かなり+やや)感じた」と回答した学生は81.3%という結果となった。文理男女別にみると、理系学生より文系学生の方が、男子より女子の方が、就活疲れを感じたと回答した割合が多かった。就活疲れの理由として、全体では「面接を受けるのに緊張してしまう(33.9%)」「自己PRが思いつかない、うまくプレゼンできない(30.9%)」などが上位に入り、プレッシャーからくる疲れを感じる学生が多いようだ。文理で差が出たのは「進みたいキャリアが決まらない(文系19.7%、理系14.3%、文理差5.4pt)」、「学業との両立が難しい(文系10.9%、理系21.3%、文理差10.5pt)」であった。

就活疲れを感じたことはあるか(就活準備を含む)

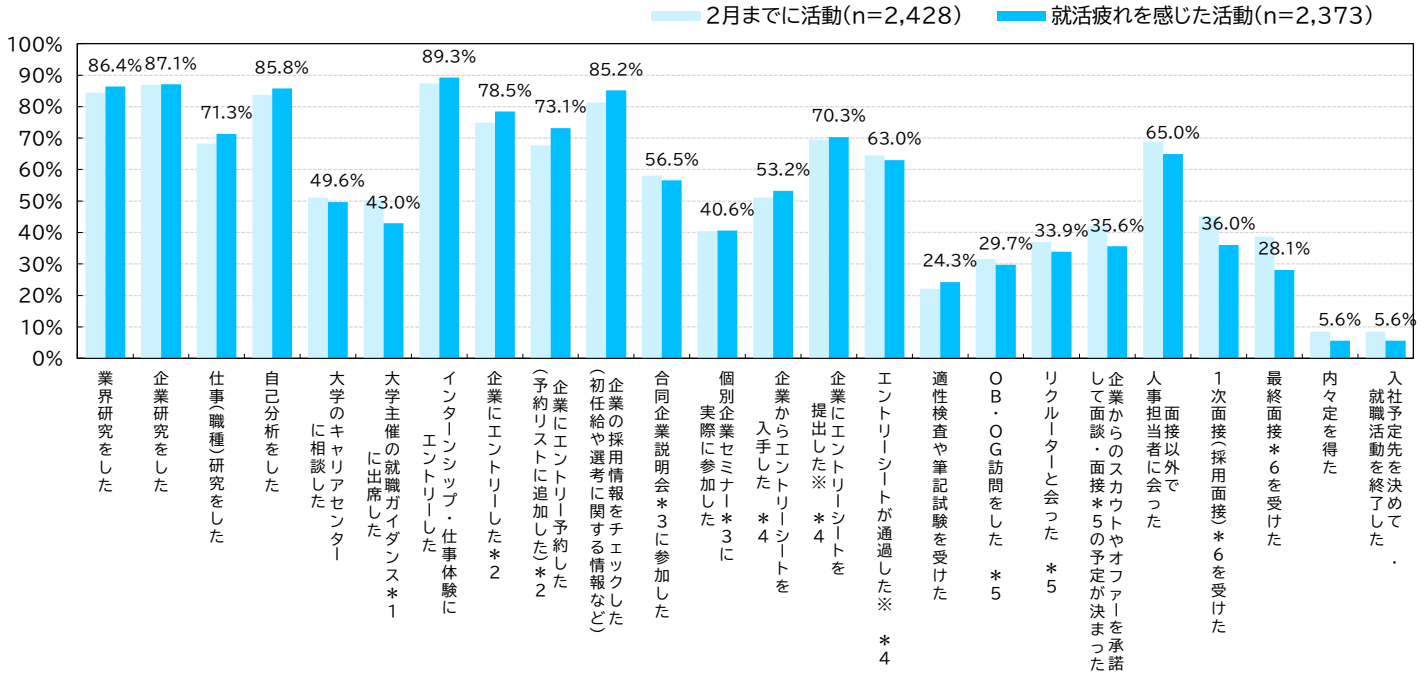


文理男女別・就活疲れを感じたことはあるか(就活準備を含む)



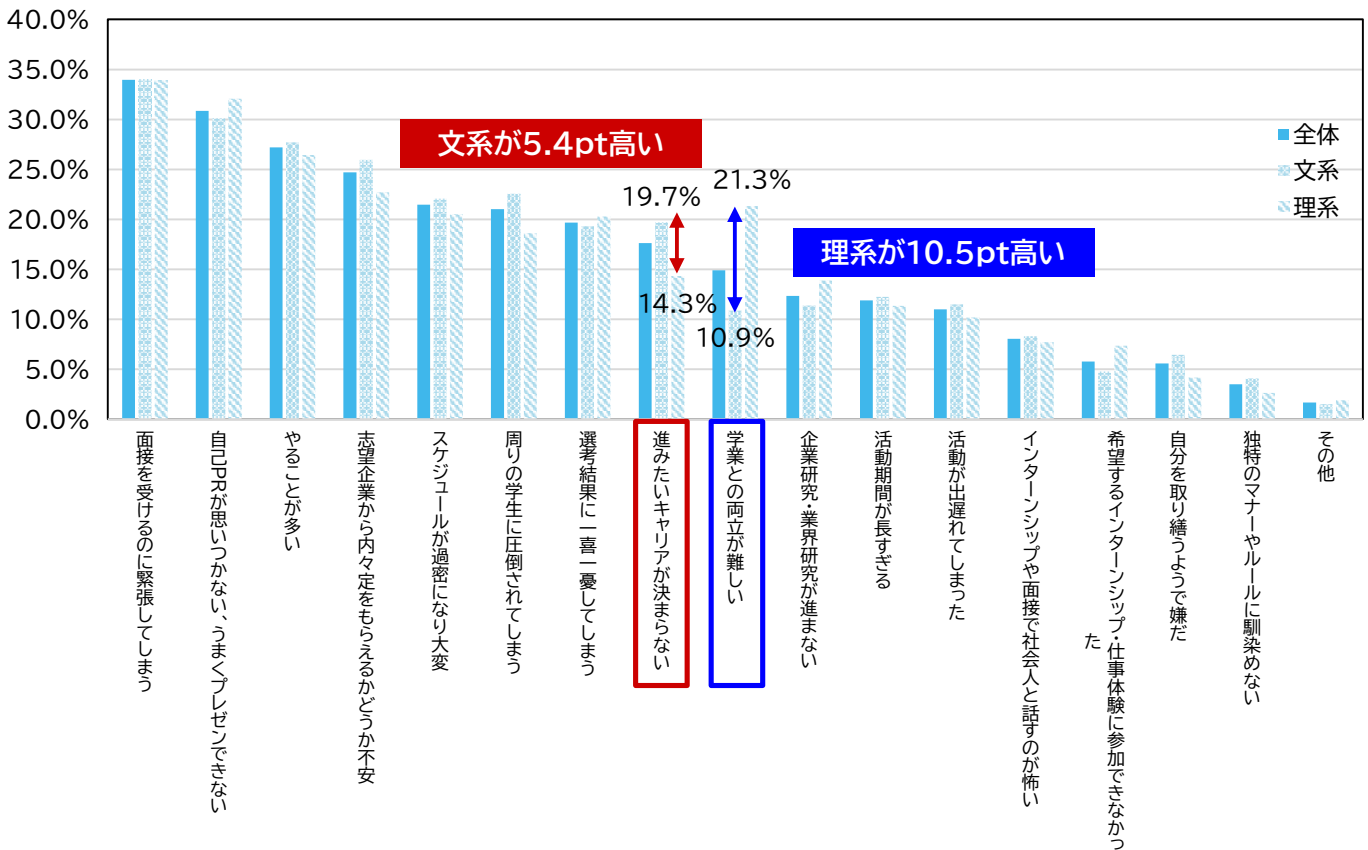
2月までの活動状況・就活疲れを感じた活動

グラフ上の数字は就活疲れを感じた活動



*1 オンライン形式を除く *2 インターンシップ・仕事体験エントリーを除く *3 WEBセミナーを除く
 *4 インターンシップ・仕事体験参加用を除く *5 WEB含む *6 WEB面接を含む

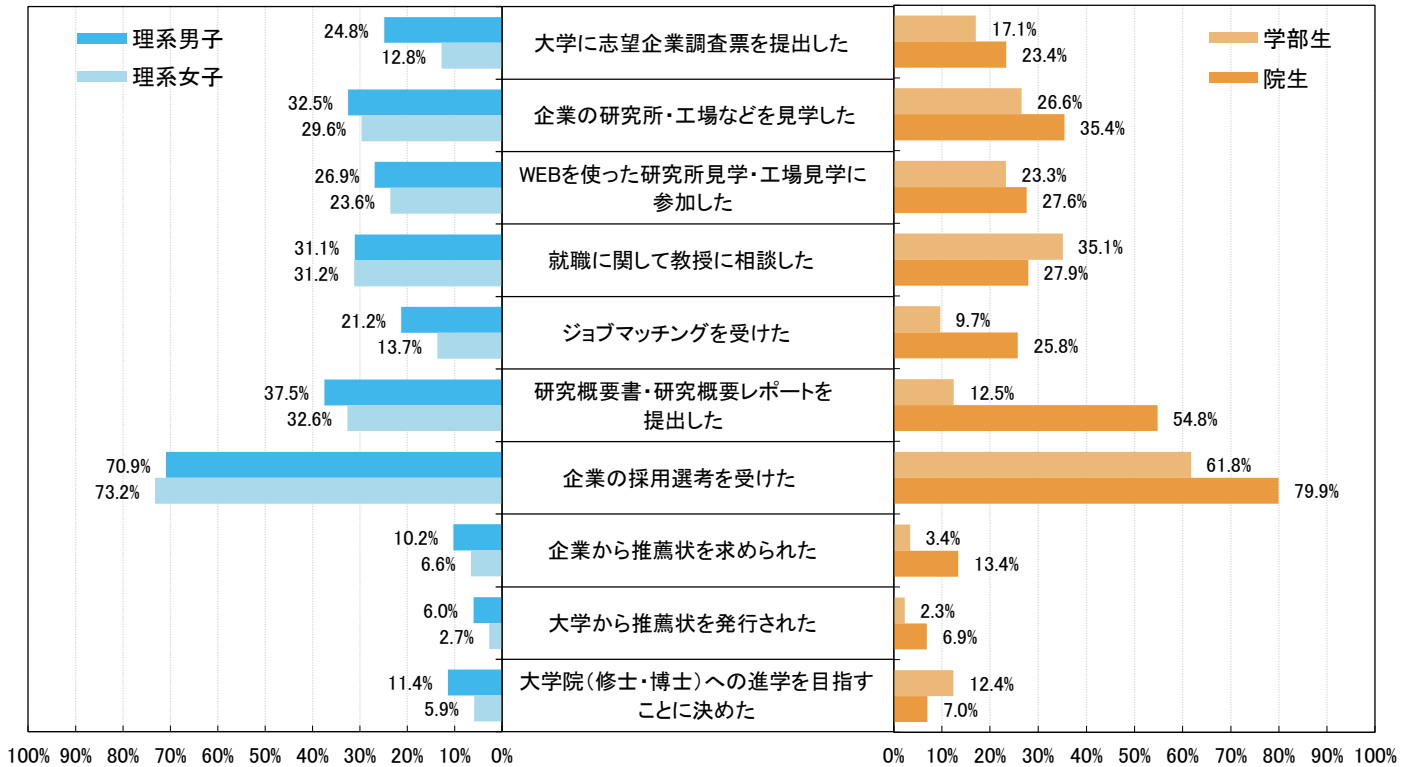
就活疲れの理由としてあてはまるもの(就活準備を含む)※上位3つまで



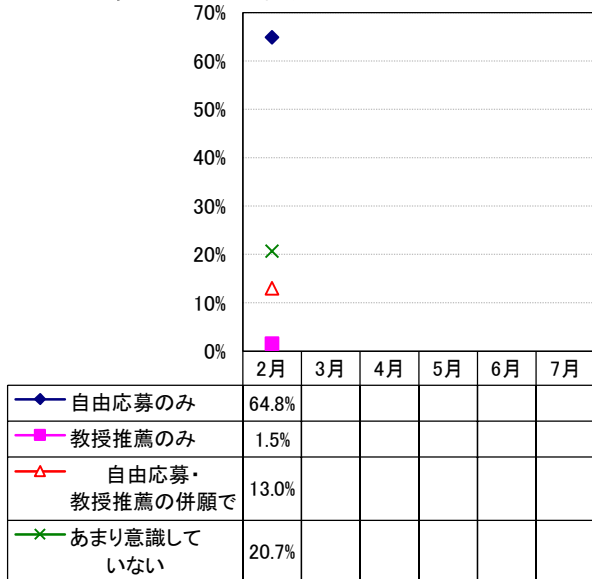
■6:【理系】2月の活動状況

理系学生に2月の活動状況を聞いたところ、「企業の選考を受けた」学生は、学部生61.8%（対前年0.6pt増）、院生79.9%（対前年1.2pt減）と前年と差がない結果となった。前年学部・院生とも回答率が増えた「WEBを使った研究所見学・工場見学に参加した」は、学部生は23.3%（対前年0.2pt減）と前年と差がない結果であったが、院生は27.6%（対前年9.8pt減）と大きく減少した。WEBでの活動が減少した分、対面の見学が増えたかというそうではなく、「企業の研究所・工場などを見学した」の割合は35.4%（対前年0.5pt増）と前年とほとんど差がない結果となった。キャリア形成～採用応募までの活動量が減少している全体の結果と同じく、理系学生においても一部の活動が鈍化している傾向があるようだ。

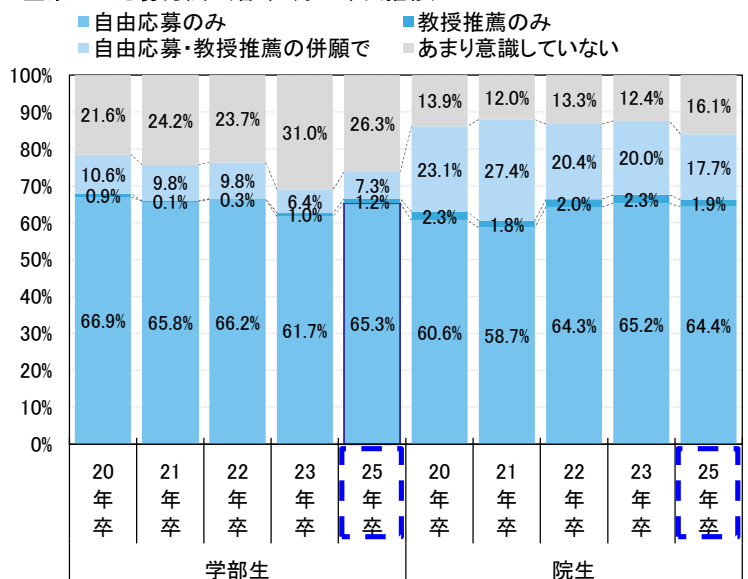
2月の理系学生の活動状況【複数回答】



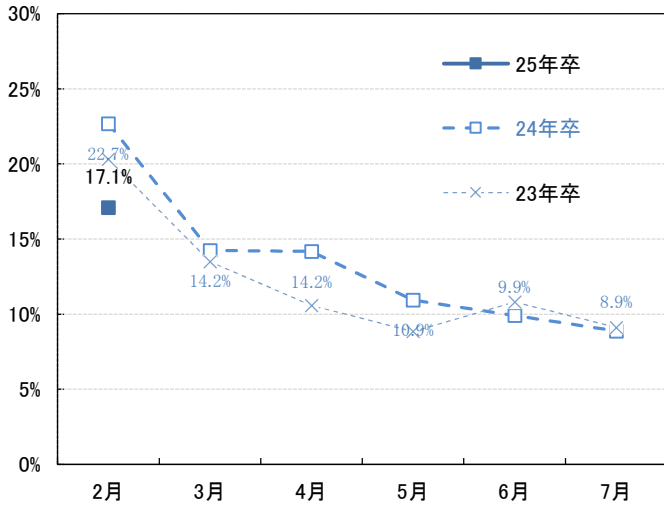
企業への応募方法 (25年卒2月～)



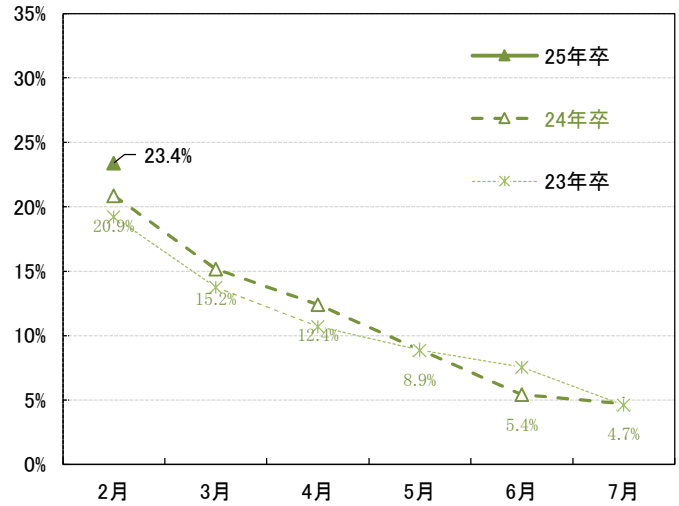
企業への応募方法 (各年2月の年次推移)



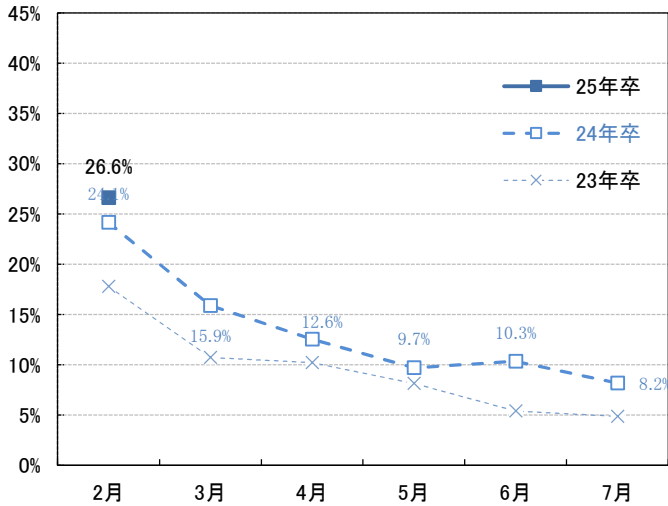
大学に志望企業調査票を提出した・学部生



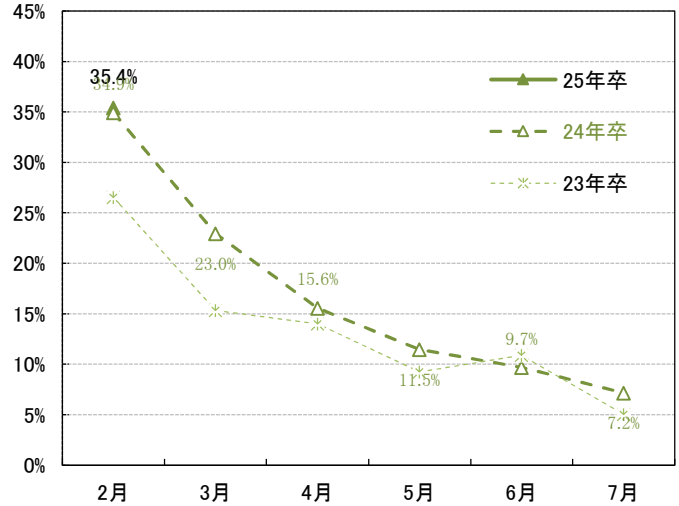
大学に志望企業調査票を提出した・院生



企業の研究所・工場などを見学した・学部生

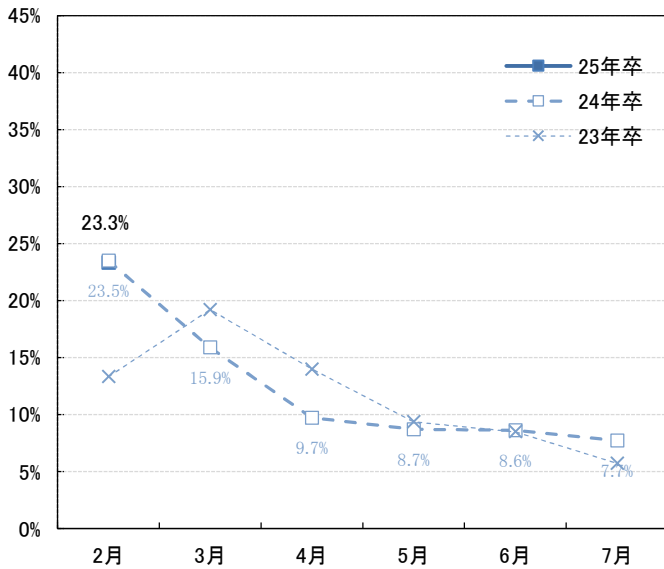


企業の研究所・工場などを見学した・院生



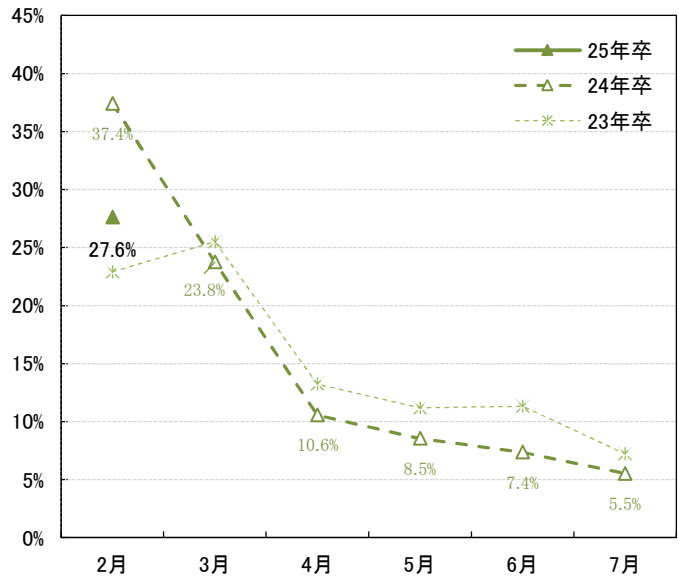
WEBを使った研究所見学・工場見学に参加した・学部生

※23年卒の2月は、3月に2月分の活動を調査したもの

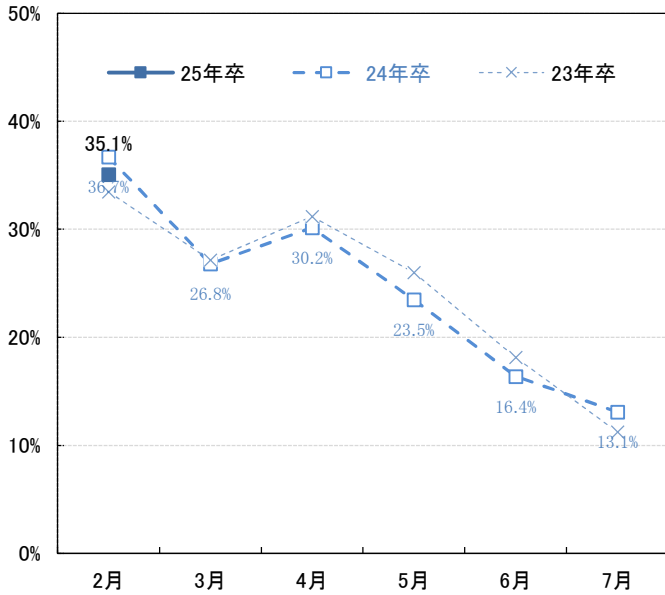


WEBを使った研究所見学・工場見学に参加した・院生

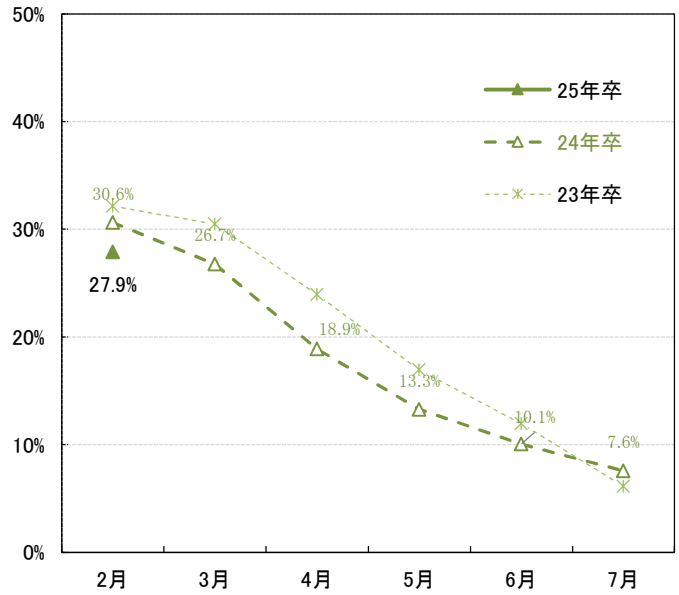
※23年卒の2月は、3月に2月分の活動を調査したもの



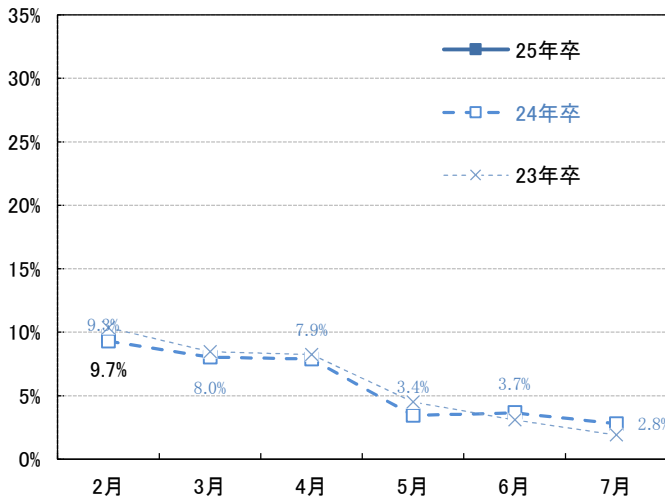
就職に関して教授に相談した・学部生



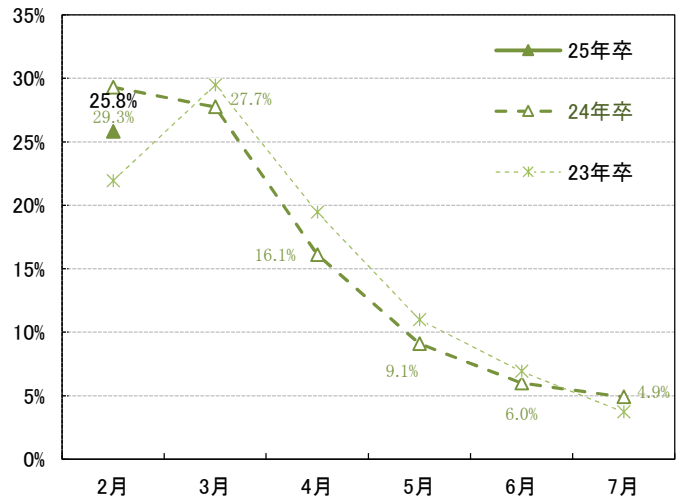
就職に関して教授に相談した・院生



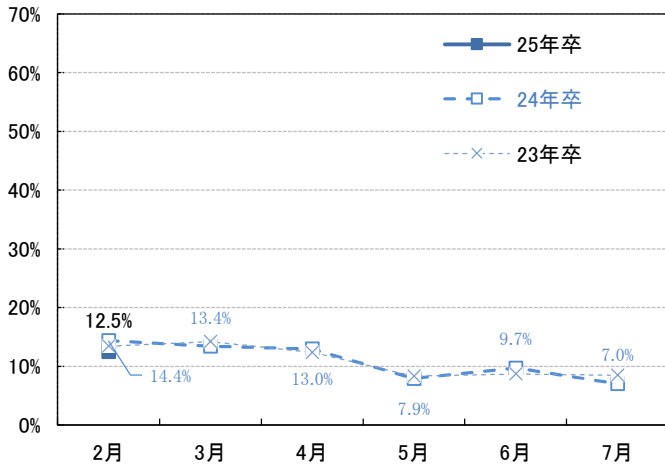
ジョブマッチングを受けた・学部生



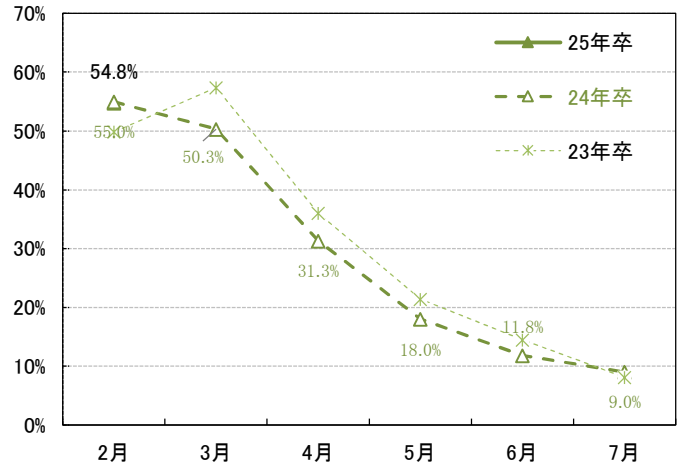
ジョブマッチングを受けた・院生



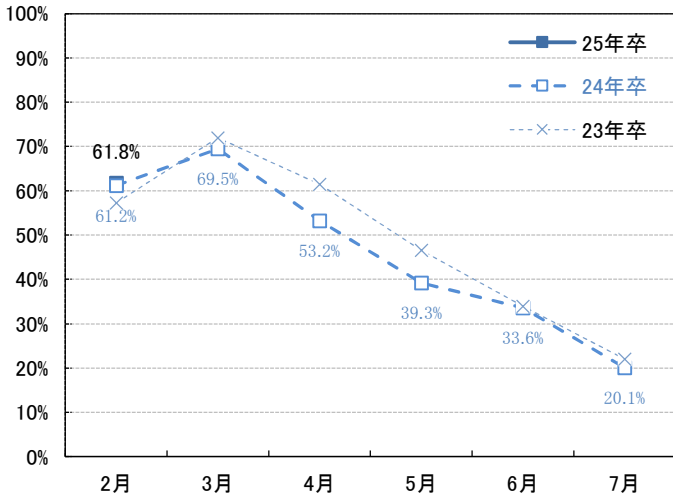
研究概要書・研究概要レポートを提出した・学部生



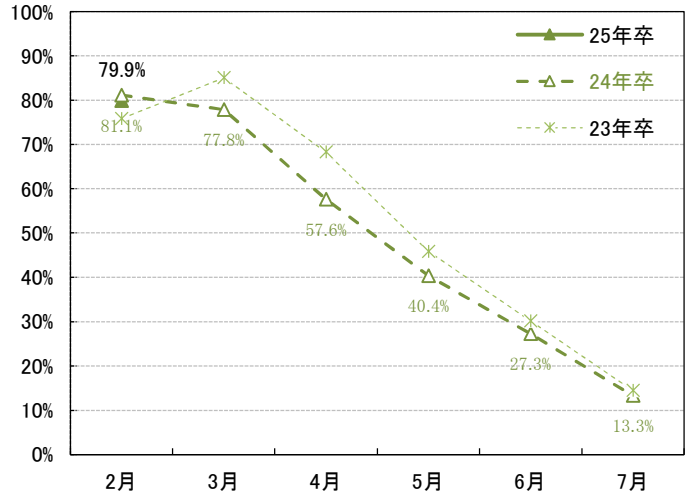
研究概要書・研究概要レポートを提出した・院生



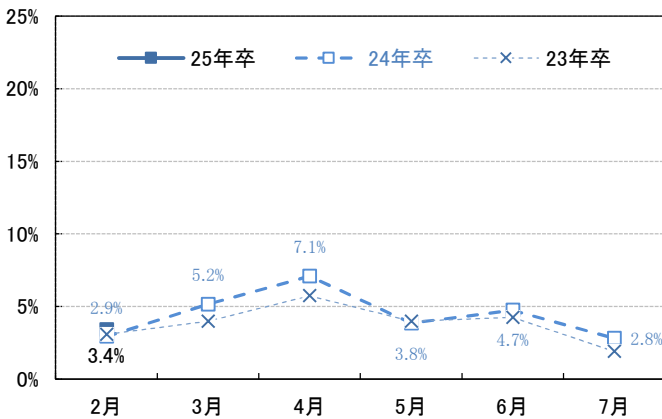
企業の採用選考を受けた・学部生



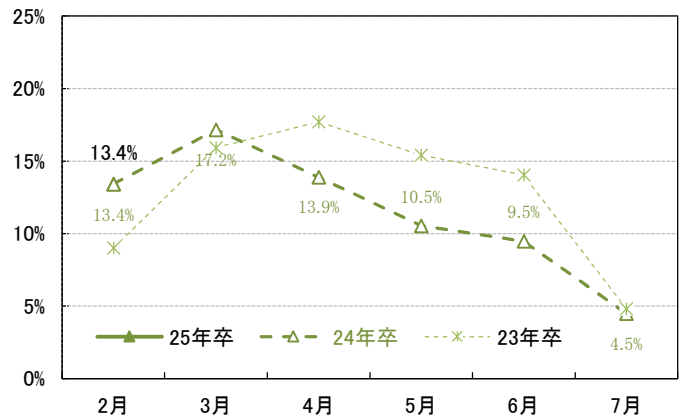
企業の採用選考を受けた・院生



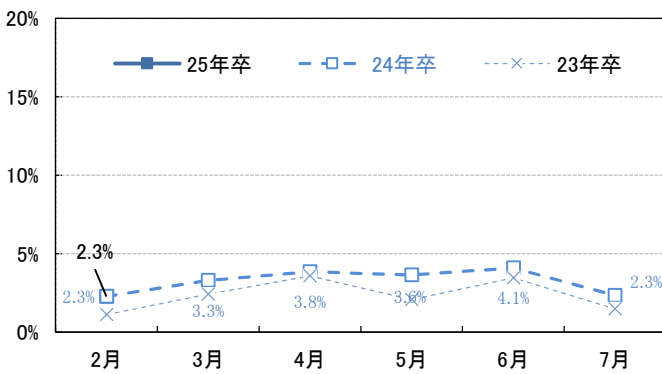
企業から推薦状を求められた・学部生



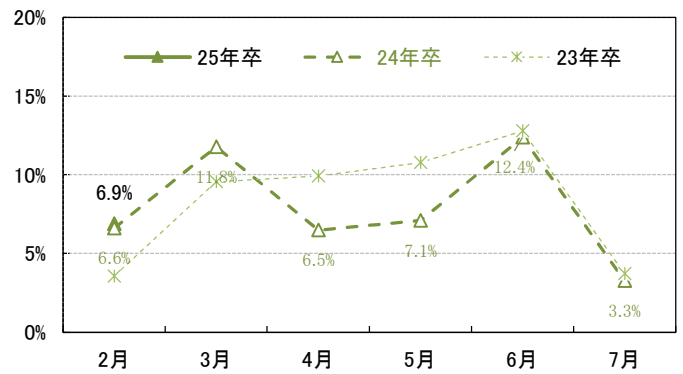
企業から推薦状を求められた・院生



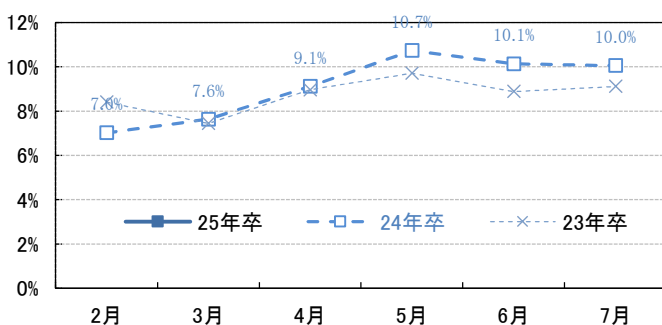
大学から推薦状を発行された・学部生



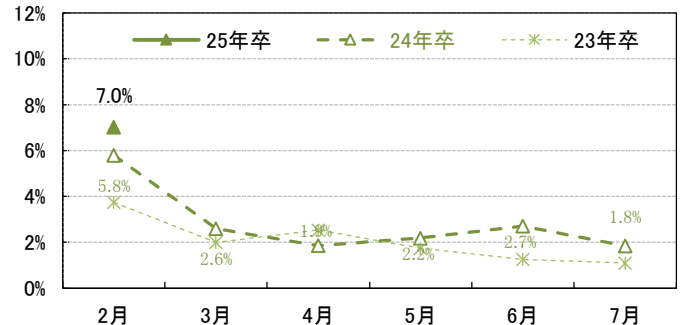
大学から推薦状を発行された・院生



大学院への進学を目指すことに決めた・学部生



大学院への進学を目指すことに決めた・院生

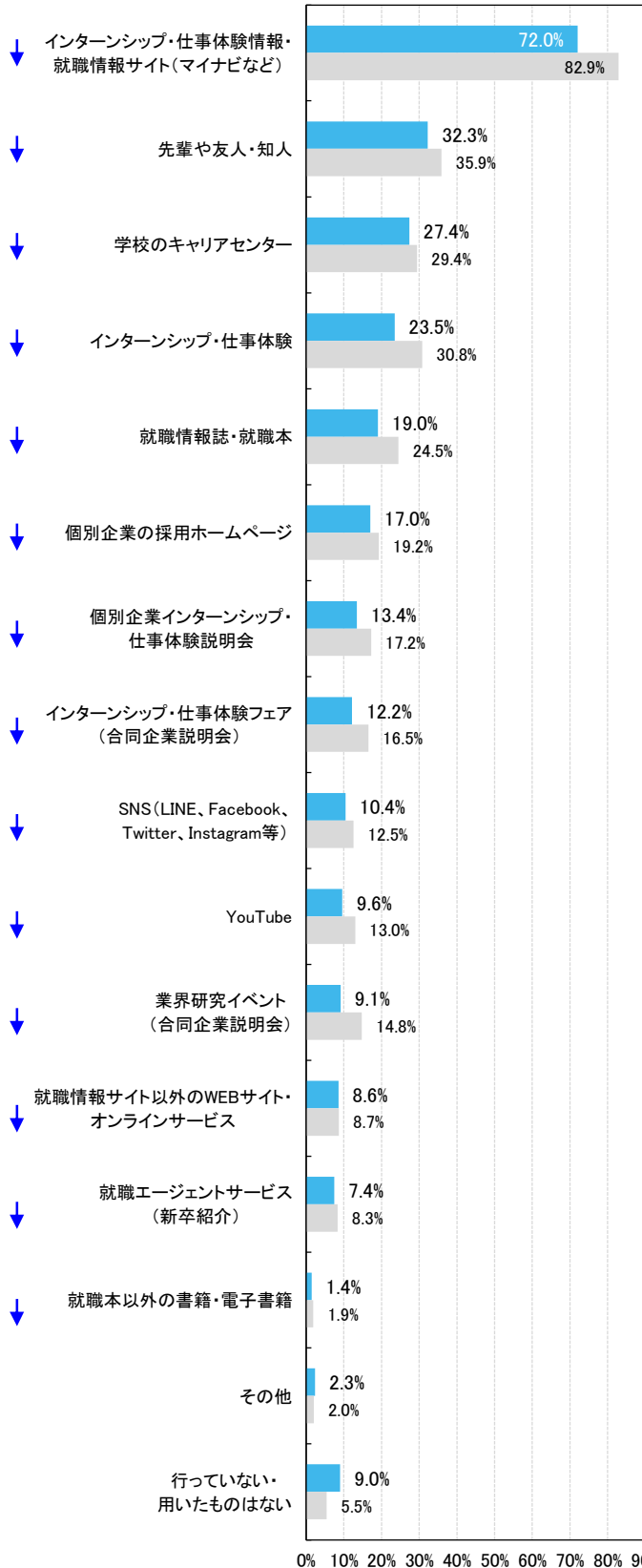


■7: 自己分析・業界研究・企業研究に用いたもの

自己分析・業界研究・企業研究に用いたものをそれぞれ選択してもらったところ、3つとも、ほとんどの項目の回答率が昨年よりも減少した。キャリア形成に関わる活動が全体的に減少していることから、各種活動に用いたものが減少するのは自然な結果であると考えられる。いずれの活動においても「インターンシップ・仕事体験情報・就職情報サイト」の割合が最も高いのは前年同様の結果で、自己分析（72.0%、対前年10.9pt減）、業界研究（79.4%、対前年5.8pt減）、企業研究（74.6%、対前年6.8pt減）となった。

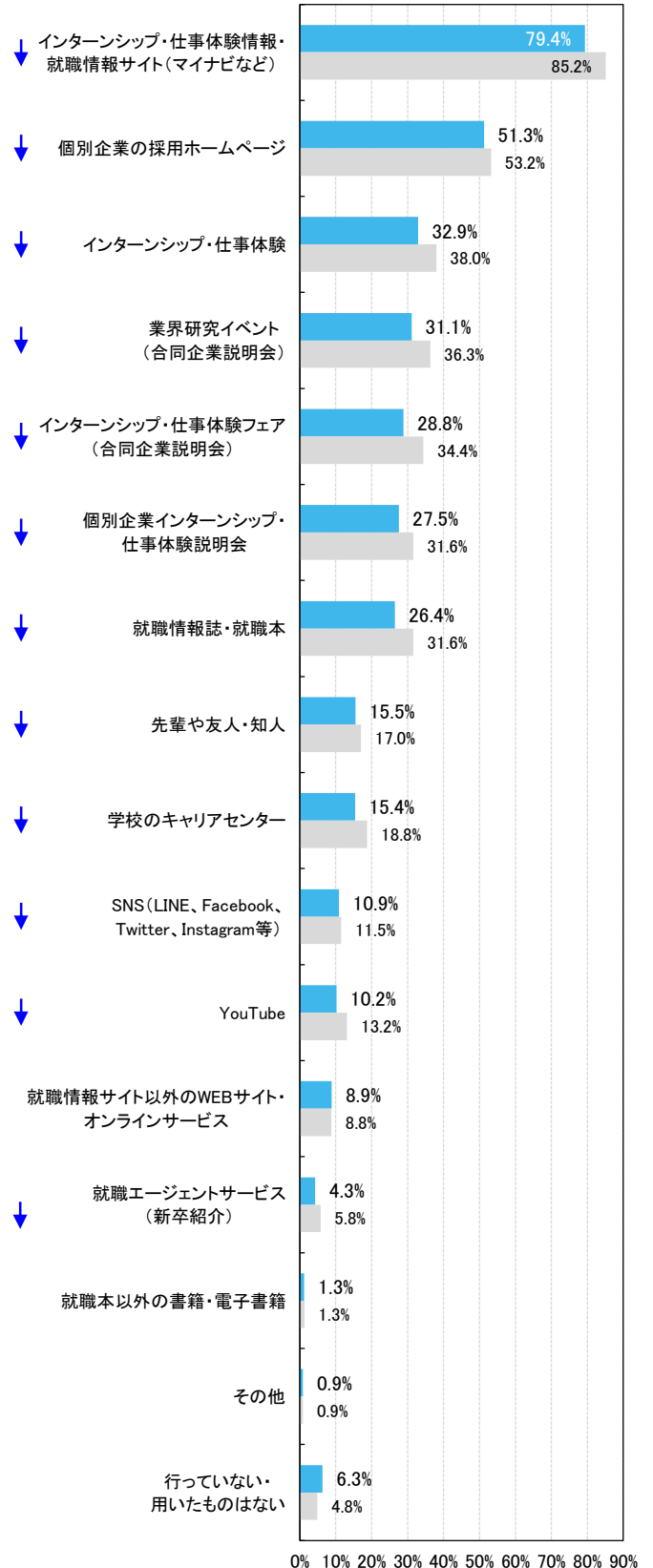
自己分析に用いたもの【複数回答】

■ 25年卒
■ 24年卒

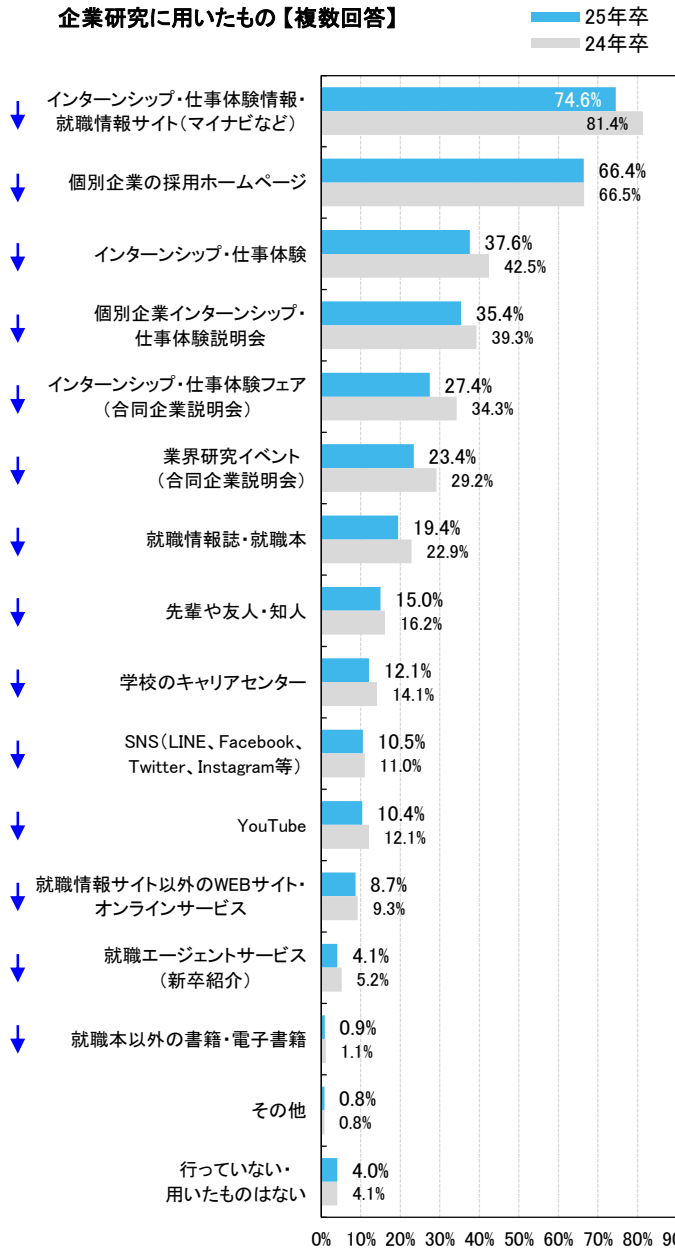


業界研究に用いたもの【複数回答】

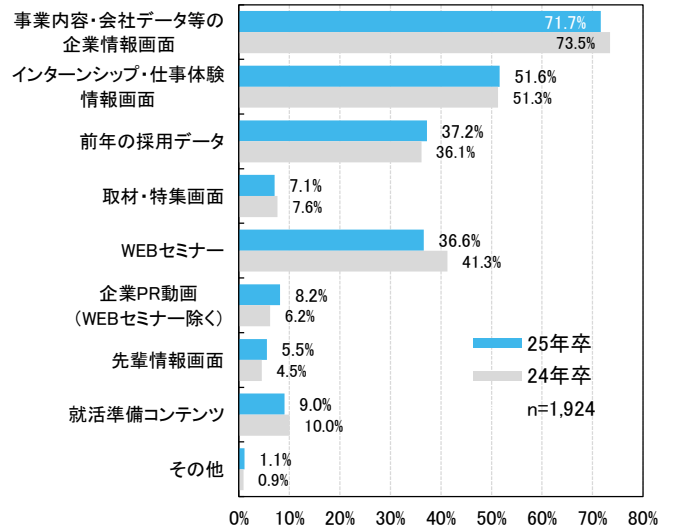
■ 25年卒
■ 24年卒



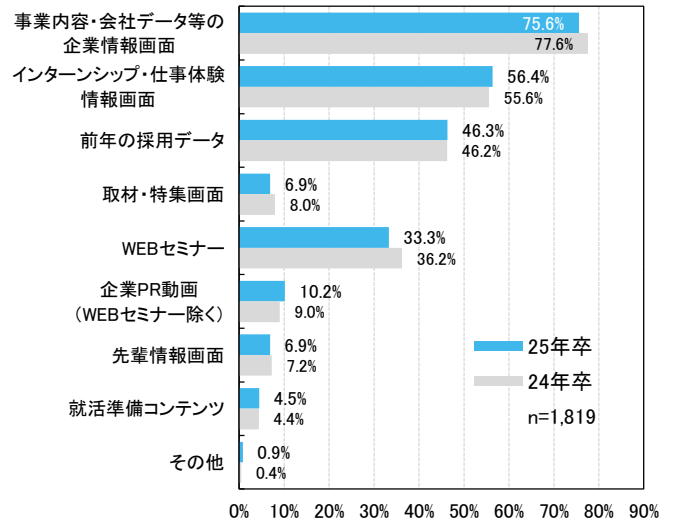
企業研究に用いたもの【複数回答】



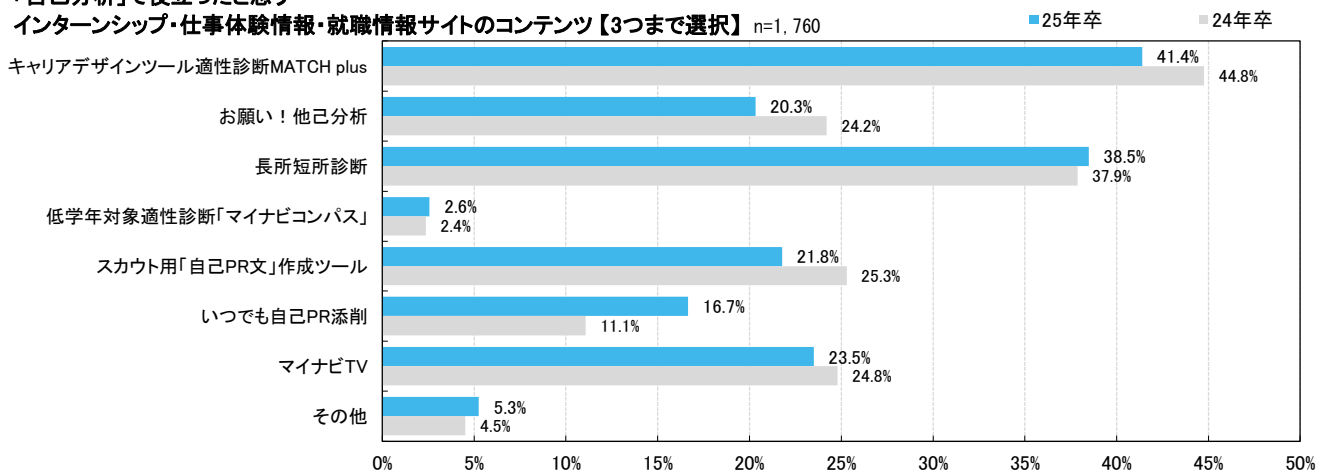
「業界研究」で役立ったと思う
インターンシップ・仕事体験情報・就職情報サイトのコンテンツ【3つまで選択】 n=1,924



「企業研究」で役立ったと思う
インターンシップ・仕事体験情報・就職情報サイトのコンテンツ【3つまで選択】 n=1,819



「自己分析」で役立ったと思う
インターンシップ・仕事体験情報・就職情報サイトのコンテンツ【3つまで選択】 n=1,760



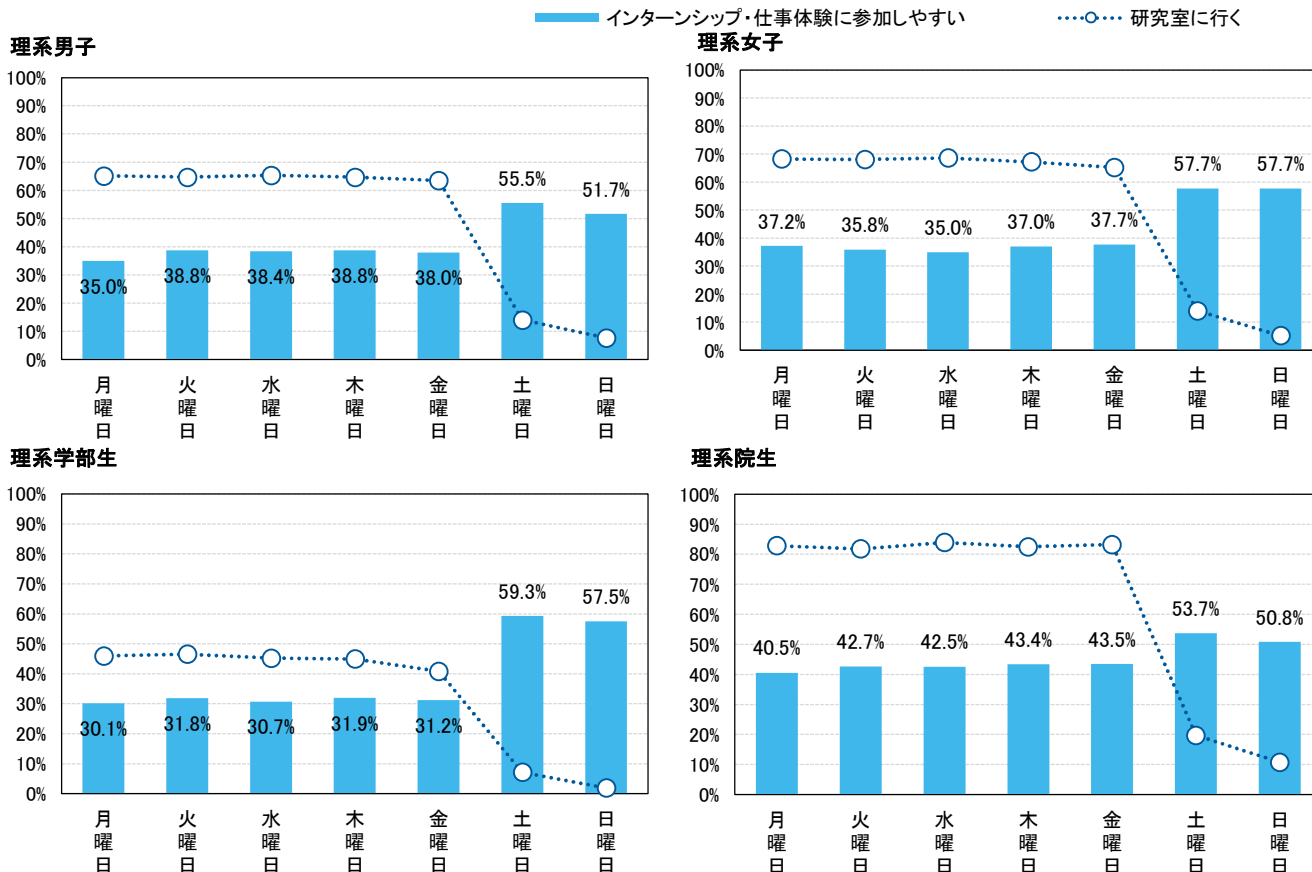
■8: インターンシップ・仕事体験について

インターンシップ・仕事体験に参加しやすい曜日を聞いたところ、理系学部生は平日と土日の参加のしやすさで差が大きく、平日より土日のほうが参加しやすいと回答した割合が約3割弱高かった。理系院生では学部生ほどではないものの、土日を参加しやすいと回答した割合が1割ほど高かった。

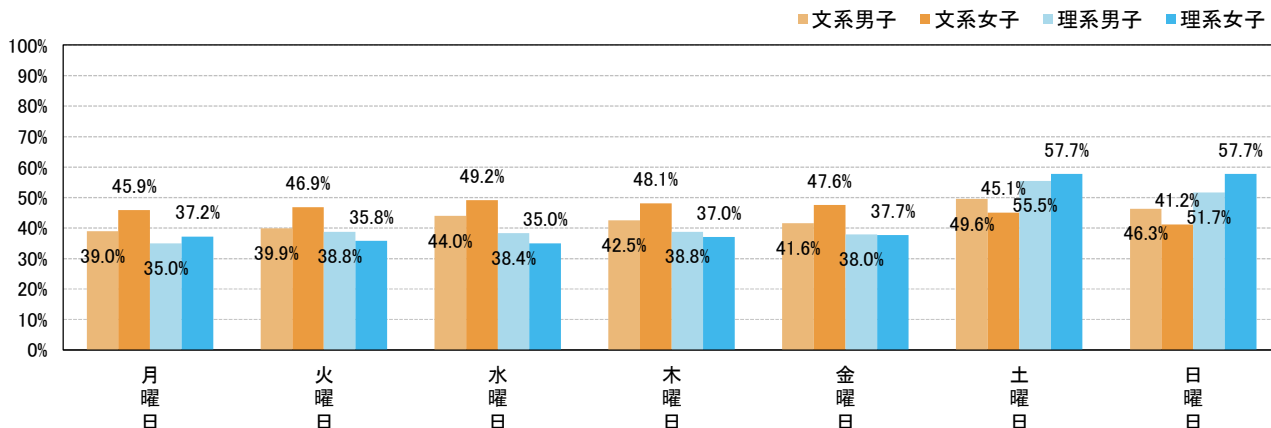
就活疲れの理由として、理系学生の21.3%が「学業との両立が難しい」と回答しているが（■5参照）、平日には理系学部生の4割程度、院生の8割程度が研究室に行っているという結果となった。

理系の学生がインターンシップ・仕事体験に参加しやすい曜日と研究室に行く曜日【複数回答】

※グラフ内数字はインターンシップ・仕事体験に参加しやすいと回答した割合



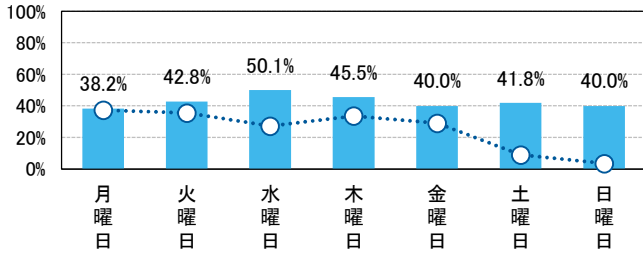
インターンシップ・仕事体験に参加しやすい曜日【複数回答】



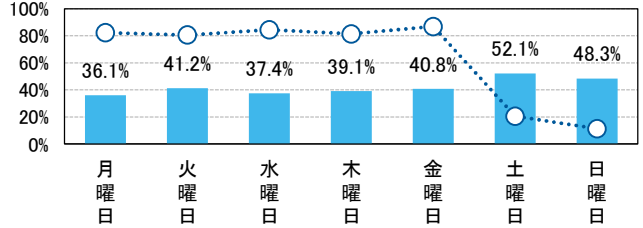
※グラフ内数字は参加しやすいと回答した割合

■ インターンシップ・仕事体験に参加しやすい ● 研究室に行く

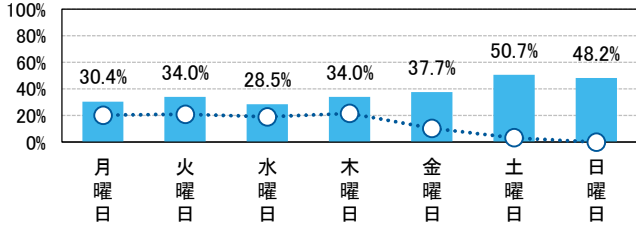
学部生・機電系



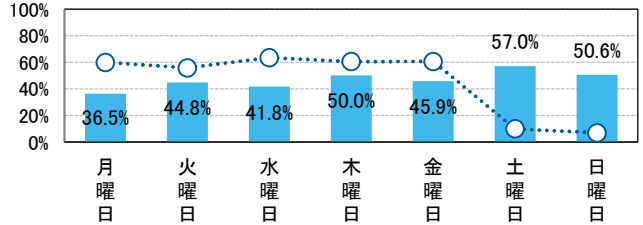
院生・機電系



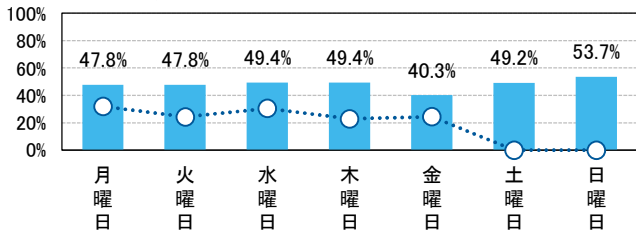
学部生・情報系



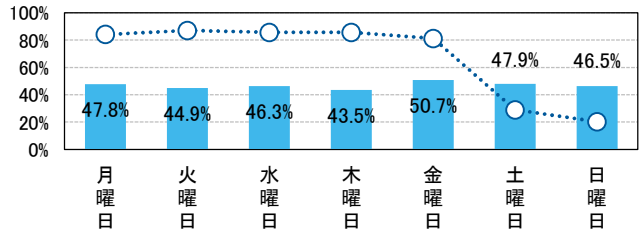
院生・情報系



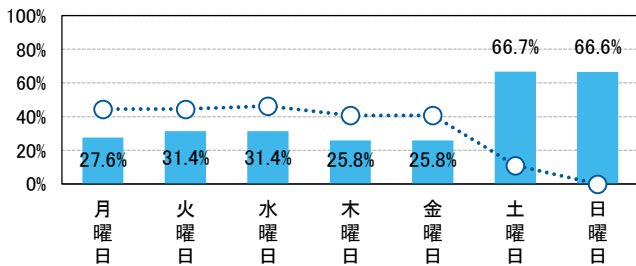
学部生・土木・建築系



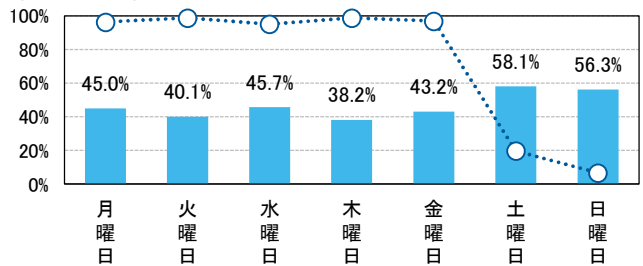
院生・土木・建築系



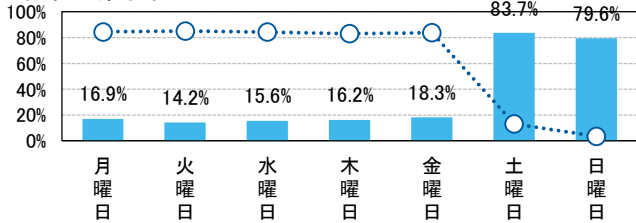
学部生・化学系



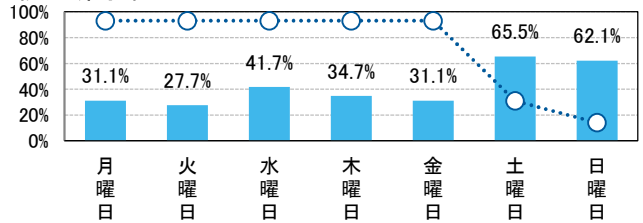
院生・化学系



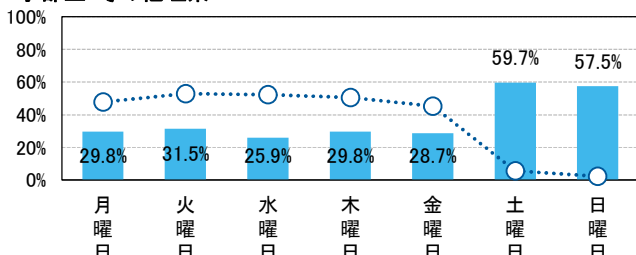
学部生・薬学系



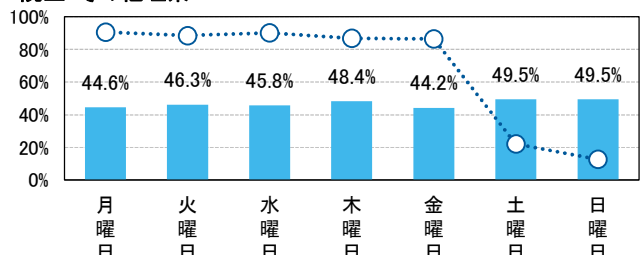
院生・薬学系



学部生・その他理系

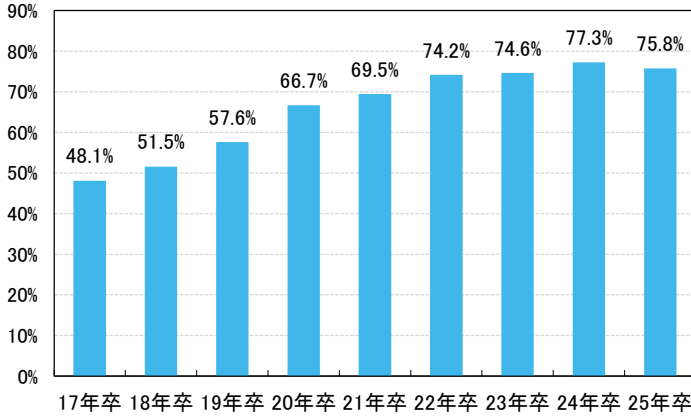


院生・その他理系

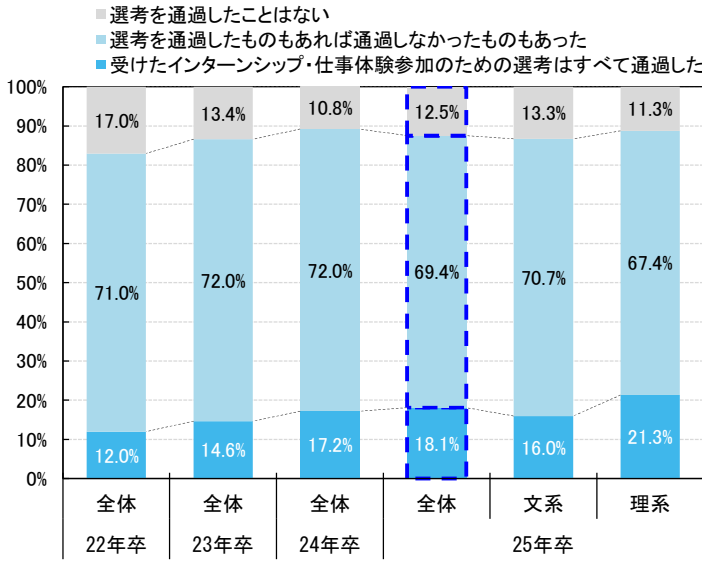


これまでにインターンシップ・仕事体験参加のための選考を受けたことがあるのは75.8%（対前年1.5pt減）で、17年卒以降7年連続で増加していたが、初めて減少に転じた。選考を受けたことがある学生が受けた平均社数は8.7社（対前年0.4pt増）、うち通過した数の平均は4.7社（対前年0.2pt増）といずれも微増という結果を踏まえると、インターンシップ・仕事体験のための選考を受けたことのある割合は高止まりとなっていると言える。

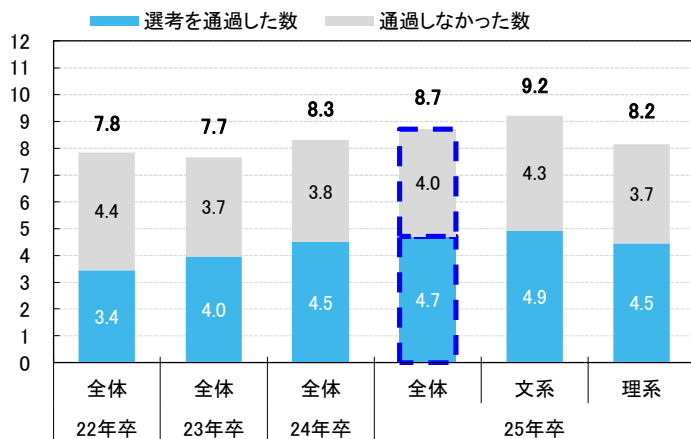
これまでにインターンシップ・仕事体験参加のための選考を受けたことがある割合



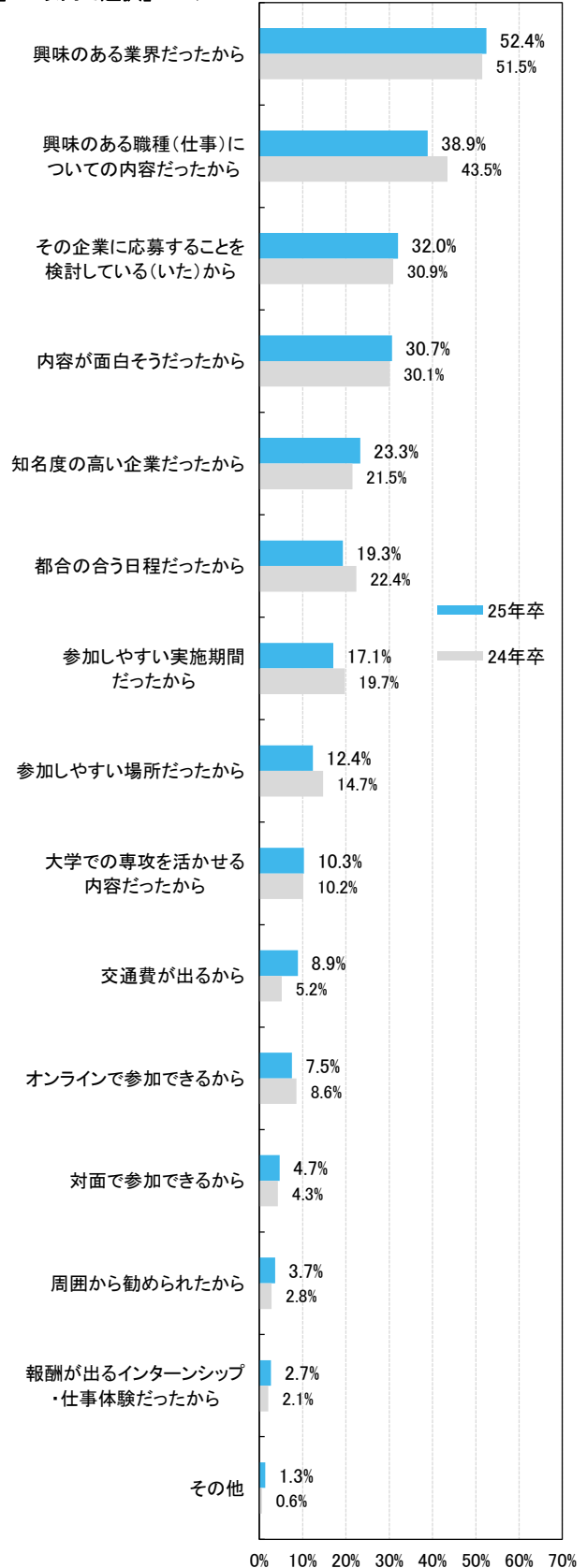
インターンシップ・仕事体験参加のための選考を受けたことのある学生：
インターンシップ・仕事体験参加のための選考を通過したことがあるか
n=1,775



インターンシップ・仕事体験参加のための選考を受けたことのある学生：
インターンシップ・仕事体験参加のための選考を受けた数と通過した数平均
n=1,775 ※グラフ上太数字は選考を受けた社数平均 【単位：社】

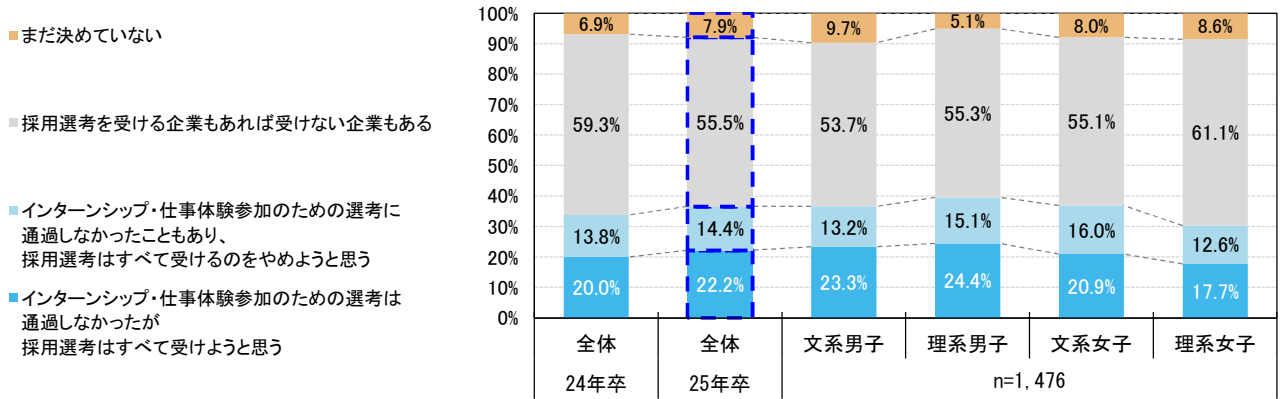


インターンシップ・仕事体験に応募したことがある学生：
インターンシップ・仕事体験に応募する際の基準
【3つ以内で選択】 n=2,295

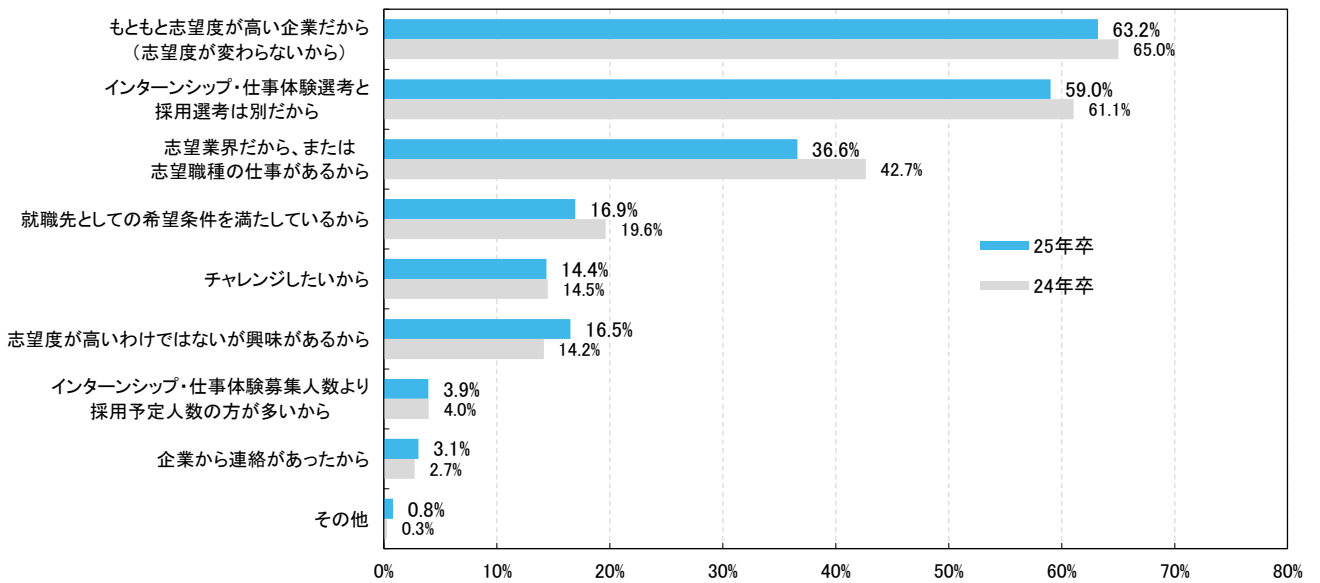


インターンシップ・仕事体験参加のための選考を通過しなかったことのある学生:

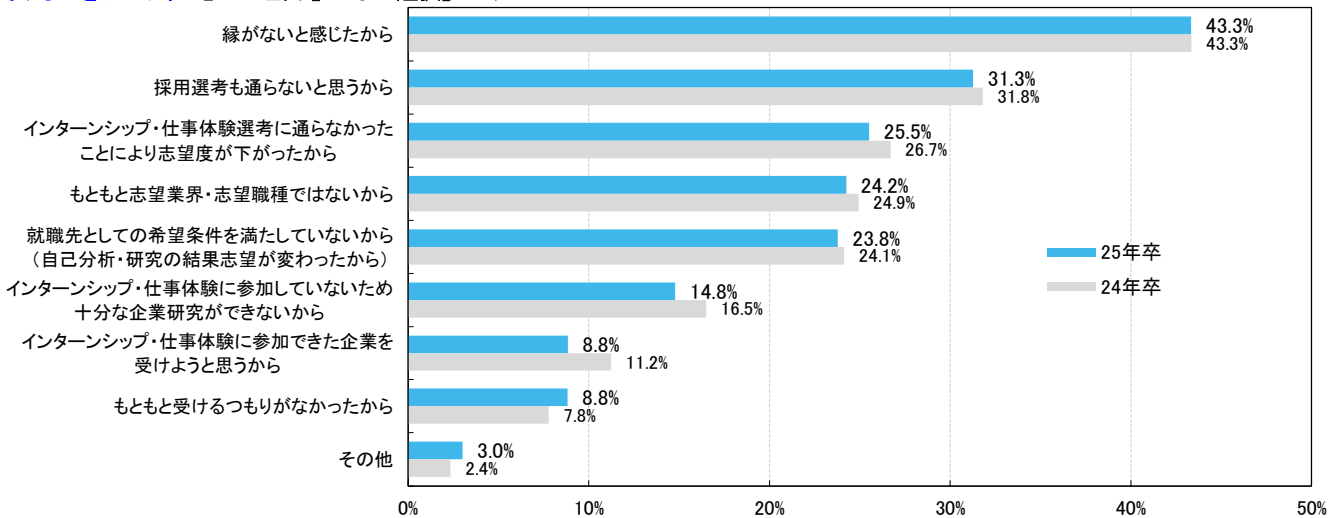
インターンシップ・仕事体験参加のための選考を通過しなかった企業の採用選考について n=1,476



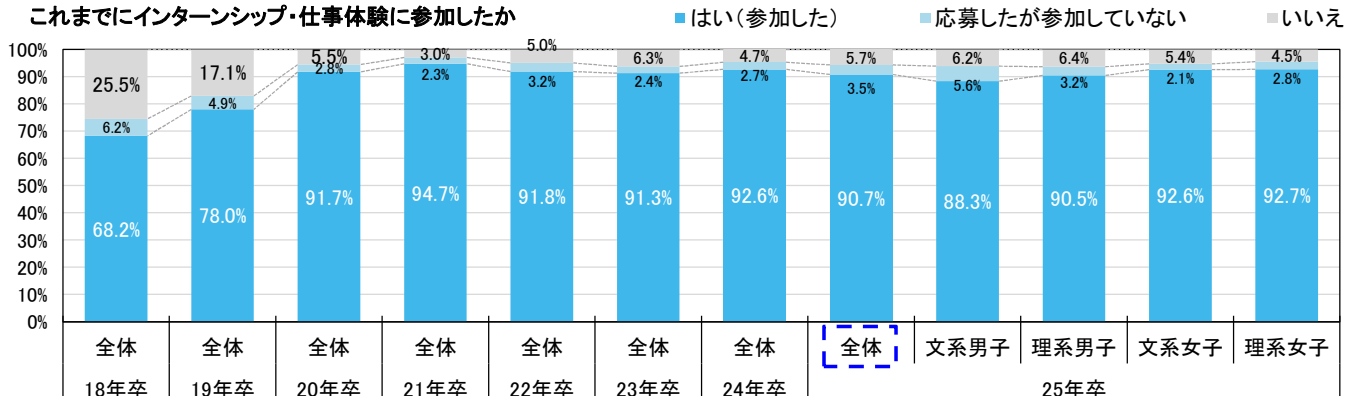
インターンシップ・仕事体験参加のための選考を通過しなかった企業の採用選考を受けようと思った理由【3つまで選択】 n=1,146



インターンシップ・仕事体験参加のための選考を通過しなかった企業の採用選考を受けるのをやめようと思った理由【3つまで選択】 n=1,047

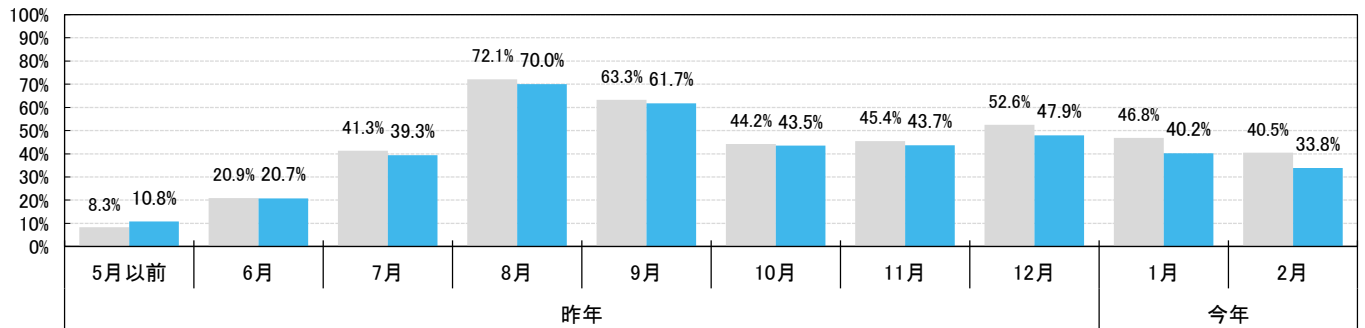


これまでにインターンシップ・仕事体験に参加したことがある学生は90.7%で、20年卒から6年連続で9割を超える結果となった。参加したことがある時期は前年8月（70.0%）が最も多く、次いで昨年9月（61.7%）で、ピークは例年と変わらない。参加経験者のうち前年9月までに参加したことがあったのは86.2%で、ほとんどの学生が夏の終わりにまでに参加していたようだ。



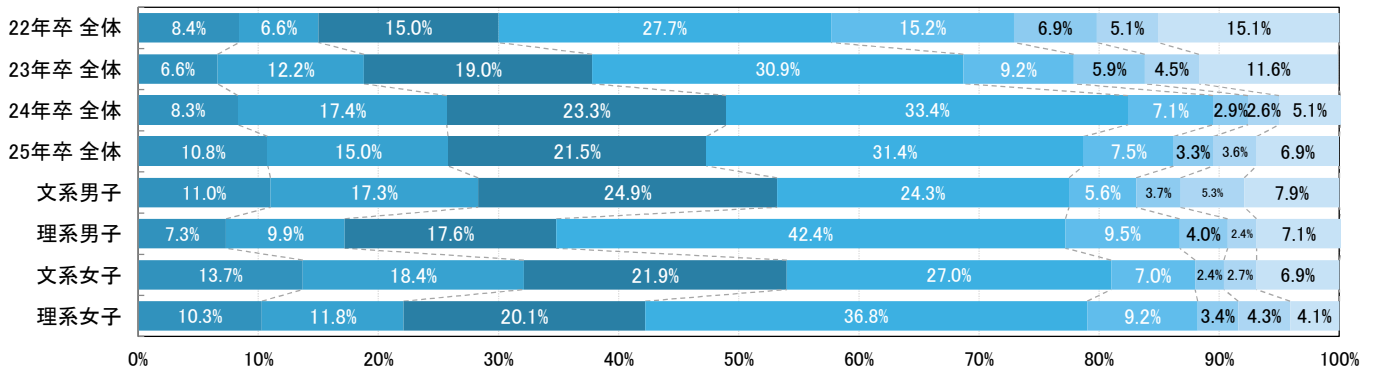
以下、インターンシップ・仕事体験に参加したことがある学生のみ回答 n=2, 223

インターンシップ・仕事体験に参加した時期すべて【複数回答】



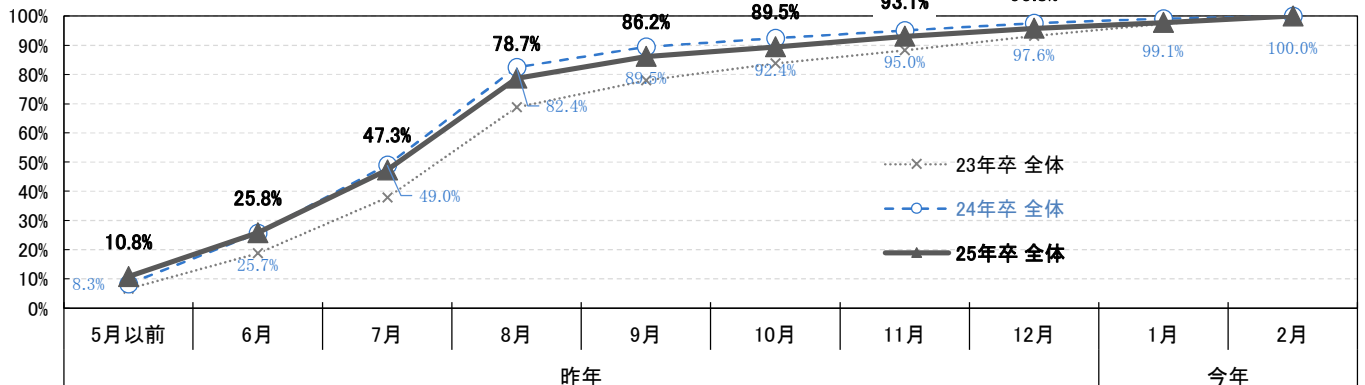
最初にインターンシップ・仕事体験に参加した時期 n=2, 223

■ 昨年 5月以前 ■ 昨年 6月 ■ 昨年 7月 ■ 昨年 8月 ■ 昨年 9月 ■ 昨年 10月 ■ 昨年 11月 ■ 昨年 12月以降



インターンシップ・仕事体験参加経験者が、その時期までにインターンシップ・仕事体験に参加していた割合

n=2, 150



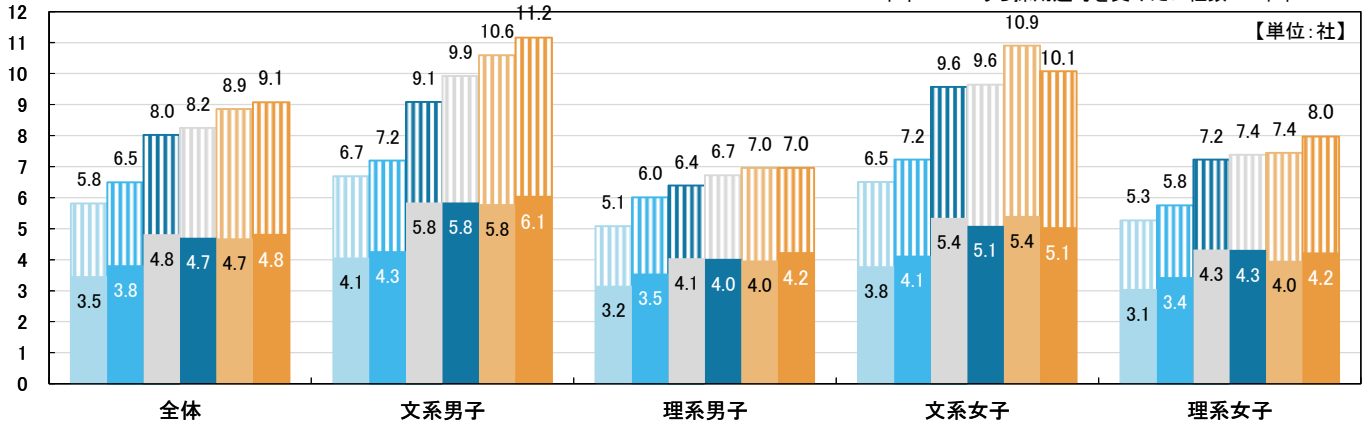
インターンシップ・仕事体験に参加したことがある学生の参加社数平均は9.1社（対前年0.2pt増）で、そのうち採用選考を受けたい社数平均は4.8社（対前年0.1pt増）だった。9月30日以前と10月1日以降に分けて参加社数を聞いたところ、10月1日以降（3.9社、対前年同値）は変化がなかったが、9月30日以前（5.3社、対前年0.5pt増）は前年より増加した。参加企業の業種は平均3.1業種（対前年0.1pt減）で、2業種以上のインターンシップ・仕事体験に参加した学生は69.4%（対前年6.3pt減）だった。

※以下、インターンシップ・仕事体験に参加したことがある学生のみ回答 19年卒は、3月末に2月末までの状況を聞いたもの

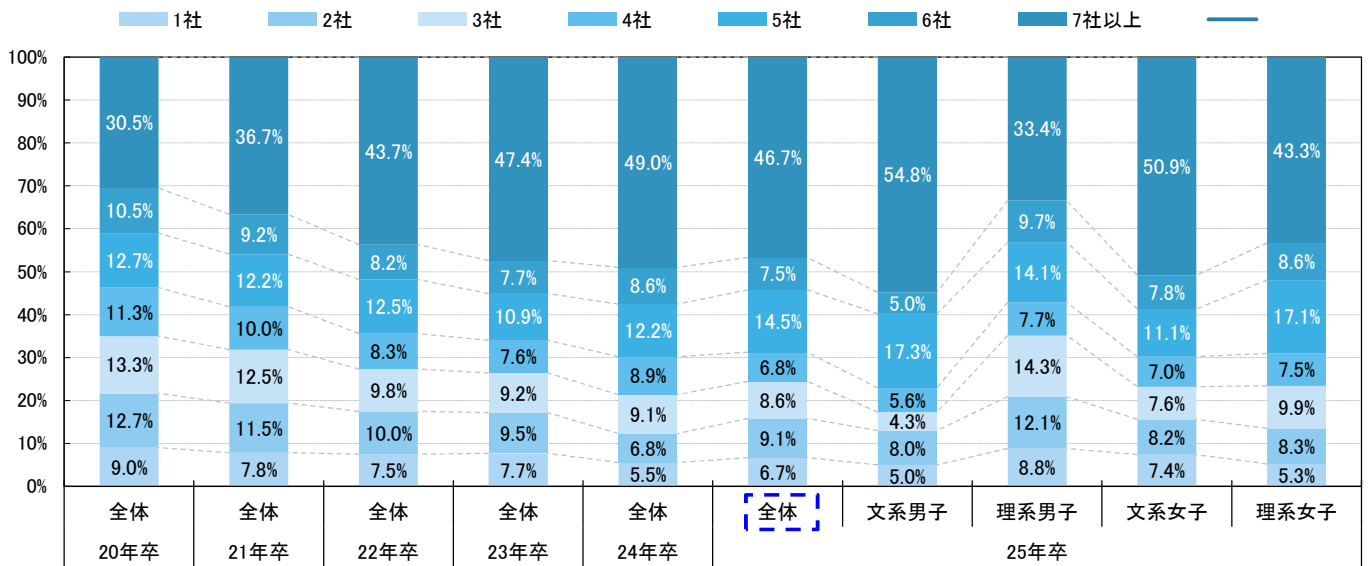
インターンシップ・仕事体験参加社数平均・うち採用選考を受けたい社数平均

n=1,925

- 20年卒
- 21年卒
- 22年卒
- 23年卒
- 24年卒
- 25年卒
- うち採用選考を受けたい社数・20年卒
- うち採用選考を受けたい社数・21年卒
- うち採用選考を受けたい社数・22年卒
- うち採用選考を受けたい社数・23年卒
- うち採用選考を受けたい社数・24年卒
- うち採用選考を受けたい社数・25年卒



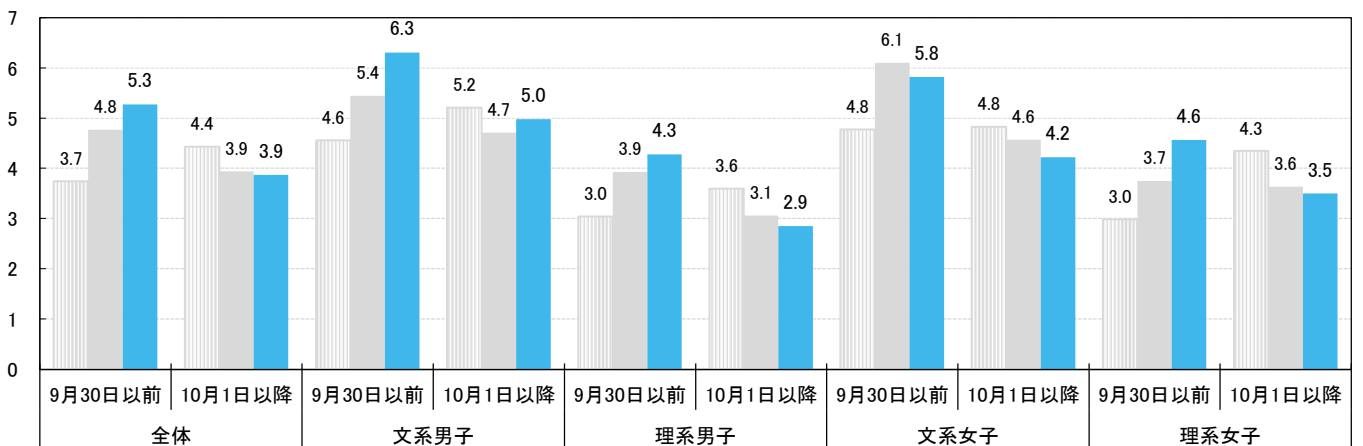
インターンシップ・仕事体験参加社数 (分布) n=2,223



時期別インターンシップ・仕事体験参加社数 n=2,223

- 23年卒
- 24年卒
- 25年卒

【単位:社】



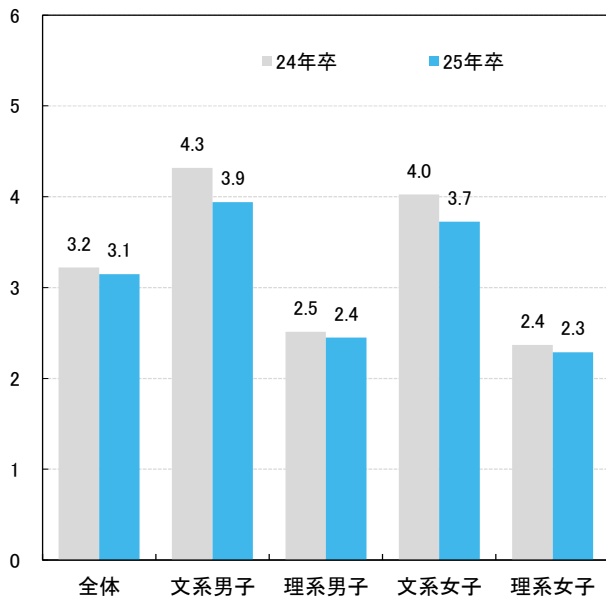
インターンシップ・仕事体験に参加したことのある学生のみ回答 n=2, 223
 インターンシップ・仕事体験に参加したことのある企業のメイン業種すべて【複数回答】

※上位5位までに色塗り

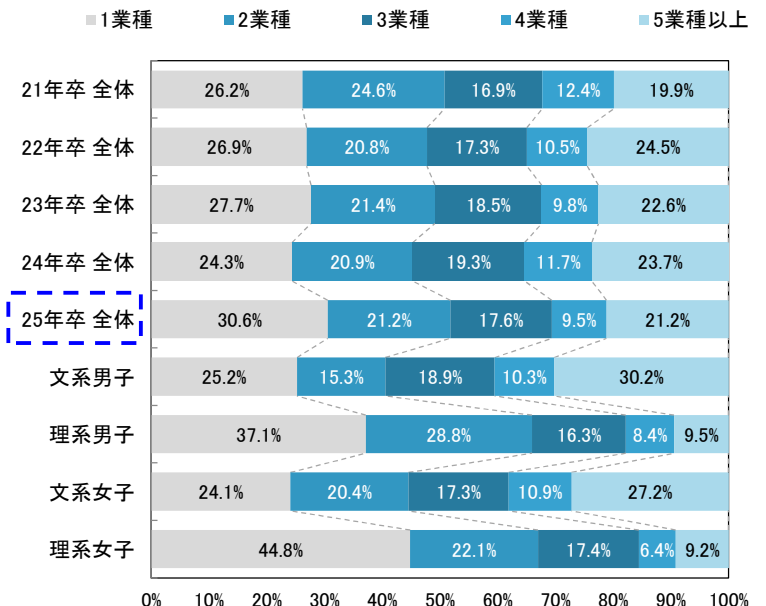
	25年卒						24年卒		
	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	文系	理系	文系	理系
回答人数	2,223	301	455	934	533	1,235	988	998	1,152
建設・設備工事	10.5%	11.0%	14.9%	6.9%	10.1%	8.9%	13.2%	9.5%	11.0%
住宅・インテリア	12.2%	15.6%	3.3%	17.9%	8.1%	16.8%	5.0%	17.8%	7.0%
食品・農林・水産	16.5%	14.6%	10.1%	18.7%	26.6%	16.7%	16.1%	20.5%	18.3%
アパレル・服飾関連	4.4%	4.0%	0.7%	9.2%	0.9%	6.7%	0.8%	8.6%	1.3%
繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック	9.8%	5.3%	16.9%	4.8%	18.0%	5.1%	17.3%	9.0%	17.0%
薬品・化粧品	9.2%	2.0%	10.8%	7.1%	26.3%	4.6%	16.4%	7.0%	16.9%
鉄鋼・金属・鉱業	5.5%	7.6%	6.2%	3.9%	3.2%	5.7%	5.1%	5.8%	6.3%
機械・プラント	9.7%	8.3%	19.8%	3.9%	7.9%	6.0%	15.5%	6.6%	15.0%
電子・電気機器	12.0%	11.3%	22.4%	5.5%	9.8%	8.3%	17.8%	8.3%	16.3%
自動車・輸送用機器	10.7%	11.3%	17.4%	7.3%	5.4%	9.2%	13.0%	10.6%	13.3%
精密・医療機器	5.5%	4.0%	9.0%	3.1%	7.7%	3.5%	8.5%	4.6%	8.7%
印刷・事務機器・日用品	7.5%	8.3%	3.5%	10.7%	5.4%	9.5%	4.2%	10.3%	5.3%
スポーツ・玩具・ゲーム製品	4.6%	7.0%	3.5%	4.8%	1.3%	5.9%	2.7%	8.4%	1.9%
その他メーカー	4.9%	7.0%	3.3%	5.2%	2.6%	6.1%	3.1%	5.7%	2.4%
総合商社	5.2%	7.0%	1.5%	8.2%	0.8%	7.6%	1.3%	7.0%	1.7%
専門商社	10.7%	17.9%	2.4%	13.0%	4.7%	15.4%	3.2%	16.7%	3.5%
百貨店・スーパー・コンビニ	8.2%	12.6%	1.1%	12.3%	1.9%	12.5%	1.4%	13.0%	2.0%
専門店	2.4%	3.0%	0.0%	4.3%	0.9%	3.7%	0.3%	4.7%	0.2%
銀行・証券・信用金庫	16.0%	25.9%	4.6%	21.6%	2.6%	23.7%	3.9%	25.6%	4.2%
クレジット・信販・リース・その他金融	7.6%	13.3%	2.2%	9.5%	0.9%	11.4%	1.7%	12.6%	2.6%
生保・損保	7.8%	13.0%	1.3%	11.2%	0.6%	12.1%	1.0%	14.2%	2.9%
放送・新聞・出版	6.0%	5.3%	1.8%	11.8%	1.9%	8.6%	1.8%	11.1%	1.8%
広告・芸能	7.1%	6.3%	1.8%	14.3%	2.3%	10.4%	1.9%	11.8%	1.8%
ソフトウェア・情報処理・ネット関連	25.3%	30.2%	26.6%	22.7%	18.4%	26.4%	23.6%	26.0%	23.0%
ゲームソフト	2.2%	2.7%	2.9%	1.9%	0.8%	2.3%	2.1%	2.7%	2.2%
通信	8.0%	9.0%	9.2%	7.3%	5.6%	8.1%	7.9%	7.5%	7.6%
鉄道・航空	8.5%	11.6%	8.1%	8.4%	2.6%	10.0%	6.1%	10.2%	6.9%
陸運・海運・物流	7.6%	13.3%	2.6%	8.6%	1.9%	10.9%	2.4%	10.1%	2.0%
電力・ガス・エネルギー	7.8%	8.0%	9.7%	7.5%	4.5%	7.7%	7.8%	7.9%	6.4%
不動産	8.8%	15.6%	2.6%	10.0%	2.4%	12.7%	2.6%	13.4%	2.8%
給食・フードサービス	3.2%	5.3%	0.7%	3.5%	2.3%	4.4%	1.2%	3.1%	1.6%
ホテル・旅行	8.4%	13.0%	0.9%	13.2%	1.5%	13.1%	1.1%	11.4%	1.1%
医療・調剤薬局	4.8%	2.0%	4.0%	3.3%	15.6%	2.7%	8.2%	4.0%	8.5%
介護・福祉サービス	3.1%	2.7%	0.2%	7.3%	0.0%	5.0%	0.1%	6.1%	0.9%
アミューズメント・レジャー	4.3%	6.0%	1.3%	6.5%	1.3%	6.3%	1.3%	7.7%	1.8%
コンサルティング・調査	9.3%	12.0%	7.9%	8.8%	6.9%	10.3%	7.6%	10.1%	6.8%
人材サービス(派遣・紹介)	10.3%	12.6%	3.1%	16.6%	4.1%	14.7%	3.5%	14.1%	3.1%
教育	7.3%	10.3%	2.2%	10.6%	2.3%	10.5%	2.2%	10.1%	1.6%
エステ・理美容・フィットネス	0.8%	0.3%	0.0%	2.1%	0.6%	1.3%	0.2%	1.7%	0.4%
冠婚葬祭	1.8%	1.0%	0.0%	4.5%	0.6%	2.8%	0.2%	2.8%	0.5%
その他サービス	3.8%	5.3%	1.1%	4.9%	2.8%	5.1%	1.7%	4.2%	1.8%
官公庁・公社・団体	8.0%	11.6%	3.3%	9.6%	4.9%	10.6%	3.9%	14.2%	5.3%

インターンシップ・仕事体験参加業種数・平均

【単位:業種】

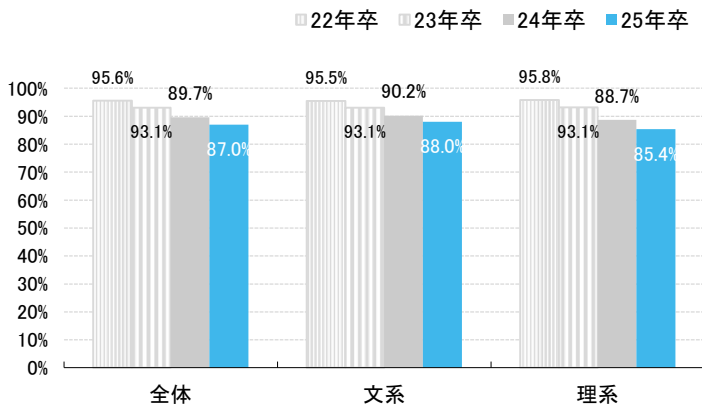


インターンシップ・仕事体験参加業種数・分布

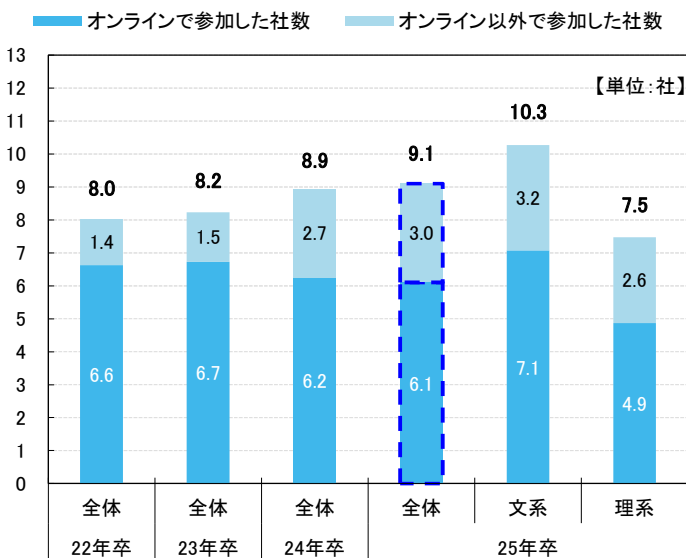


インターンシップ・仕事体験に参加したことがある学生のうちオンラインで（WEB上で）参加したことがある割合は87.0%（対前年2.7pt減）で、参加社数平均9.1社のうちオンラインは平均6.1社（対前年0.1pt減）だった。オンライン以外での参加は平均3.0社（対前年0.3pt増）で前年より増えた。オンラインでインターンシップ・仕事体験に参加して思ったことでは「交通費や移動時間の節約になるのは助かる（56.6%、対前年6.2pt減）」「グループワークがやりづらい（42.4%、対前年1.4pt減）」「発言するタイミングが難しい（41.8%、対前年4.4pt減）」などの回答が前年同様に多かったが、いずれも回答割合は減少している。

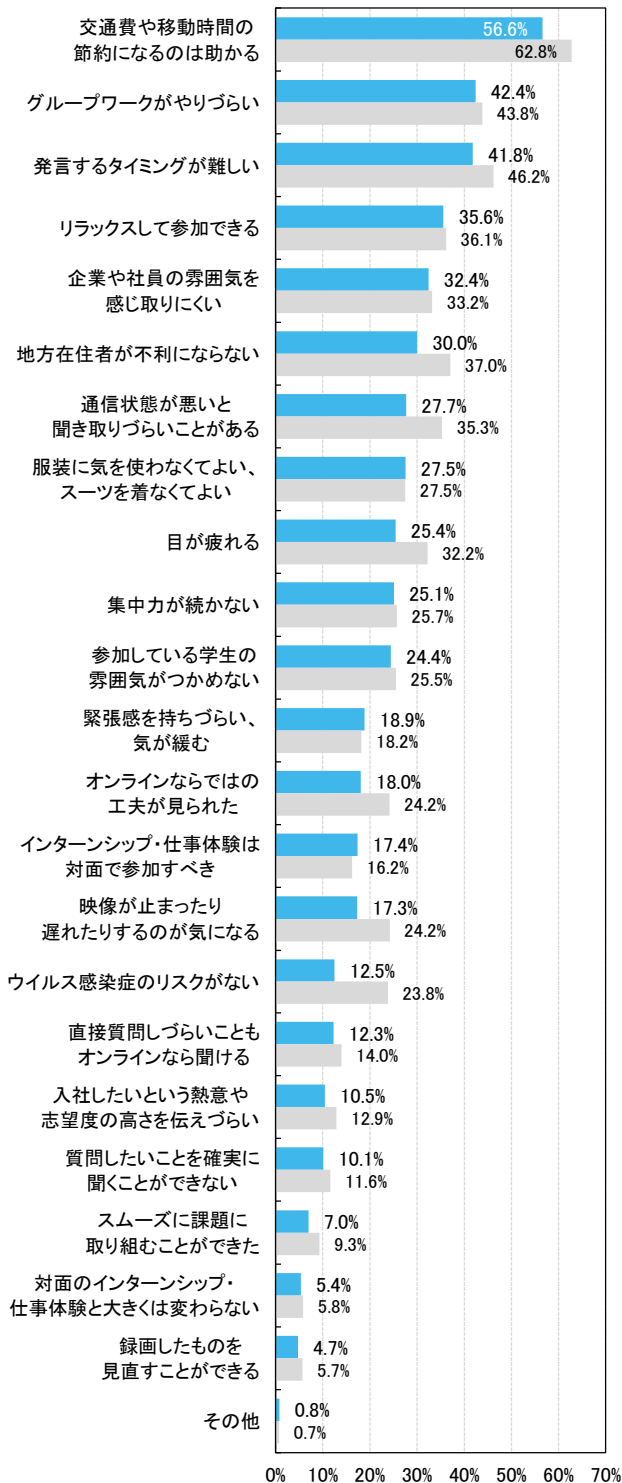
インターンシップ・仕事体験に参加したことがある学生：
オンラインで（WEB上で）参加したことがある割合



オンラインで参加した社数・平均 * オンライン参加が0社の人を含む
グラフ上太数字はインターンシップ・仕事体験参加社数平均 n=1,925



オンラインでインターンシップ・仕事体験に参加したことがある学生：
オンラインでインターンシップ・仕事体験に参加して思ったこと【複数回答】

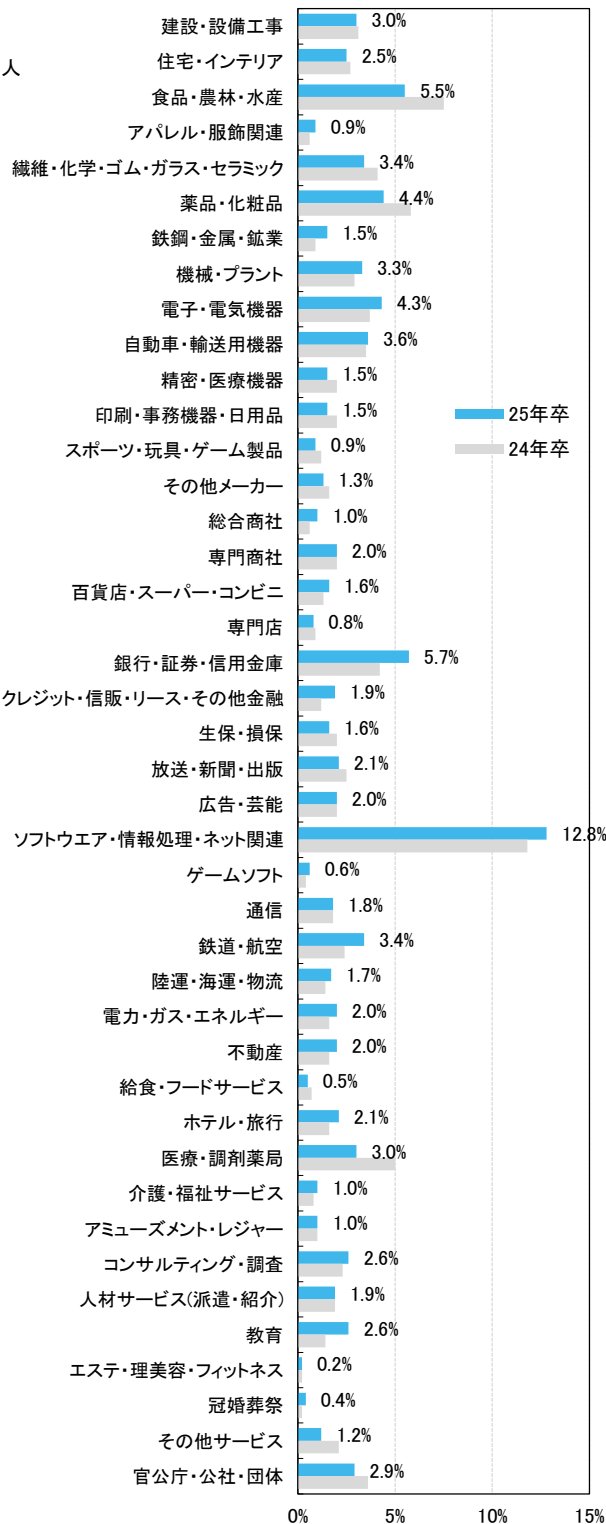
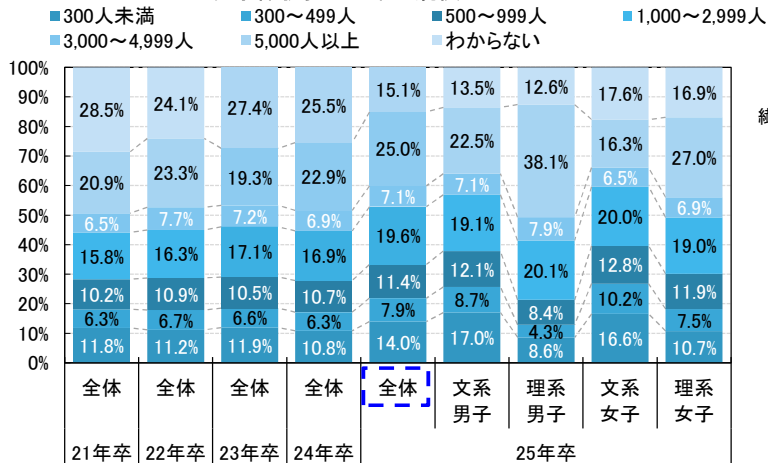


参加したインターンシップ・仕事体験について1人最大3社まで回答してもらい「社数」をベースに再集計したところ、対面が44.2%（対前年13.7pt増）と増加した。また2日以上インターンシップ・仕事体験が過半数を超え、平均参加日数は2.8日（対前年0.2pt増）となった。参加した企業の採用選考を「すでに受けた」のは24.2%で、インターンシップに参加した学生の約4人に1人が参加先の採用選考にすでに進んでいるという結果となった。

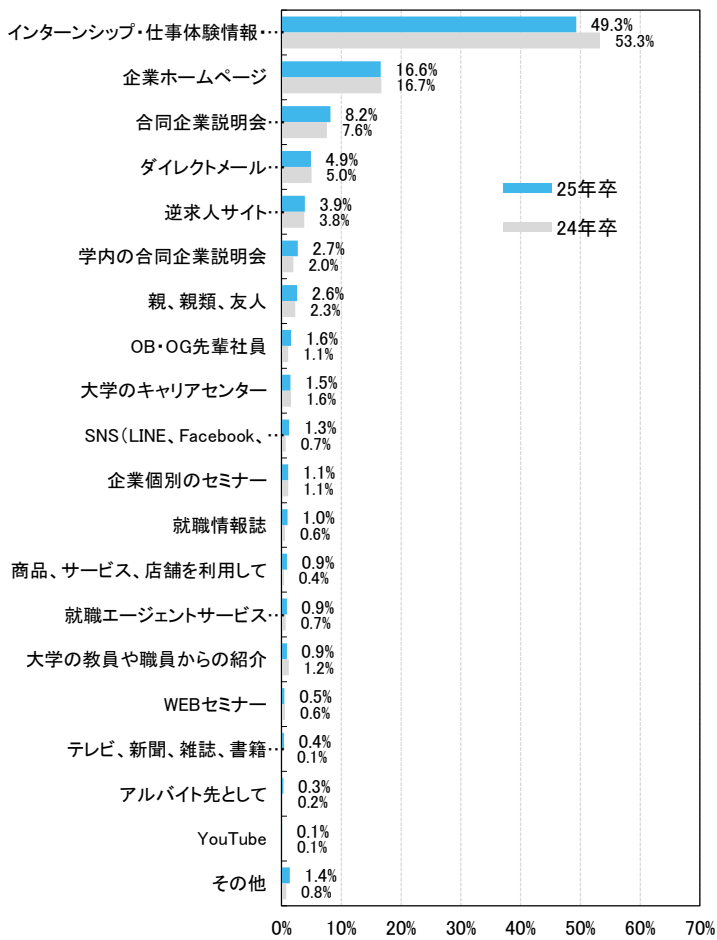
★がついている項目は、モニター学生が参加したインターンシップ・仕事体験について1人当たり最大3社回答した結果を【社数】(6,165社)を分母として再集計した。

★インターンシップ・仕事体験参加企業の業種

★インターンシップ・仕事体験参加企業の規模

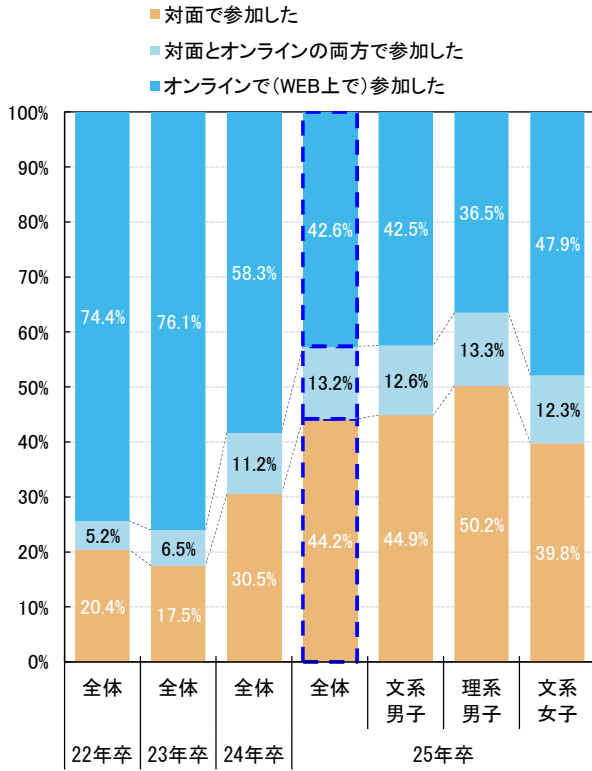


★インターンシップ・仕事体験の主な発見ツール

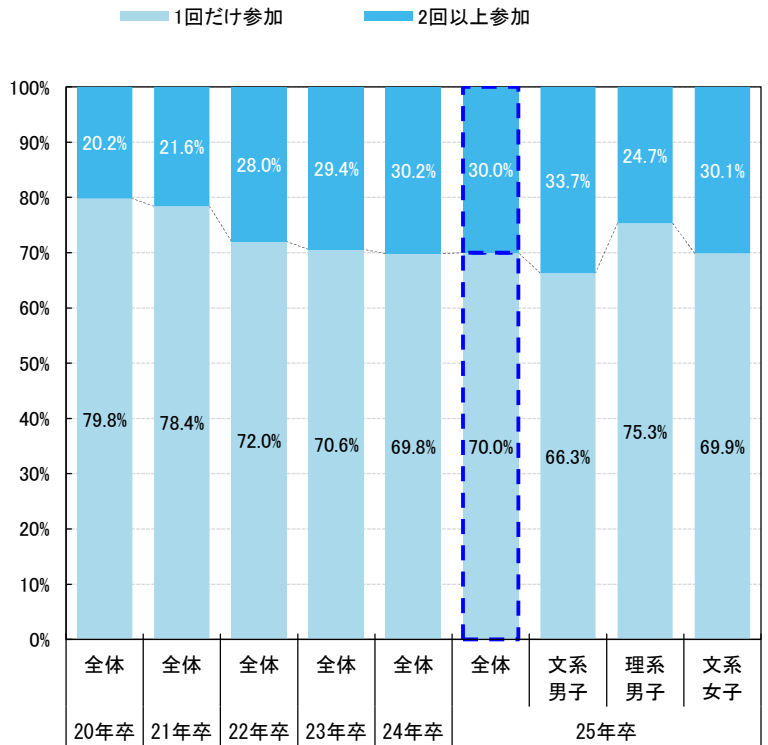


※このページのグラフはすべてインターンシップ・仕事体験参加企業6,165社の分布

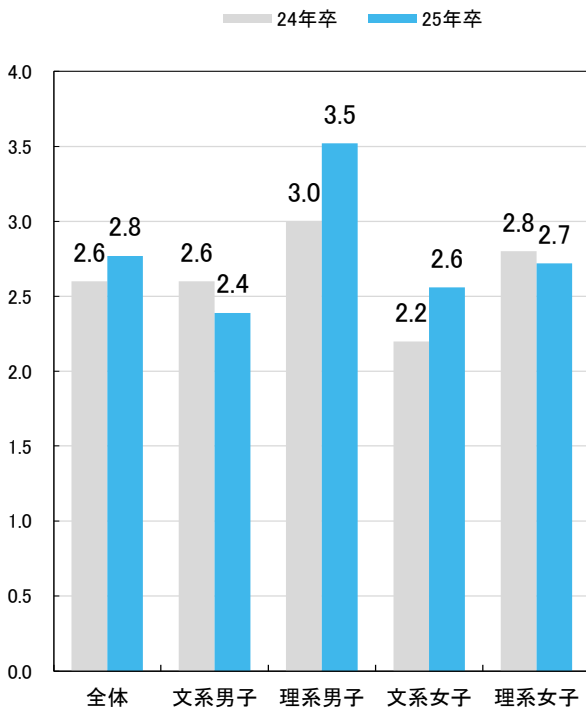
★対面で参加か、オンライン(WEB)で参加か



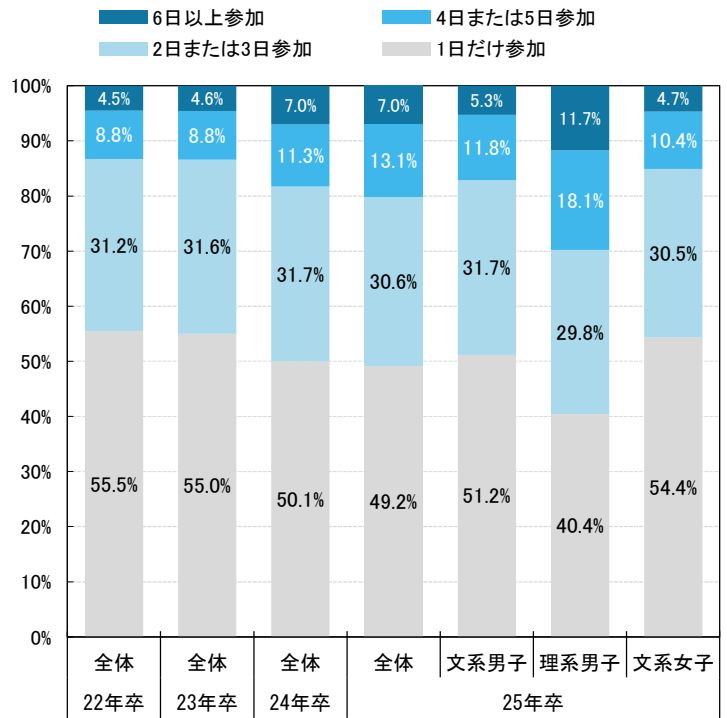
★その企業のインターンシップ・仕事体験に2回以上参加したか



★全部で何日間参加したか(平均) 【単位:日】

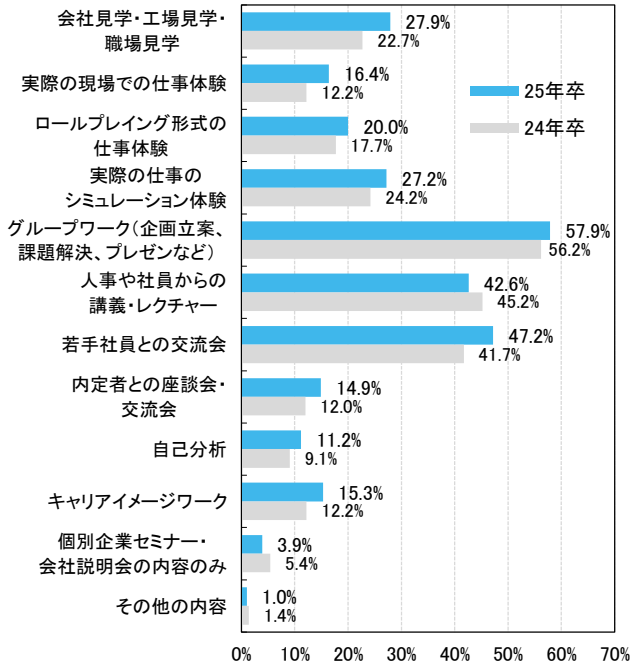


★全部で何日間参加したか・参加日数ごとの分布

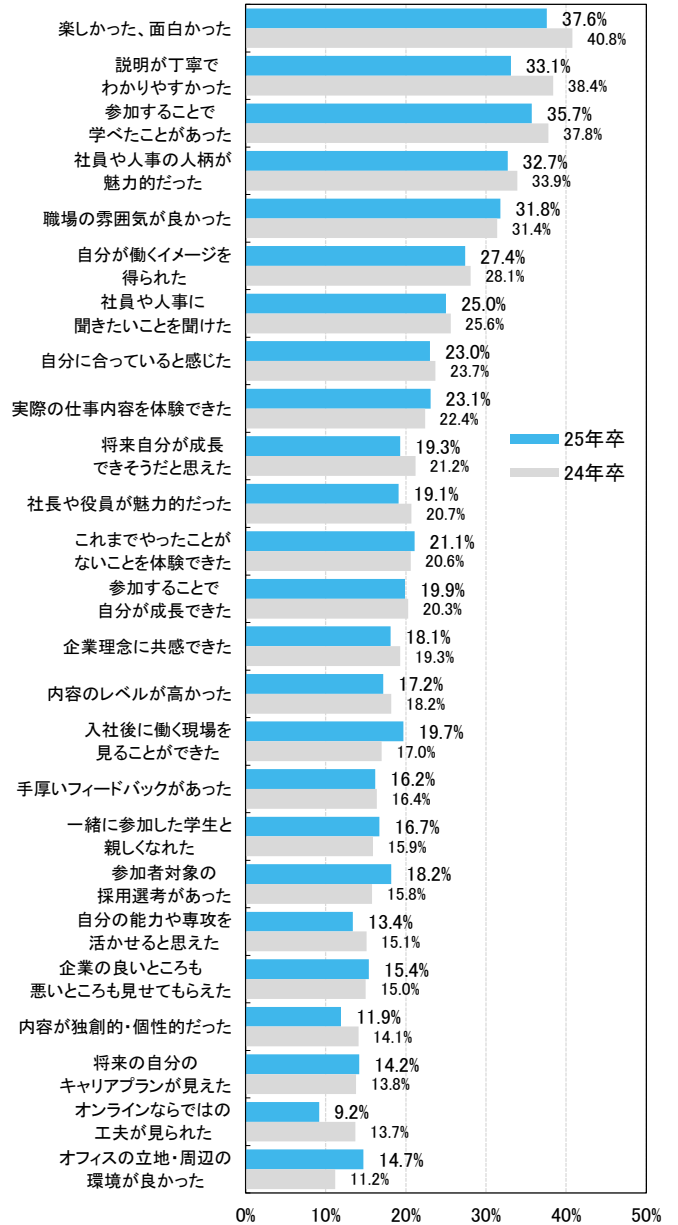


※このページのグラフはすべてインターンシップ・仕事体験参加企業6,165社の分布

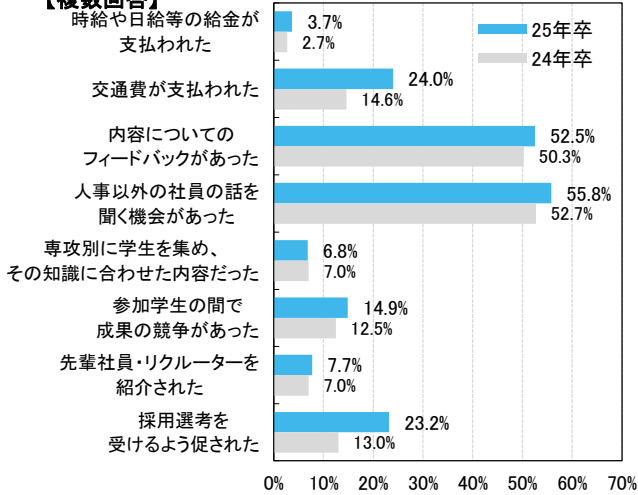
★プログラムの内容【複数回答】



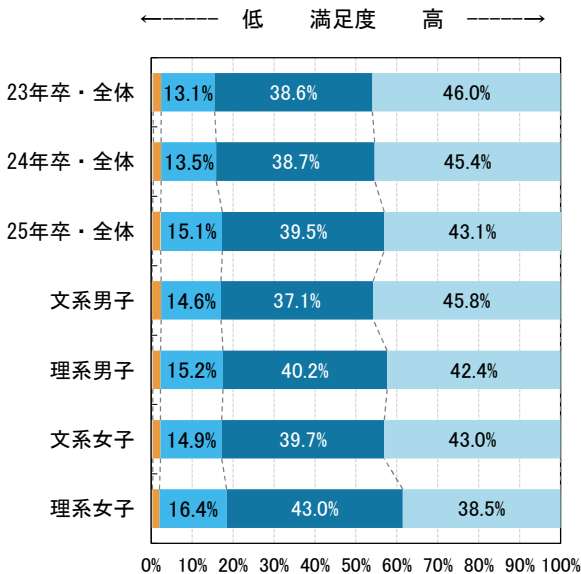
★参加して感じたこと【複数回答】



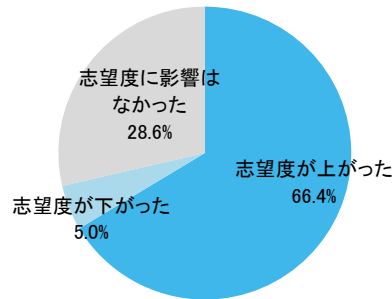
★参加したインターンシップ・仕事体験にあてはまるもの【複数回答】



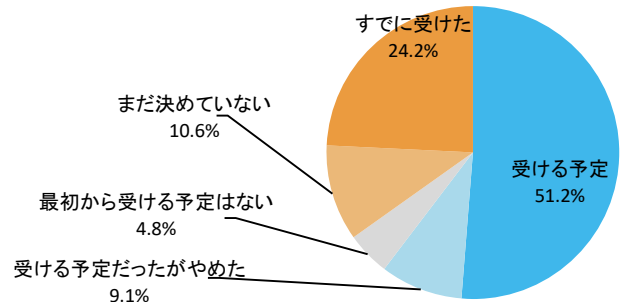
★インターンシップ・仕事体験の満足度・5段階評価



★参加することで志望度に影響はあったか



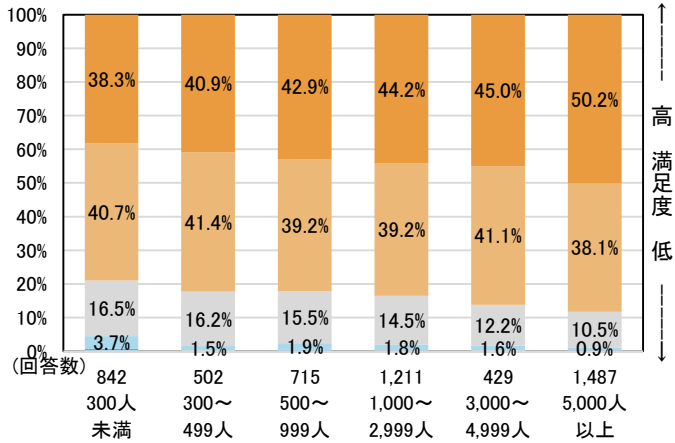
★参加した企業の採用選考を受ける予定か



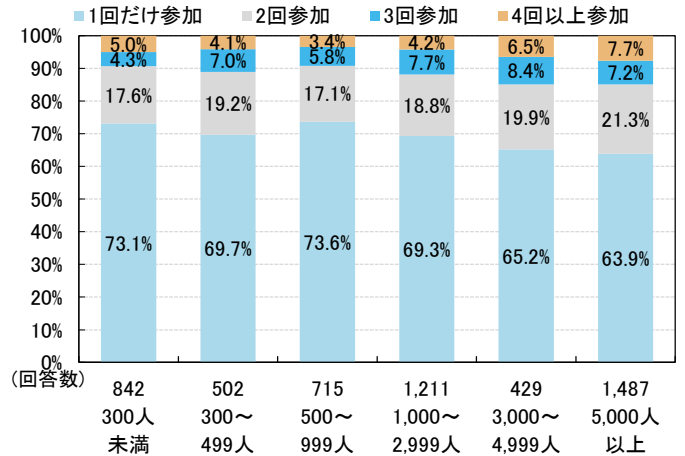
学生が回答したインターンシップ・仕事体験の様々な属性について、「志望度の変化（上がったか下がったか）」と「採用選考を受ける予定か」で比較した。その企業のインターンシップ・仕事体験に1日だけ参加した場合、志望度が上がったのは59.3%だが、2日以上参加した場合は7割以上が志望度が上がったと回答した。「参加して感じたこと」では「自分に合っていると感じた（92.1%）」「将来の自分のキャリアプランが見えた（88.8%）」「将来自分が成長できそうだと感じた（88.8%）」と感じている学生の志望度が上がっている割合が高かった。

※このページのグラフはすべてインターンシップ・仕事体験参加企業のうち、従業員規模の回答があった5,186社の分布

★従業員規模 × 満足度

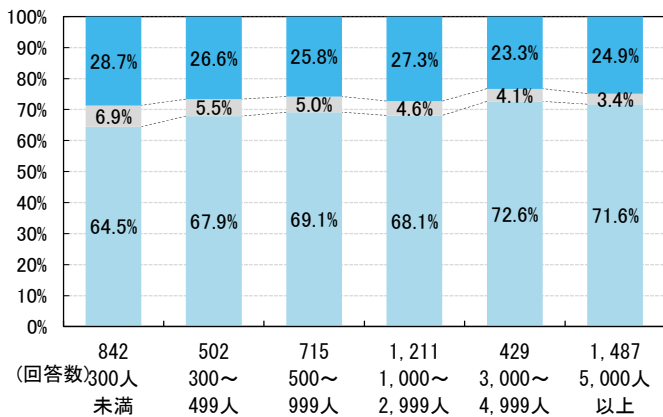


★従業員規模 × 参加回数



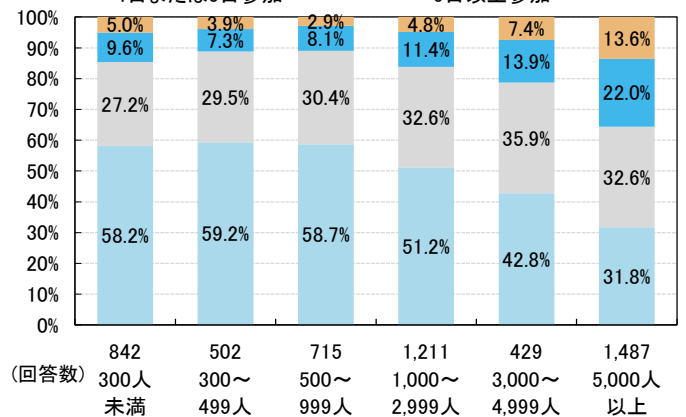
★従業員規模 × 志望度の変化

志望度が上がった 志望度が下がった 志望度に影響はなかった



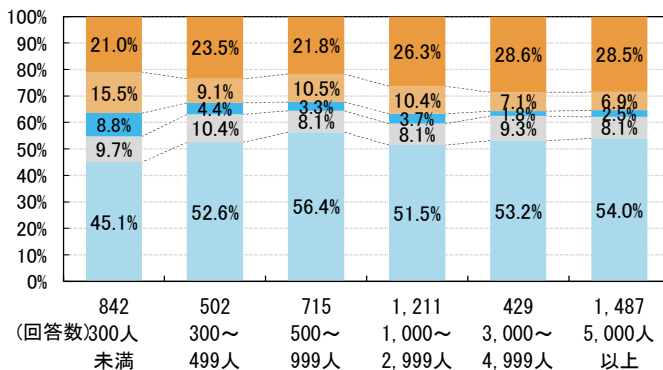
★従業員規模 × 合計参加日数

1日だけ参加 2日または3日参加 4日または5日参加 6日以上参加



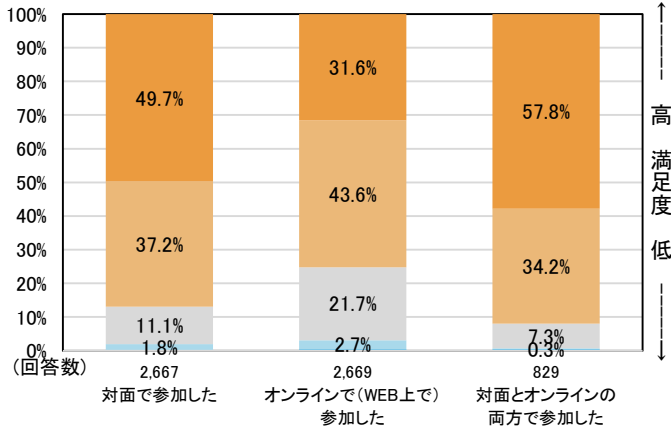
★従業員規模 × 採用選考を受ける予定か

受ける予定 受ける予定だったがやめた 最初から受ける予定はない まだ決めていない すでに受けた

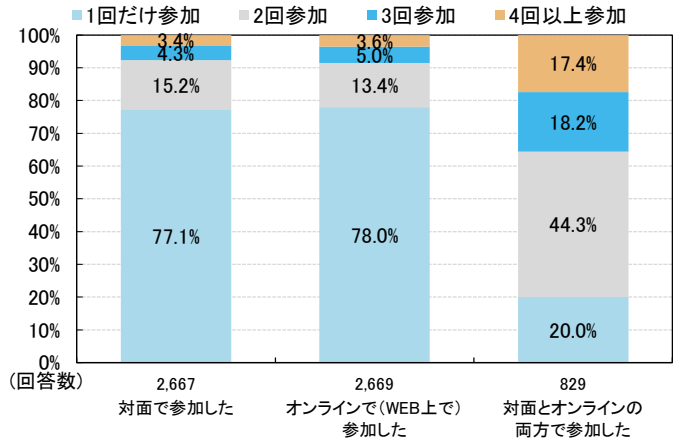


※このページのグラフはすべてインターンシップ・仕事体験参加企業6,165社の分布

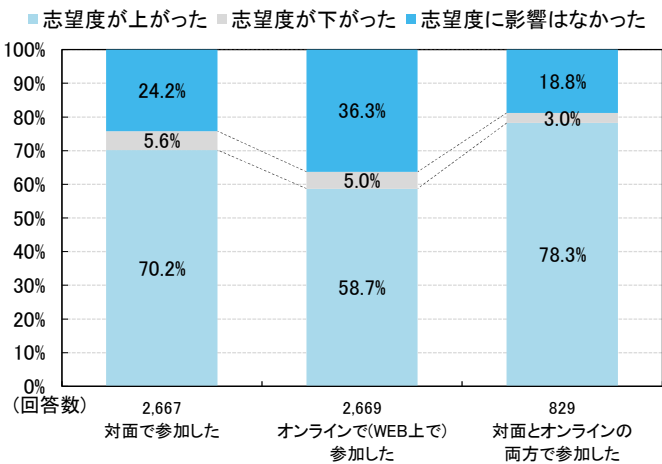
★対面・オンライン × 満足度



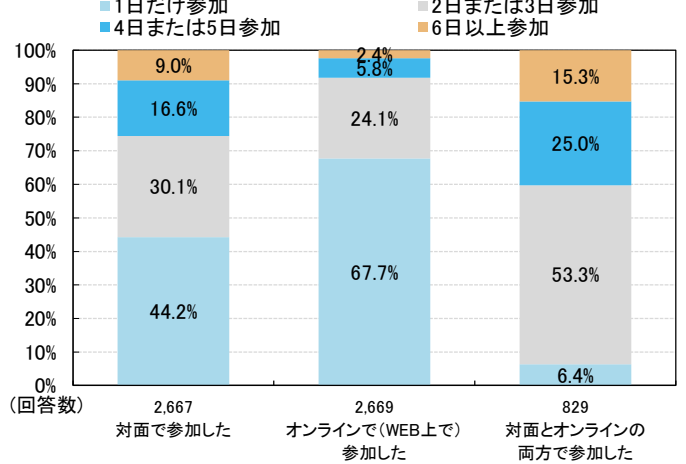
★対面・オンライン × 参加回数



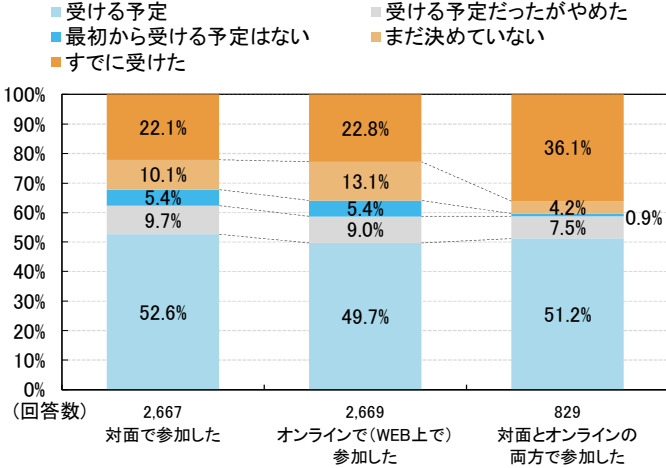
★対面・オンライン 志望度の変化



★対面・オンライン × 合計参加日数

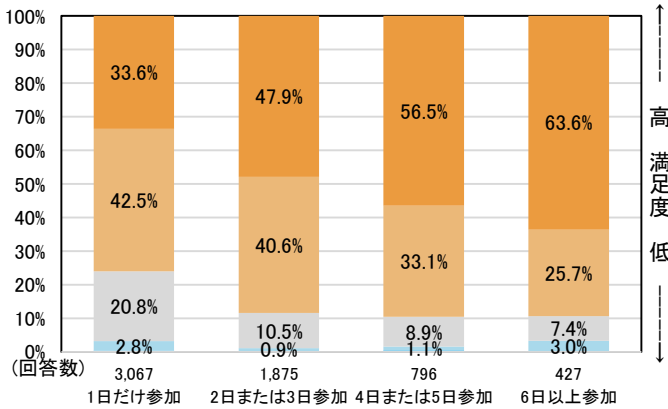


★対面・オンライン × 採用選考を受ける予定か

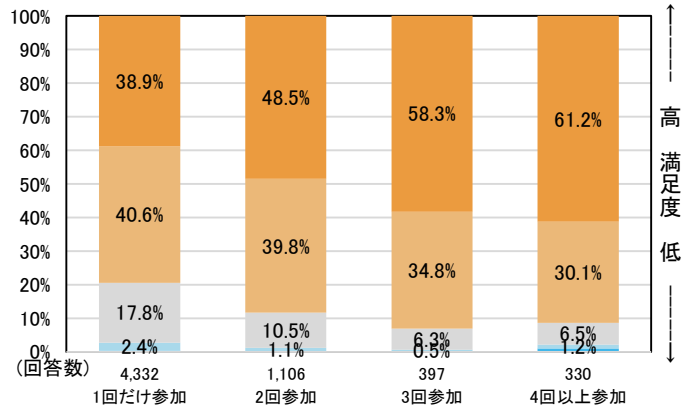


※このページのグラフはすべてインターンシップ・仕事体験参加企業6,165社の分布

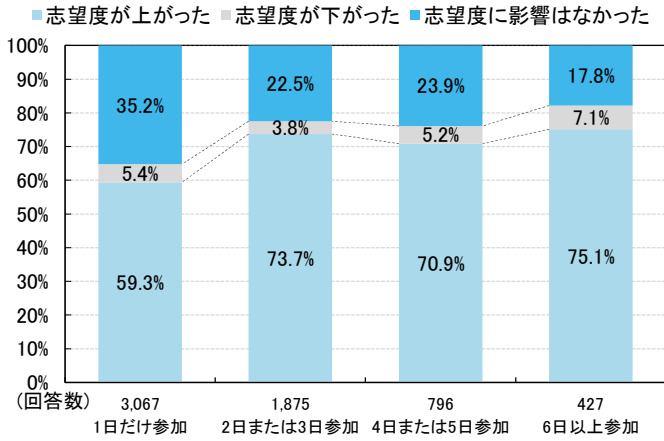
★合計参加日数 × 満足度



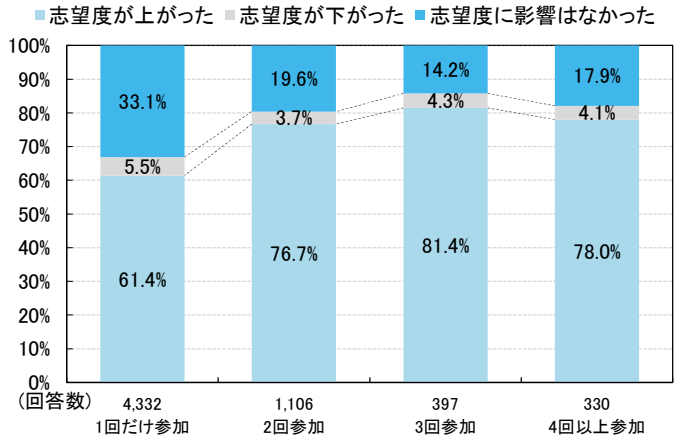
★合計参加回数 × 満足度



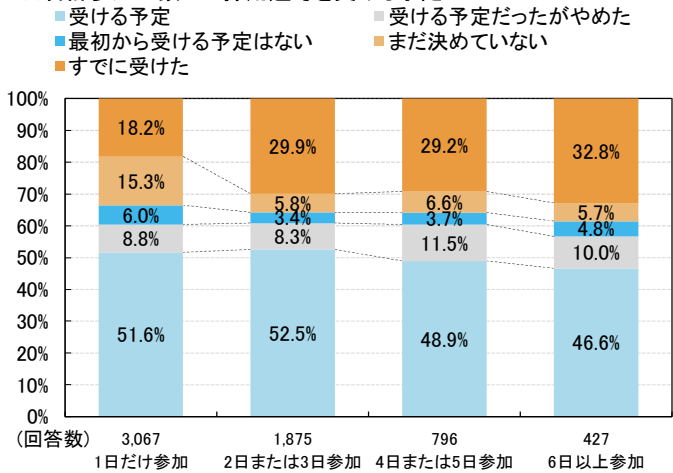
★合計参加日数 志望度の変化



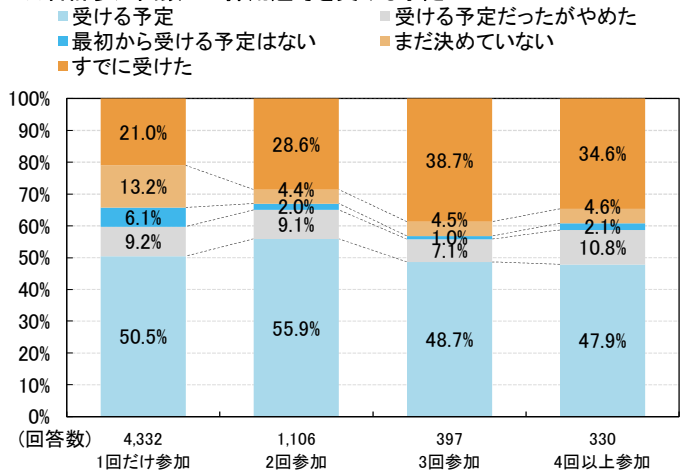
★合計参加回数 志望度の変化



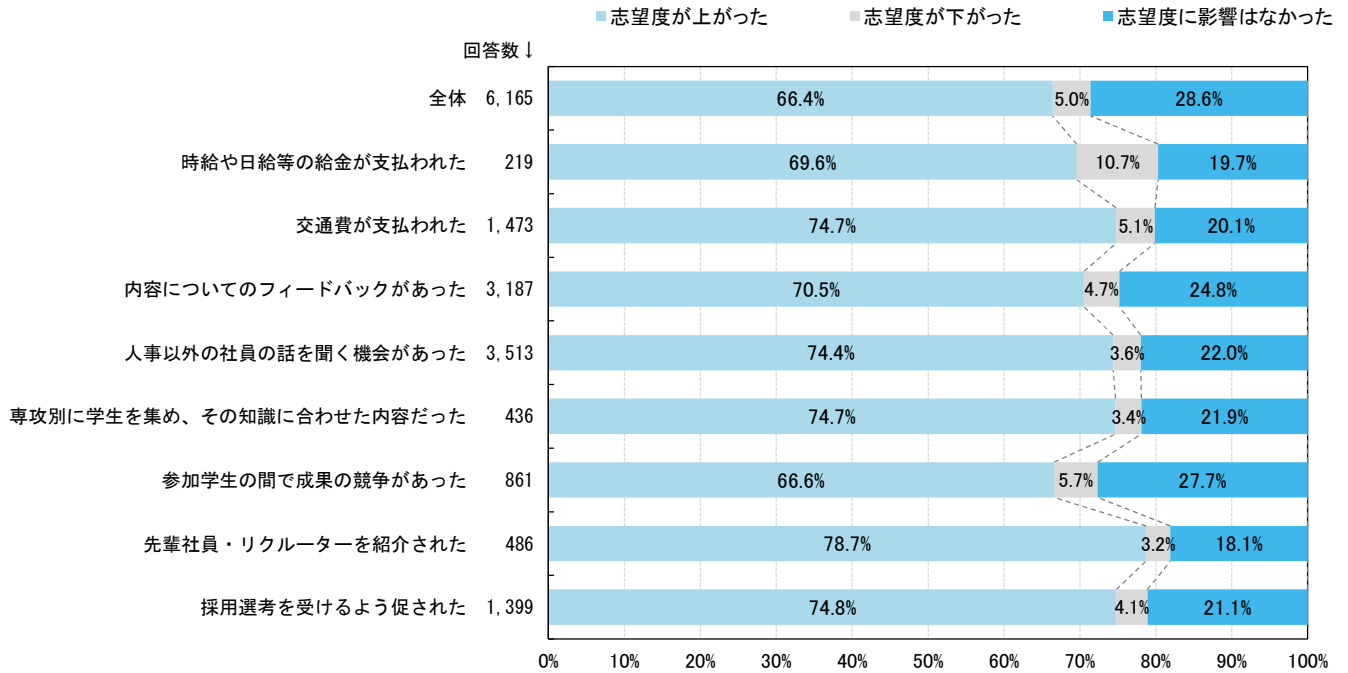
★合計参加日数 × 採用選考を受ける予定か



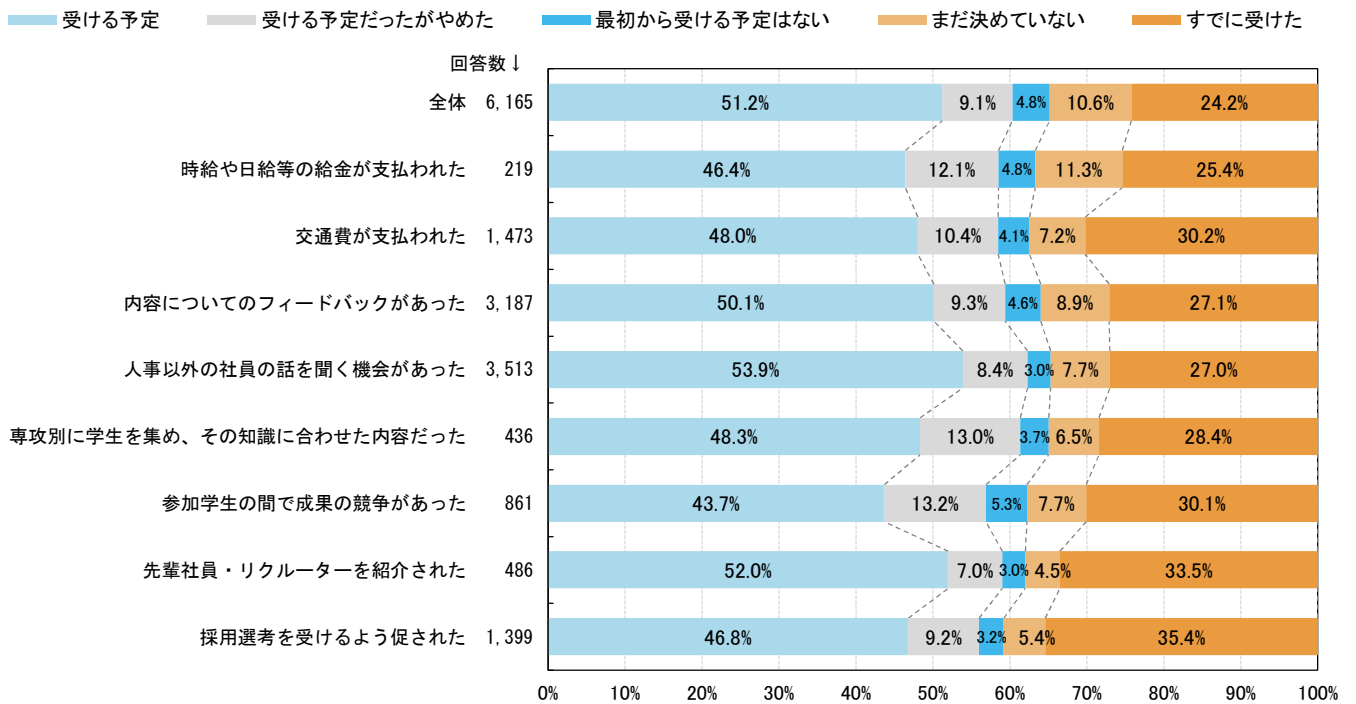
★合計参加回数 × 採用選考を受ける予定か



★参加したインターンシップ・仕事体験にあてはまるもの × 志望度の変化

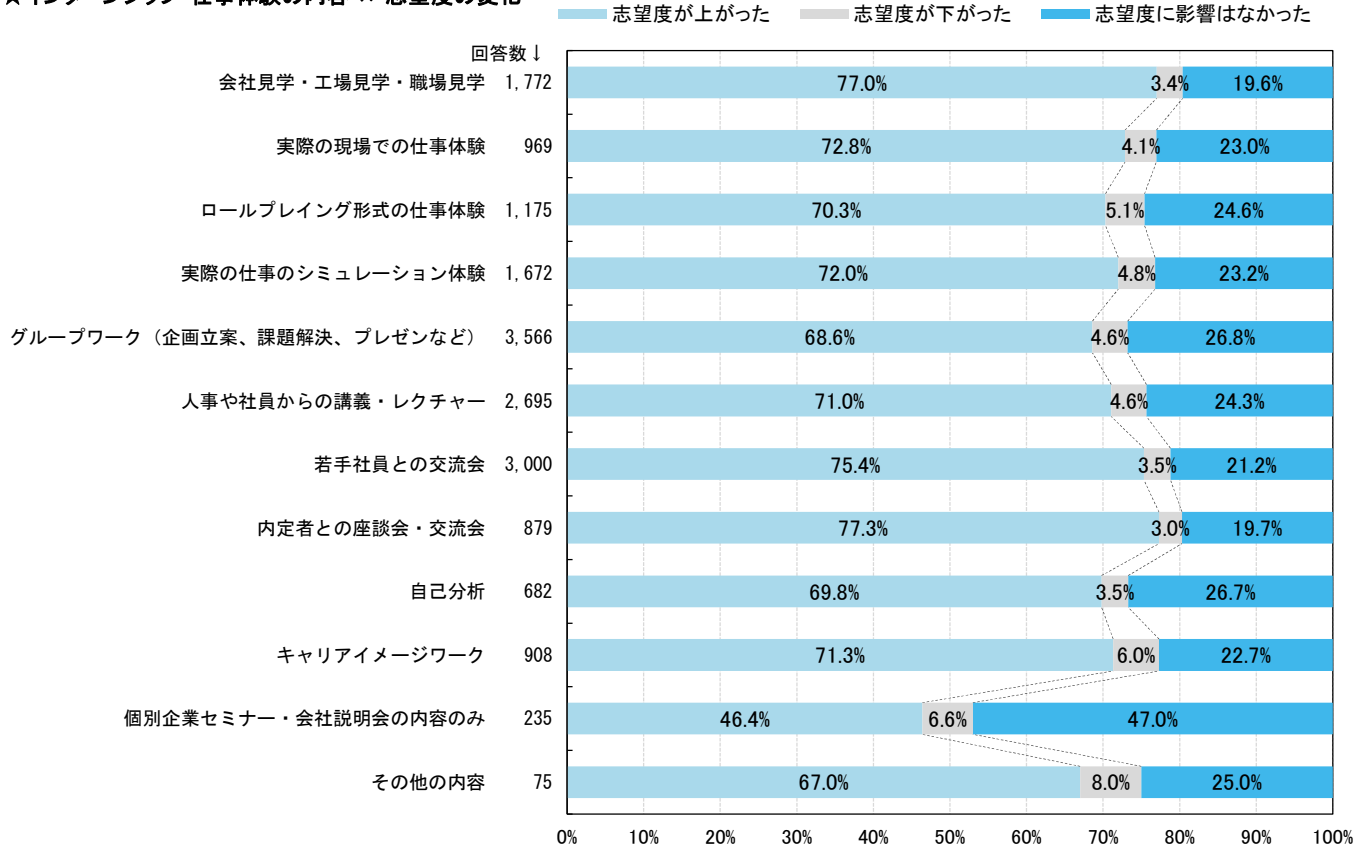


★参加したインターンシップ・仕事体験にあてはまるもの × 採用選考を受ける予定か

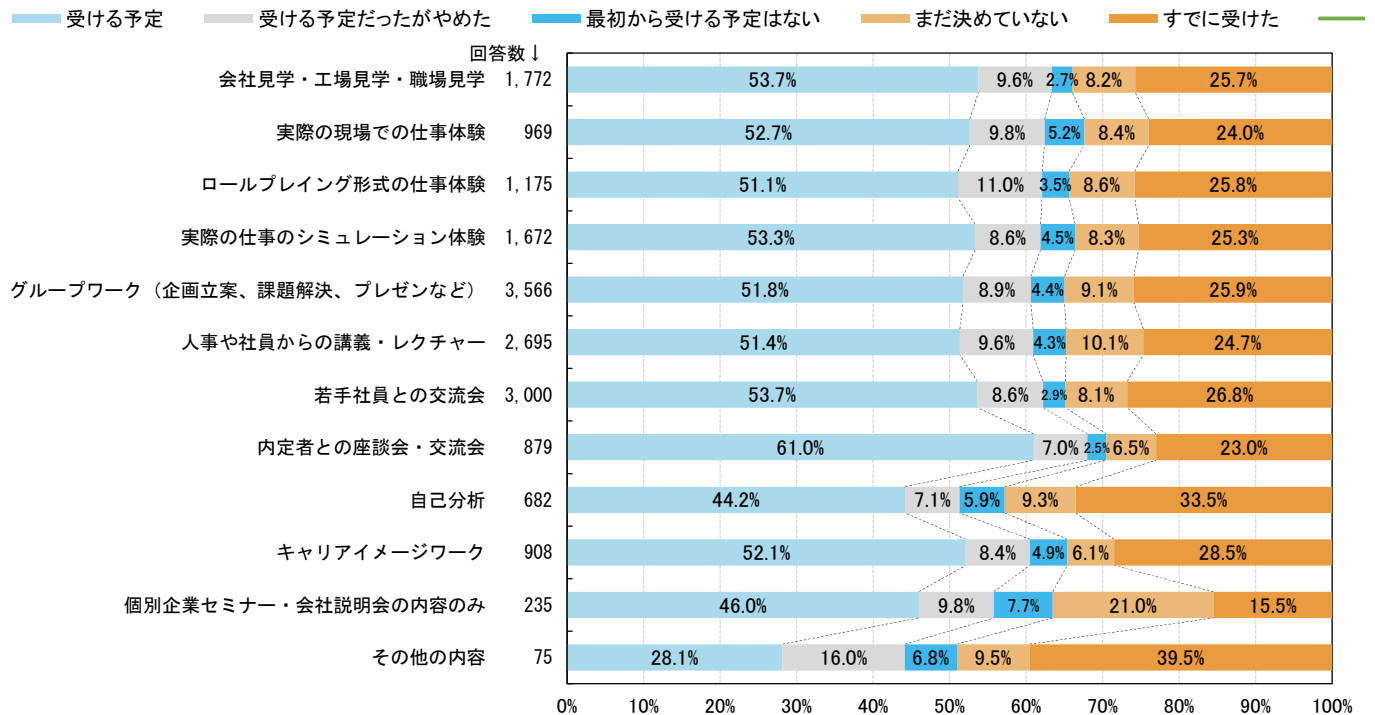


※このページのグラフはすべてインターンシップ・仕事体験参加企業6,165社の分布

★インターンシップ・仕事体験の内容 × 志望度の変化



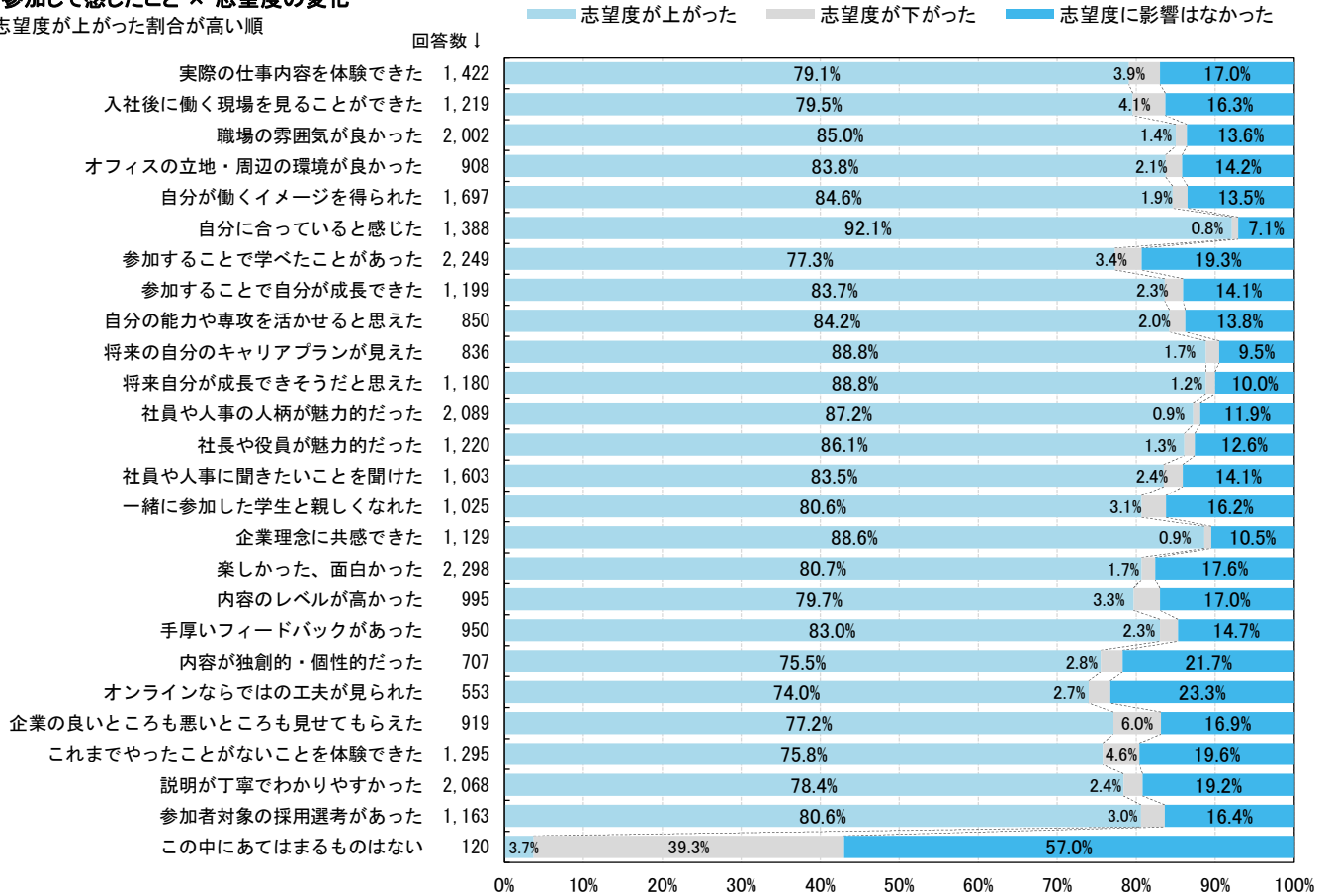
★インターンシップ・仕事体験の内容 × 採用選考を受ける予定か



※このページのグラフはすべてインターンシップ・仕事体験参加企業6,165社の分布

★参加して感じたこと × 志望度の変化

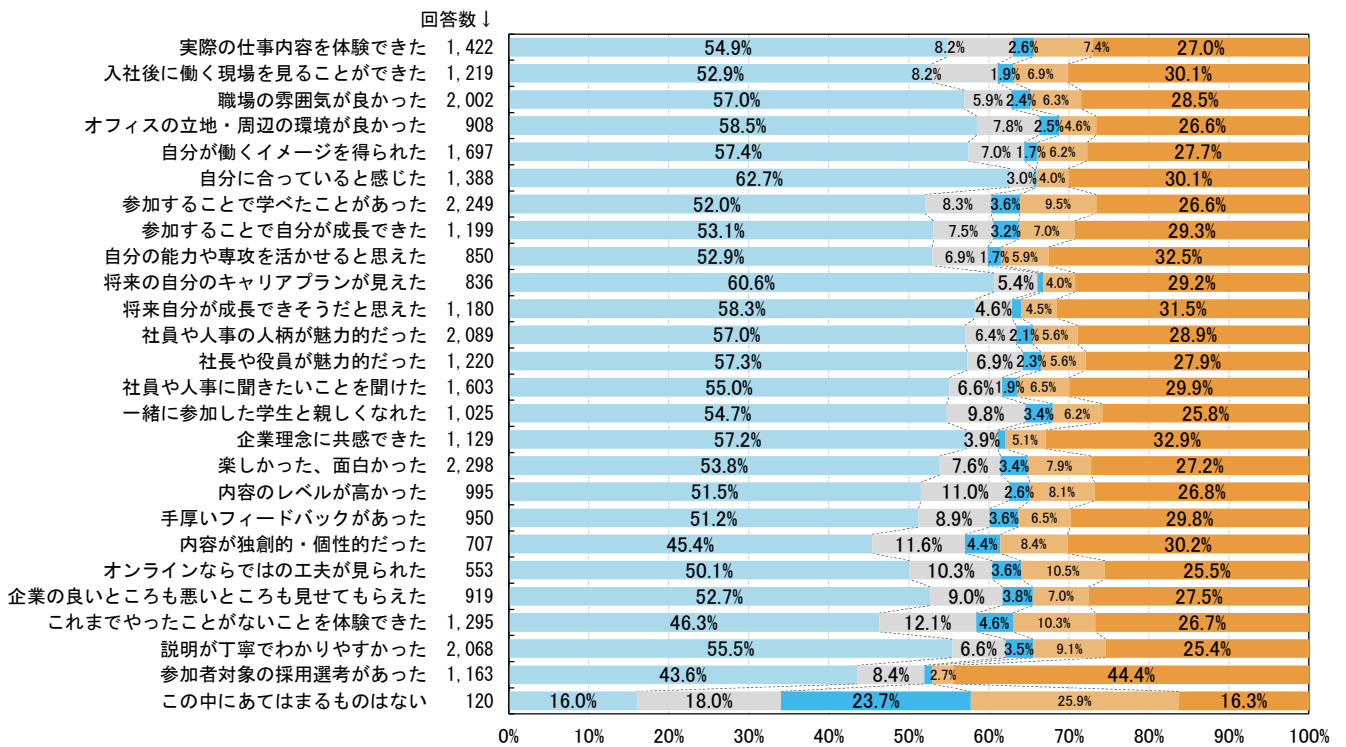
志望度が上がった割合が高い順



★参加して感じたこと × 採用選考を受ける予定か

受ける予定の割合が高い順

■受ける予定 ■受ける予定だったがやめた ■最初から受ける予定はない ■まだ決めていない ■すでに受けた

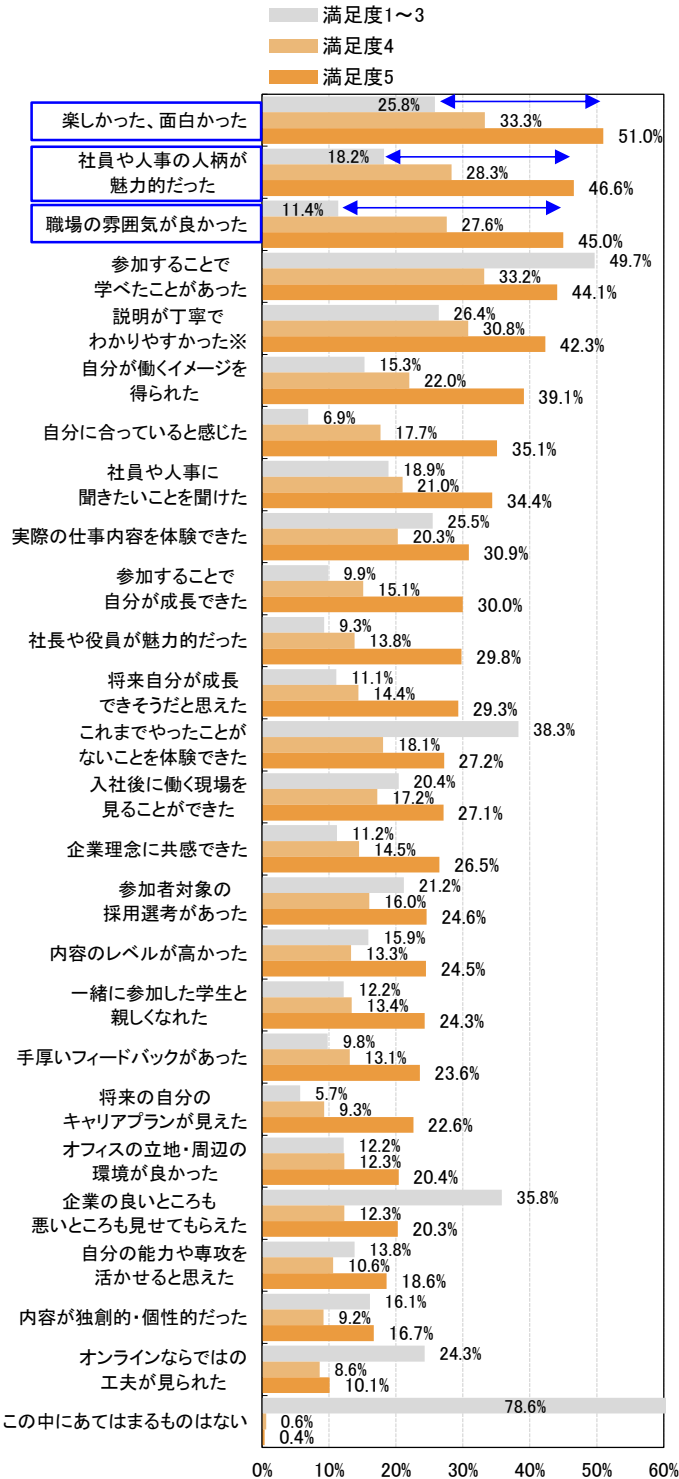


インターンシップ・仕事体験の満足度ごとにどのように感じたかを調べると、満足度が5段階の5（最高）の回答者の割合は、「楽しかった、面白かった」が51.1%、「社員や人事の人柄が魅力的だった」が46.6%、「職場の雰囲気が良かった」が45.0%の順で高く、また満足度が低いグループとの差が大きかった。
 また志望度についても、上がったという回答者の割合が多い順に、「楽しかった、面白かった（44.9%）」「社員や人事の人柄が魅力的だった（42.0%）」「職場の雰囲気が良かった（40.8%）」となり、満足度5と同じ順となった。
 このように感じられるインターンシップ・仕事体験においては、満足度・志望度ともに良い影響がありそうだ。

※このページのグラフはすべてインターンシップ・仕事体験参加企業6,165社の分布

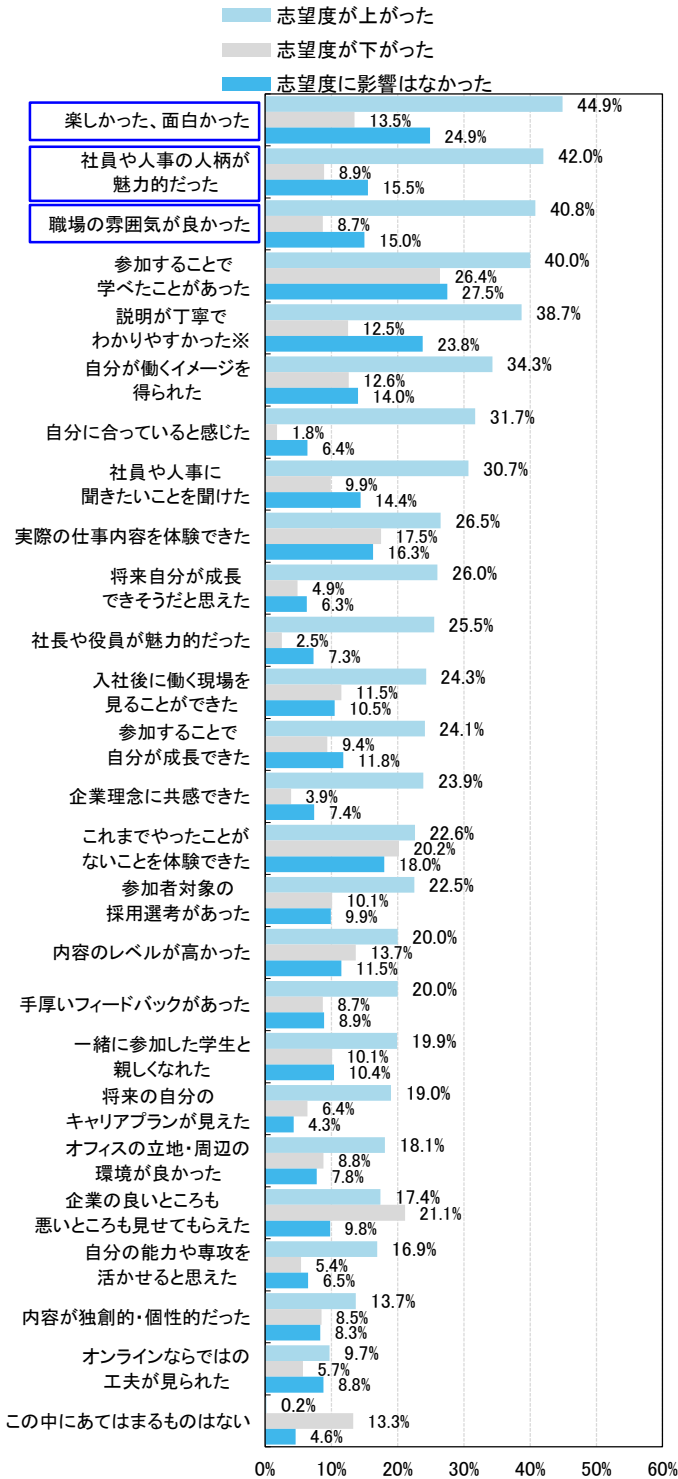
★満足度 × 参加して感じたこと【複数回答】

満足度が5のインターンシップ・仕事体験での割合が高い順



★志望度の変化 × 参加して感じたこと【複数回答】

志望度が上がったインターンシップ・仕事体験での割合が高い順



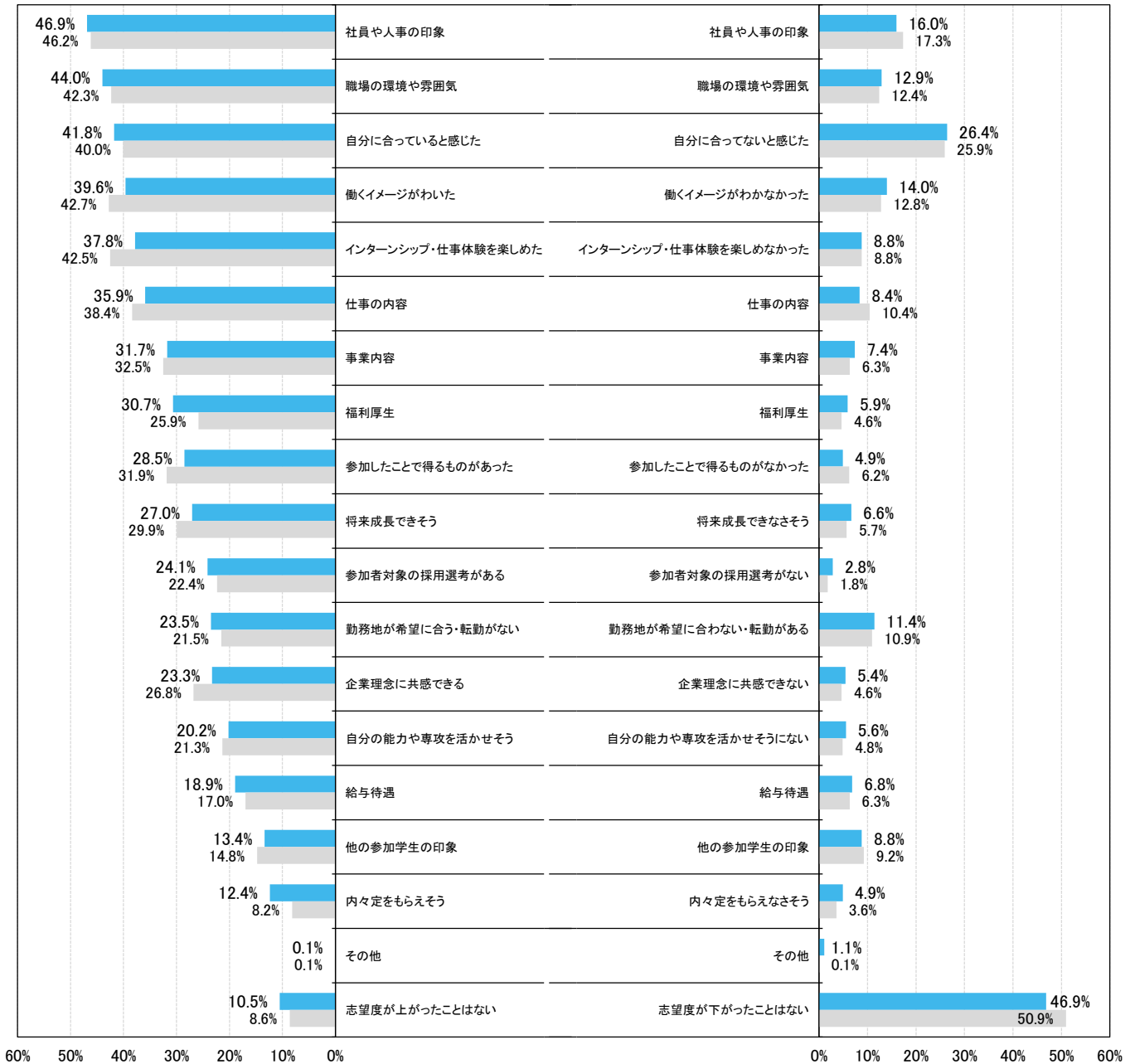
インターンシップ・仕事体験に参加したことで志望度が上がった理由を聞いたところ、回答率が高い順に「社員や人事の印象（46.9%、対前年0.7pt増）」「職場の環境や雰囲気（42.3%、対前年1.7pt増）」「自分に合っていると感じた（40.0%、対前年1.8pt増）」となった。前年2番目に回答の多かった「働くイメージがわいた（39.6%、対前年3.1pt減）」はやや回答率が減少している。志望度が下がった理由は前年同様に「自分に合っていないと感じた（26.4%、対前年1.5pt減）」の回答率が最も高かった。

インターンシップ・仕事体験に参加したことで、その企業の志望度が上がった理由【複数回答】

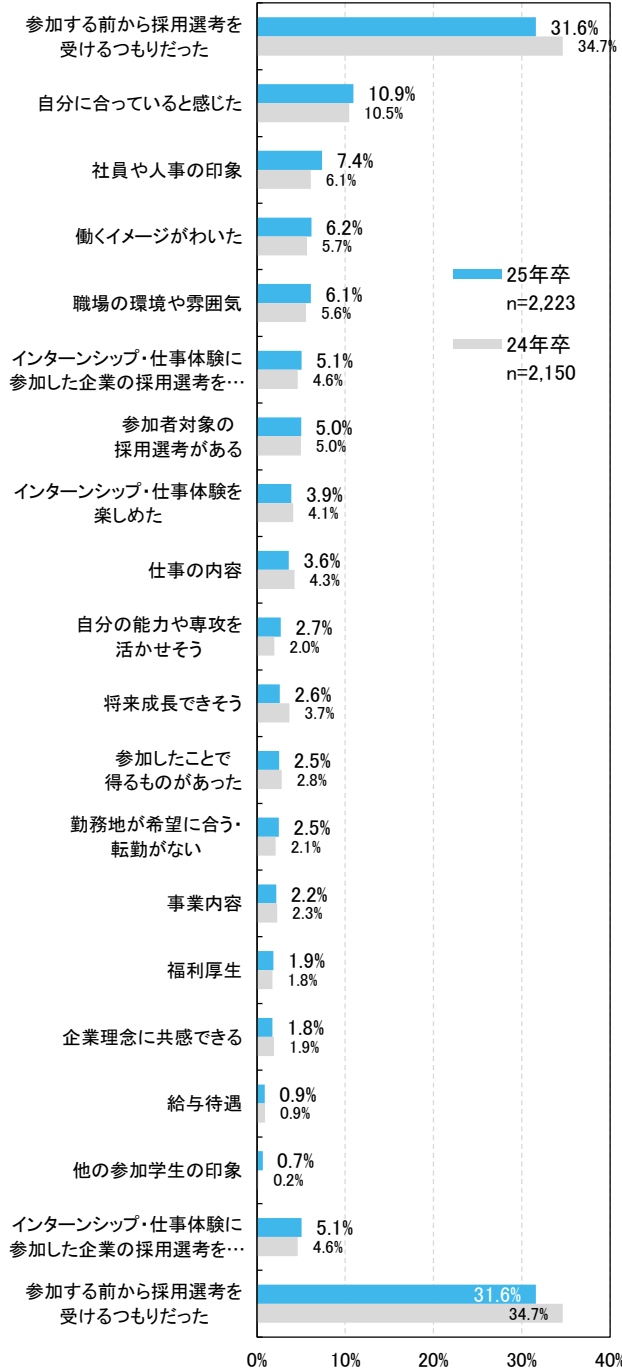
25年卒
n=2,223

24年卒
n=2,150

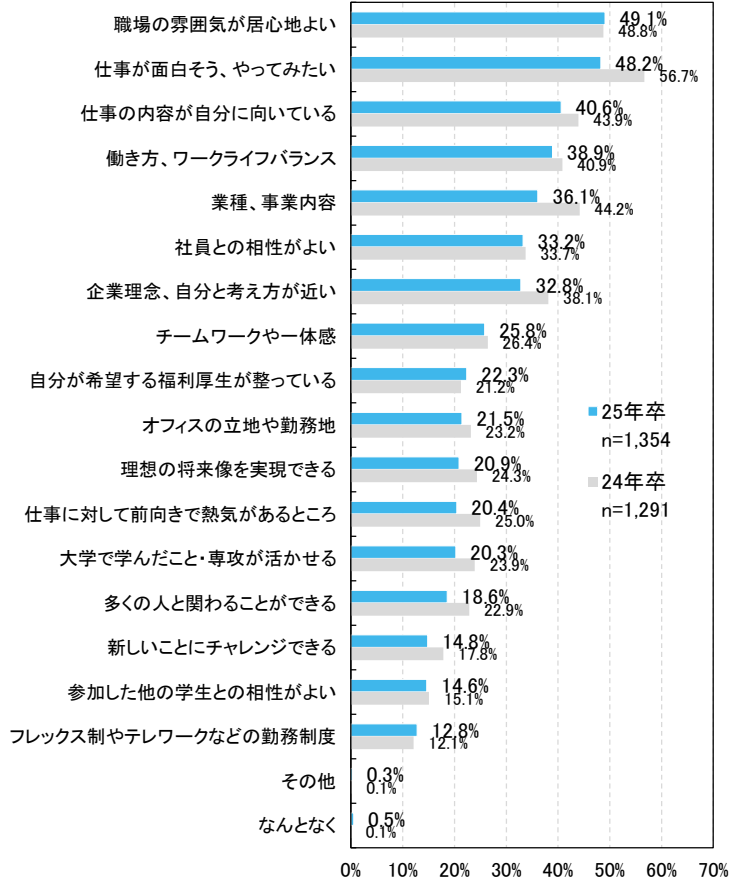
インターンシップ・仕事体験に参加したことで、その企業の志望度が下がった理由【複数回答】



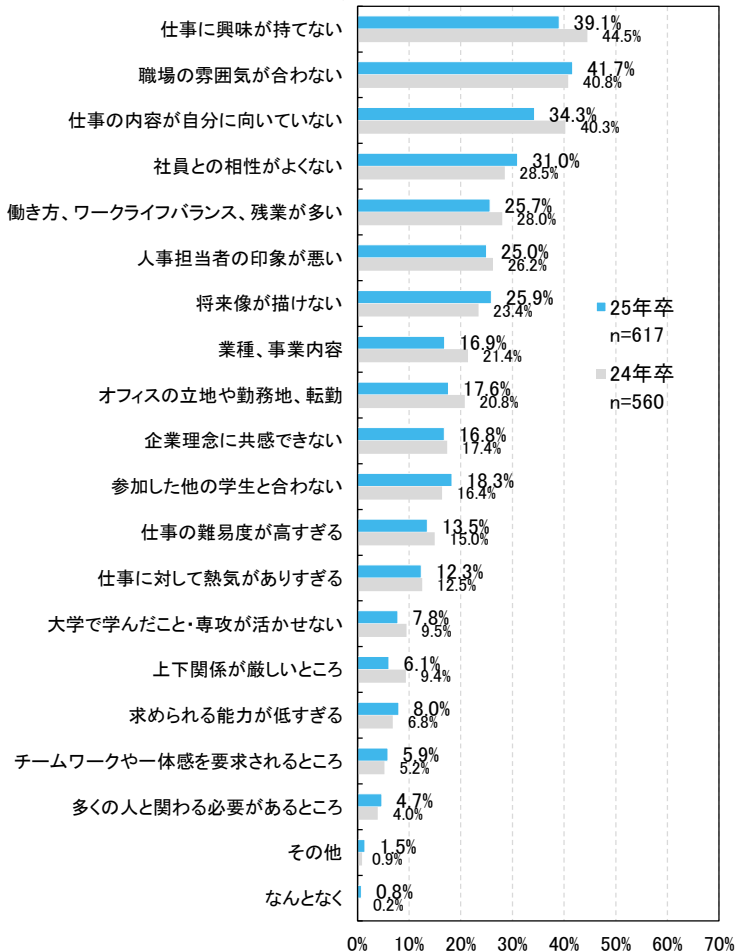
インターンシップ・仕事体験に参加したことで、その企業の採用選考を受けようと思った最大の理由



インターンシップ・仕事体験に参加して「自分に合っている」と思ったのはどういった点か【複数回答】

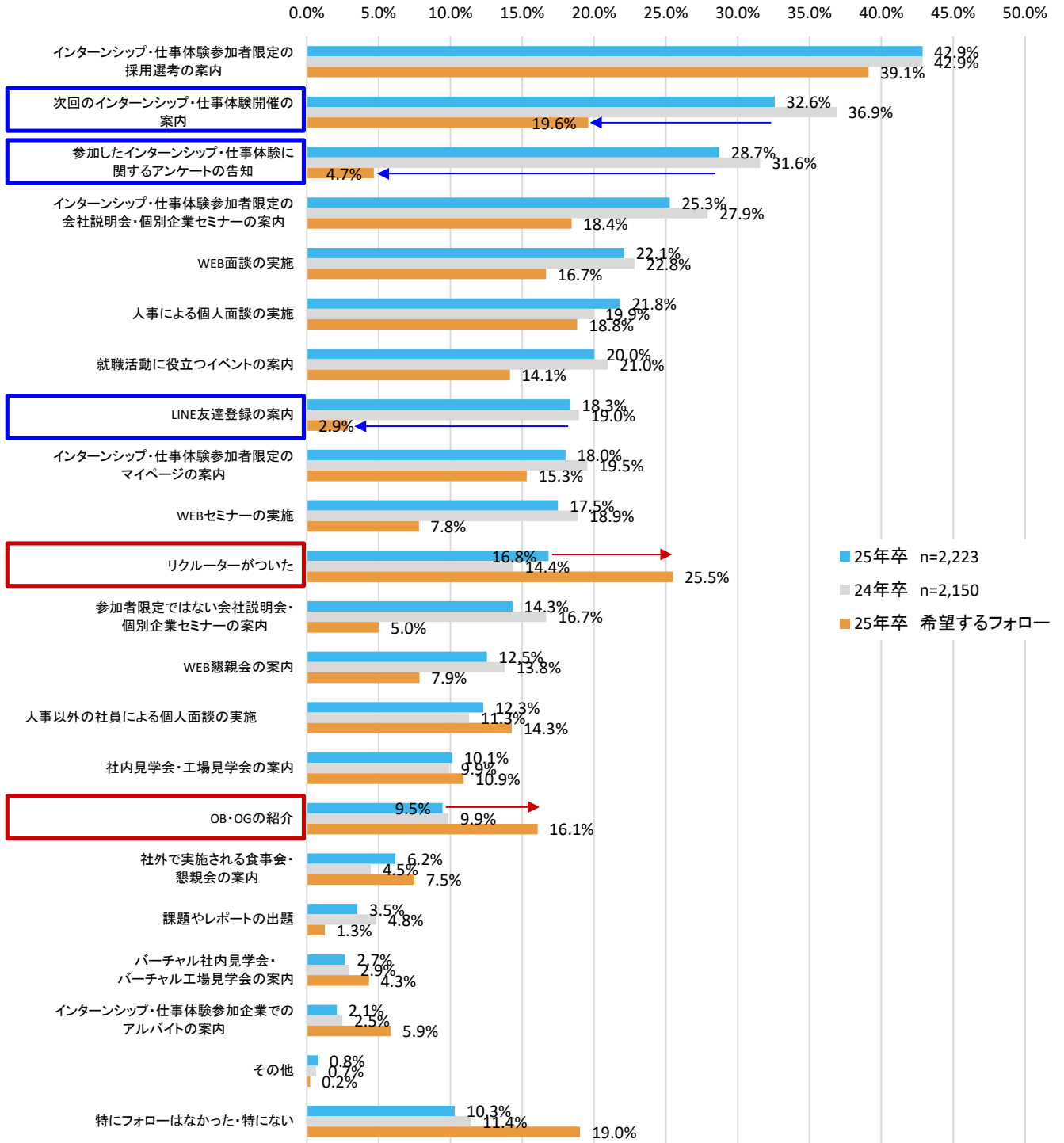


インターンシップ・仕事体験に参加して「自分に合っていない」と思ったのはどういった点か【複数回答】



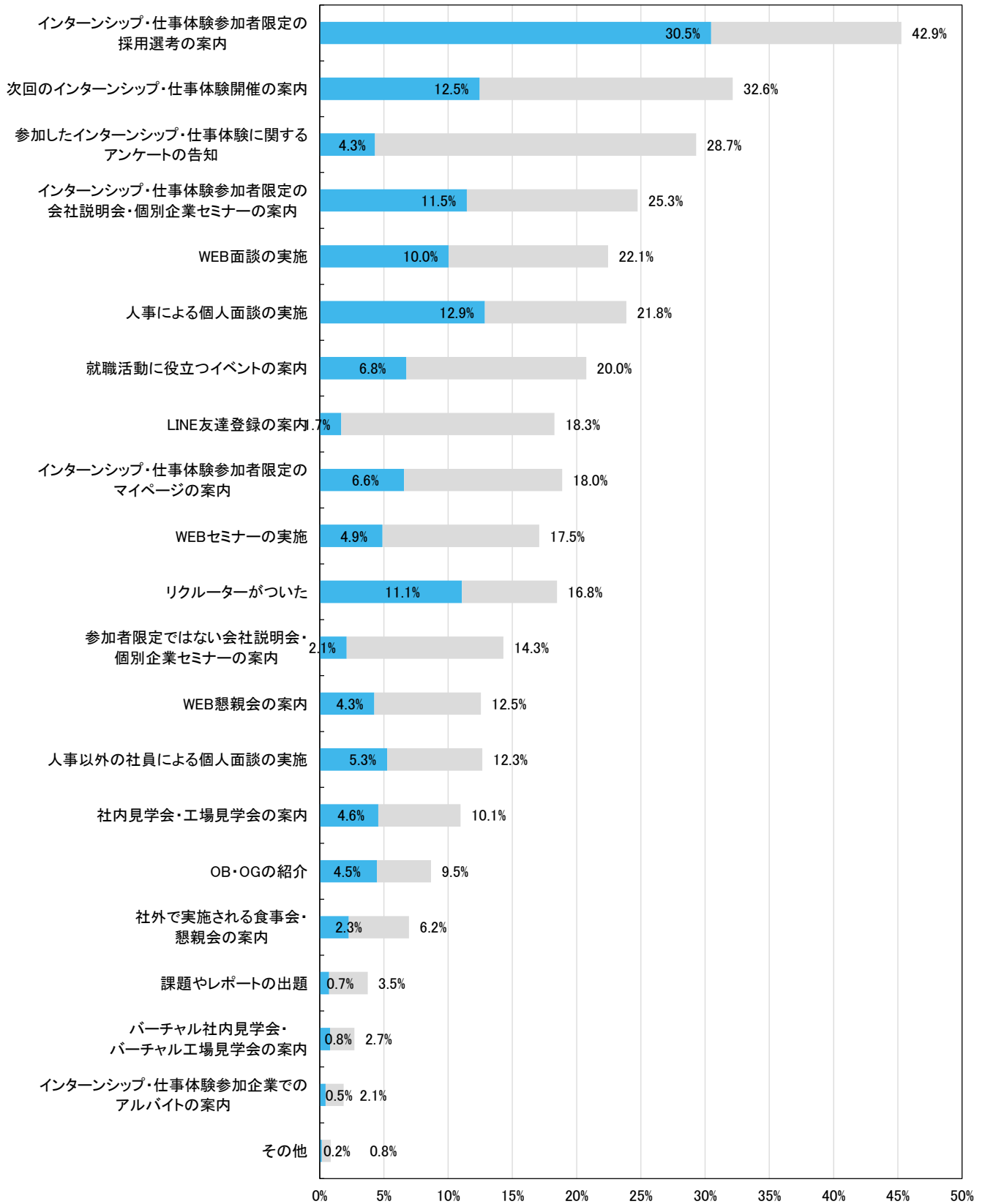
インターンシップ・仕事体験に参加した企業からその後受けたフォローについて聞いたところ、最も高い割合だったのは「インターンシップ・仕事体験参加者限定の採用選考の案内（42.9%、対前年同値）」で前年と回答率に変化はなかったが、その他の項目では前年より回答率が減少しているものが多い。
 実際に受けたフォローの回答割合よりその後のフォローで希望する割合が少なかったものとしては、「次回のインターンシップ・仕事体験開催の案内」「参加したインターンシップ・仕事体験に関するアンケートの告知」「LINE友達登録の案内」などがあった。反対に希望する割合の方が多かったものとしては、「リクルーターがついた」「OB・OGの紹介」があり、先輩社員と話してみたいというニーズがありそうだ。

インターンシップ・仕事体験に参加した企業から、その後受けたフォロー／希望するフォロー【複数回答】



インターンシップ・仕事体験に参加した企業から受けたフォローのうち志望度が上がったもの
【複数回答】

志望度が上がった それ以外 グラフ右の数字: そのフォローを受けた割合

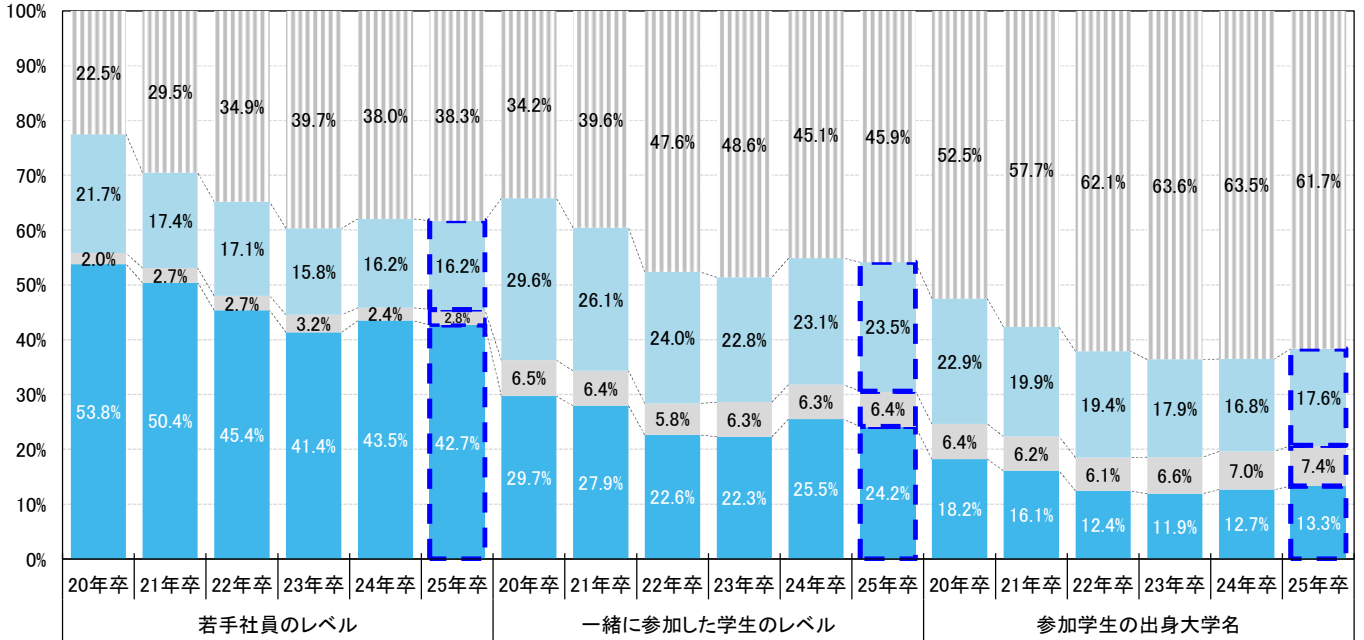


時給や日給等の給金が支払われたインターンシップ・仕事体験に参加したことがある割合は2年連続で増加しており、25年卒では13.8%（対前年2.1pt増）となった。文理では理系、男女では男子の参加率が高く、特に理系男子（19.6%、対前年3.9pt増）で高い割合になっている。そのようなインターンシップ・仕事体験をどこで知ったか聞いたところ、前年よりも回答率が下がってはいるものの、「インターンシップ・仕事体験情報・就職情報サイト」（46.6%、対前年8.9pt減）が突出した結果となっている。

参加したインターンシップ・仕事体験で下記に挙げる要素について見たり、感じたりした際、その企業に対する志望度に影響はあったか

25年卒 n=2,223

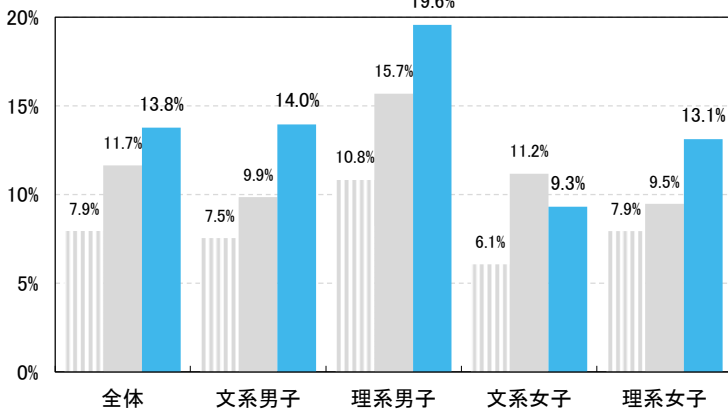
- 志望度が上がるが多かった
- 志望度が下がるが多かった
- 志望度が上がることもあれば下がることもあった
- 志望度に影響はなかった



時給や日給等の給金が支払われたインターンシップ・仕事体験に参加したことがある割合

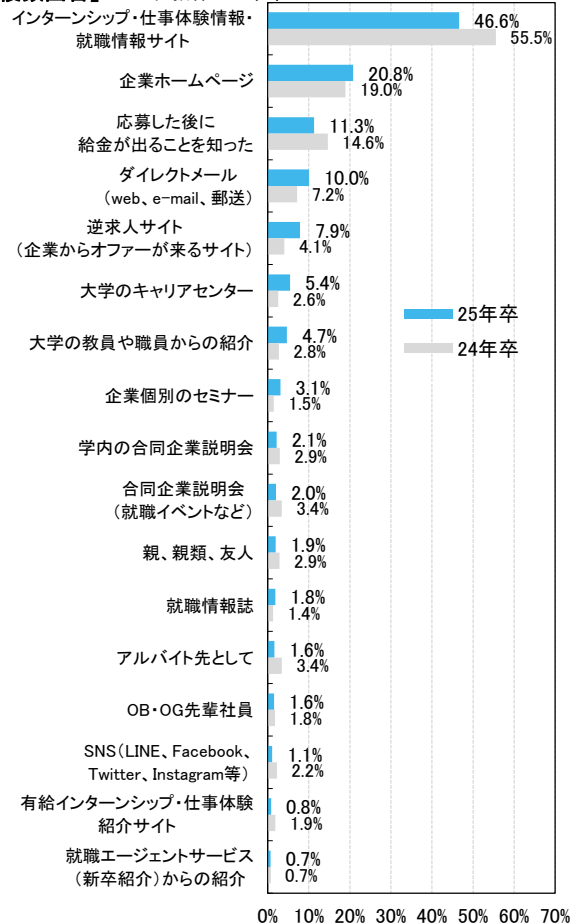
25年卒 n=2,223

- 23年卒
- 24年卒
- 25年卒



時給や日給等の給金が支払われたインターンシップ・仕事体験の情報はどこで知ったか

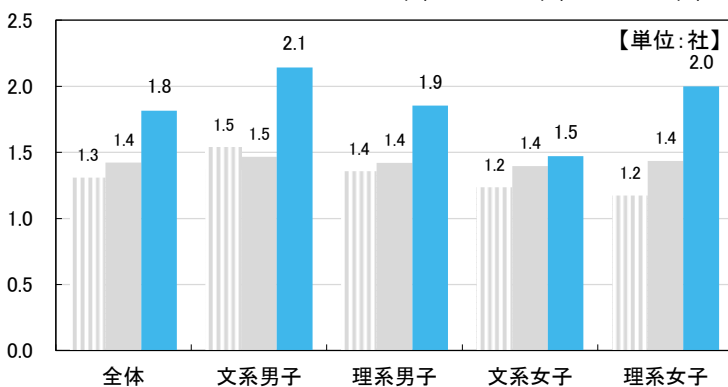
【複数回答】 ※上位抜粋 25年卒 n=288



時給や日給等の給金が支払われた企業の数平均

25年卒 n=224

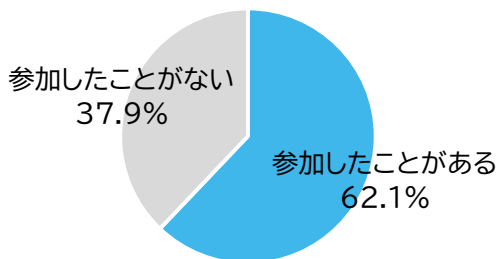
- 23年卒
- 24年卒
- 25年卒



■9:オープンカンパニーについて

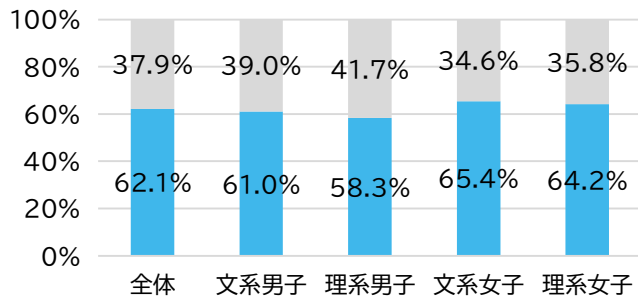
25年卒においてはインターンシップの定義改正があり、業界・企業による就業体験を伴わない説明会やイベントはオープン・カンパニー（タイプ1）として定義された。オープン・カンパニーの参加割合は62.1%となり、平均参加社数は11.7社で、インターンシップ・仕事体験よりも2.6社多い。学生にとって気軽に参加できるメリットもあることから、オープン・カンパニーの開催は今後さらに拡大していくことが予想される。

オープン・カンパニー(タイプ1)の参加経験

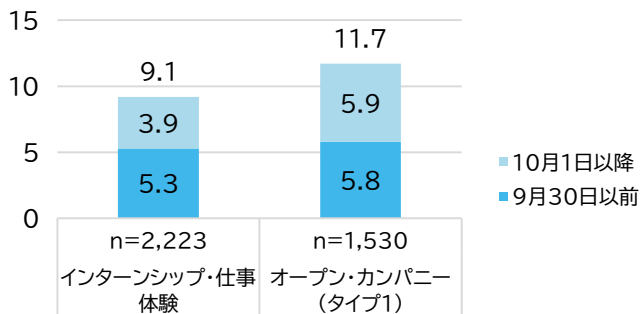


オープン・カンパニー(タイプ1)の参加経験

文理男女別 ■参加したことがある ■参加したことがない

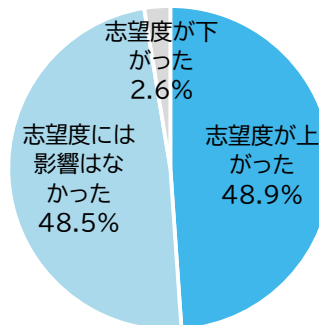


時期別参加社数



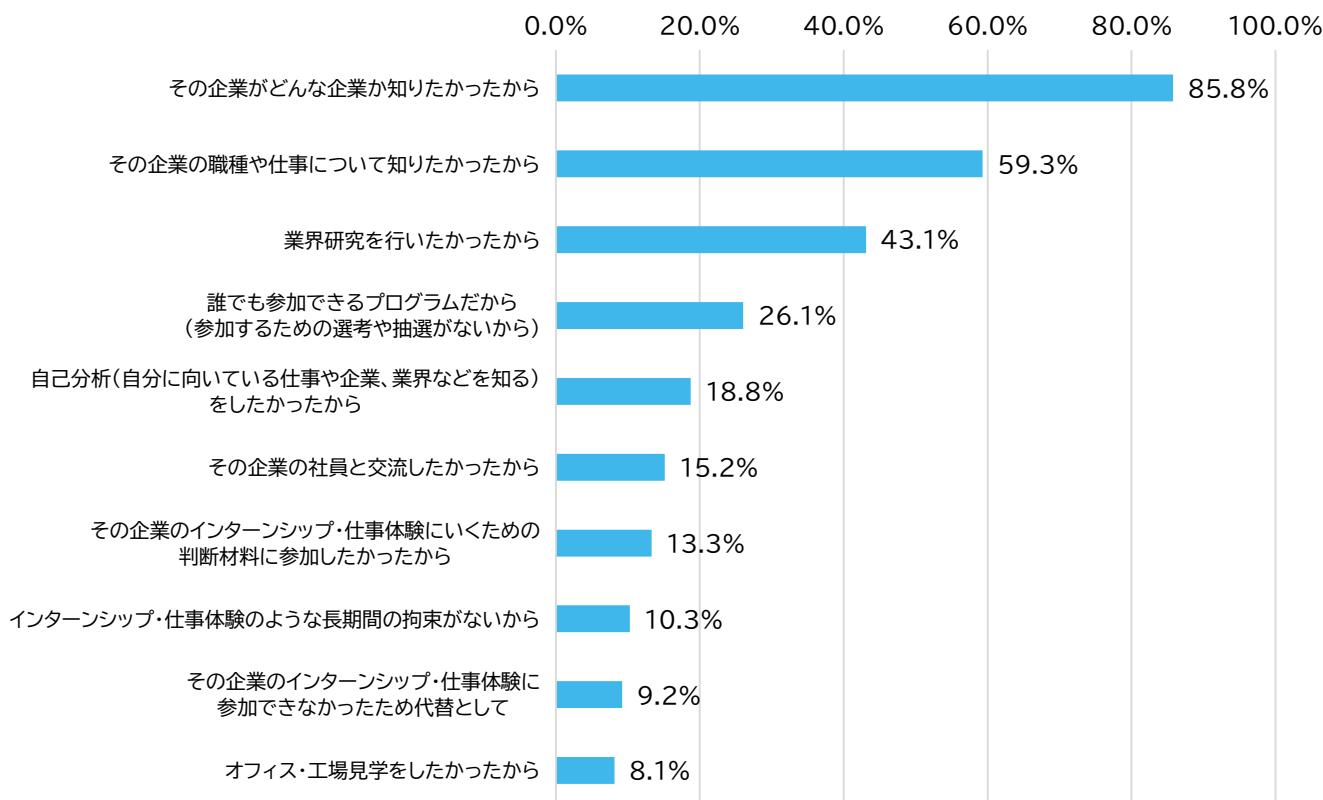
参加による志望度への影響

n=1,530

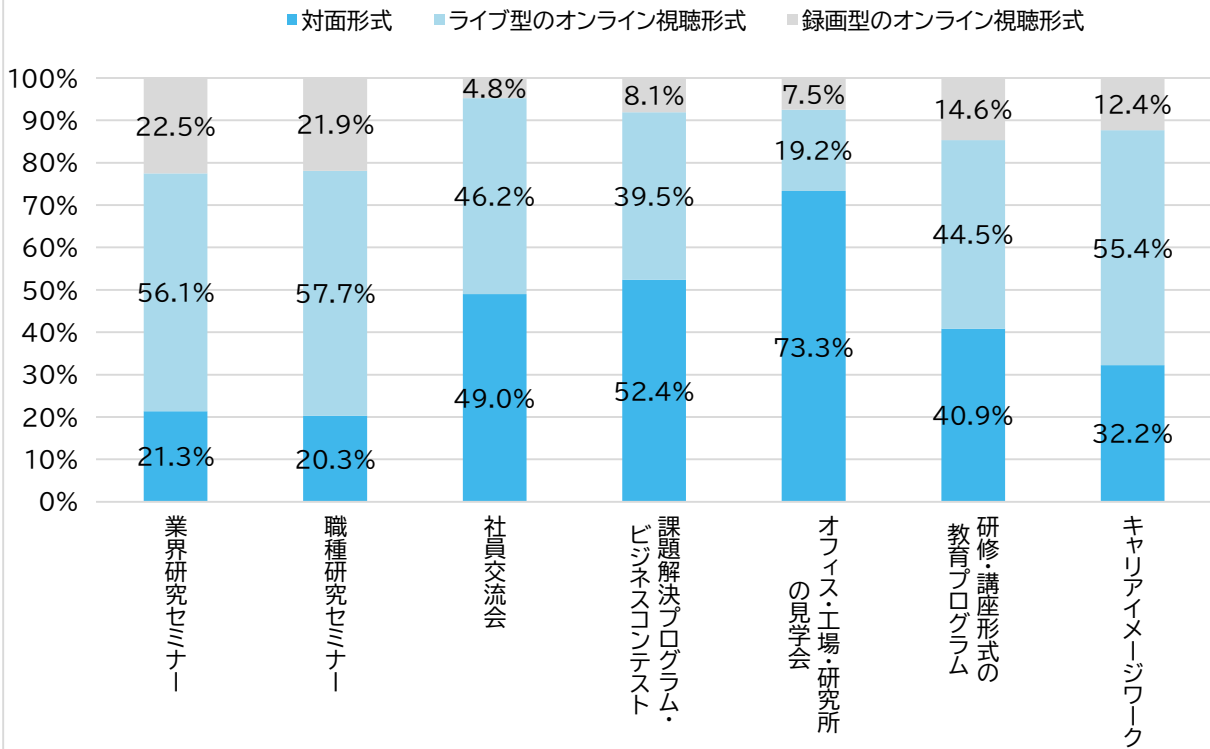


参加目的

n=1,530



オープン・カンパニー(タイプ1)への参加で望ましい形式



オープン・カンパニー(タイプ1)で参加したいと思うプログラム

